No.	4011 01
140.	1011 01

	3	事務事業名	 老人福祉施	記掛	害車業			所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係						
		F 77 F A 10		DX 1H	旦于木				事	前評値	五日	令和3年		事前	評価責任者	山口 剛介	
基	3	事業期間	平成5年度	~	未設定	事業年	28	歳	根	拠法令	令等	老人福祉	法				
	基	関連付け	☑ 有			無			事	業区	分	□ 法定受託事務 □ 自治事務					
	本	の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	・幸せのまち	づくり(健	康福祉部	門)	事務	事業の	D性質	☑ 毎年	度繰り	」返し [□ 単年度 □]複数年度	
	計画		第3節 いきい	き暮ら	5せる高齢者	福祉の排	隹進		直	接事簿	業費	☑ 有			□ 無		
本		施策小項目	(2)高齢者の日	日常生	活の支援				予	会計	区分	一般会計					
.,.		副計画の位置付け	□有		V	無			算科	款	項	民生費			社会福祉費		
		īまち・ひと・しごと 三総合戦略との関連	□ 有 ☑無						目	目	細目	高齢者福	祉費		高齢者施設	福祉推進事業	
	個別	引計画の位置付け	☑有□無	高齢者	皆福祉計画				執	行方	法	その他	特	別養護老	人ホーム入所等	の措置を行 う 。	
事	E	対 象 (誰を、何を)	身体上、環境上のが困難な65歳以上	の理由(齢者	で族の養	護を受ける	عت			_						
		* 🖂	対象年齢 6	5 9	9 65歳以上				手 段 (どのような			実態調査置を行う。		判定委員会	会の判定を行い、	施設入所等の措	
項	的	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	養護老人ホームへつながれる。	〜 の入	所等につなが	り、適切な	な日常生活	il=	事業	を行うの	のか)						
		類似事業	□有☑無						主な類	業務プ	ロセス	☑有Ⅰ	無	30210601	老人福祉施設	入所事務	
	前	年度事務事業	☑有□無	40110	1 老人福祉	拖設措置	事業		CP戦略プランとの関連			□有Ⅰ	√ 無				
	区	₩	ヹ 分		令和1年度		和2年度		· ·			和3年度			令和4年度	令和5年度	
	<u>.</u>				決算(千円	_	算(千円)		予算(=			算(千円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
	Α	① 事 業 ② 人 件				88 87	454	4		727 454		849 376		849 △ 79	733		
投	 -		r 員投入人員		0.05		0.06人			404 0.06人		0.05人		<u> </u>	0.05人	0.05人	
,^	- 1	下職員	スロススロー 員人件費			87	454			454		376		△ 79	376	-	
	タール	스타	年度任用職員人	件費										0			
_	"		経 費 (加算)											0			
入	ス	9 - 7 - 7	対象外(除外)											0			
		(5) トータルコ	スト計(①+②+③	-4)	6	75	454	1	1,181		1,225		770	1,109	1,109		
			支出金											0			
資	В		国補助率											0			
	特													0			
	定則		<u> </u>											0			
源	財源	<u> </u>	他											0			
///\	הוו	⑩ 受益者負	担額(使用料・手数	料等)	2	87								0			
			者負担率(⑩÷⑤		42.5												
	C		負担経費(A-B)		88	454		-A-m-L	*		1,225 770 事業の上乗せ・横出しあり		,			
	D		単独区分		□ 全額ネ	即		-部ネ								川市単独	
	区:		重 標		名 (上段)		│ 単 位		令和1:]標(見			和2年度 (見込)値		03年度 (見込)値	令和4年度	令和5年度	
目			算式 說	Ę	明 (下段)				実績			E 績値		積値	計画(見込)値	計画(見込)値	
	対	65歳以上の	高齢者							17,090)	17,509		18,125	17,701	17,837	
標	象指	65歳以上の	高齢者(各年度	末)						17,173		17,432		17,566	17,701	17,007	
	指標	2															
設								-			<u> </u>						
	活	老人福祉施	設入所措置者数	Į.						1		1		1	1	1	
÷		老人福祉施訂	役入所等の措置を	受ける	者の数(3月3	日現在)				1		1		1			
<i></i>	動	2															
	指																
•	+===																
	標	3)													1		
実		老人福祉施	\福祉施設 入 所措置者数							1		1		1			
	成	① 老人福祉施設入所等の措置を受ける者の数(3月31日現在)					人			1		1		1	1	1	
績	果指					+	+		<u> </u>	 	<u> </u>		<u> </u>				
	標②																
SUSTAIN	ABLE		3 すべての人に 健康と保祉を								<u> </u>]			1	
DEVELOPI GOA	LS		-W-														

評		年度の が疑わ		齢者1名につ	いて特別養護	老人ホームへの措置入所を行った。					
価											
年											
度											
l o											
主											
な											
取											
組											
447											
	Σ	<u>≤</u> :	分	三半化	西結果	老人福祉法において、高齢者の権		理由(特記事項 置が規定されてお		意図ともに妥っ	<u></u> 当である。
	妥	対象	•手段	☑妥当	□要検討						
事	当	意	図	☑妥当	□要検討						
	性		分担 (関与)	☑妥当	□要検討	老人福祉法第11条において、措置 当である。	の実施主体は市	と規定されており	、市以外の実施国	主体はないたと	め役割分担は妥
			種別		13年度	評価指標 (指標性質	重)	令和1年度	令和2年度	▲活動	●成果
業	±	目標	活動 指標	**	0.00%, ★★★	① 老人福祉施設入所措置者数		100.00%,	100.00%,	150%	
	有	達成	成果		<u>された</u> 0.00%,	① 老人福祉施設入所措置者数	咸少目標指標)	達成された 100.00%,	達成された 100.00%,	125%	
	効	度	指標		★★★ された		· 咸少目標指標)	★★★★★ 達成された	★★★★★ 達成された	100%	•
評	性		句上の	☑あり	□なし	地域包括支援センターなど関係部 高齢者を把握することで、対象が坦 果向上の余地はある。また、適切な	Eもれることなく適 s養護につながる	切な養護につなれ	がることから、成	75%	
			施策へ 献度	☑あり	□なし	がるため、上位施策への貢献度は	ある。			50% ————————————————————————————————————	R2 R3
		単位:	当たり]3年度	単位当たりコスト換算力	指標	令和1年度	令和2年度	150%	变動率
価	効		スト 動率	増加し	9.50% している 735.00 円	老人福祉施設入所措置者数 活動指標 を単位として換算 ・	単位:円/人	55.64% 減少している 674,526.00 円	67.37% 減少している 454.440.00 円	125%	
	率		~改善 余地	□あり	☑なし	本事務事業は、被措置者の施設入 は少ない。また、被措置者から養設 受益者負担を徴収しており、適正化	、所に係る費用と 養者、本人の負担	人件費であり、コス	スト改善の余地	100%	
	性		者負担 正化	□あり		文皿日東四と図べし(60 八 画正)	D M > D I C M O - 0			75%	_
			余地		<u> </u>					H31	R2 R3
改		れまで ・ 改善									
革	事業を	- FTo LI ₩	₹⟨孺培	今後狆曱흐		スク(マイナス要素) のみの世帯など介護力の低い世帯(の増加が「必要と	する高齢者を共帰	機会(プラス要		進を行う事業の
改		ーズの		見込まれる。				、プラスの要素は		○ HZ (「正 丁リ]推[〜 こハノテ ホツ
¥		政改革		事業を必要	とする高齢者を	早期発見するため、庁内や関係機関	関との連携を進め	つていく必要がある	5.		
善		との関連 様・確									
	今	後の方	<u>-</u> -		犬のまま継続	□ 改善のうえで継続 [■	一他の事業に	 統合	· 休止		:了·完了
事一業一	「改善の場合	のうえて 合の展開	ご継続」 開方針		拉太		主体・手段の改	:善:	☆ 縮 小		率化
の次方評	「今	後の方の説明	針」								
向価性)	(計	画内容	等)								
		次評価			年5月31日	一次評価責任者	山口ド		5 14 14 14	<u> </u>	フ. 中フ
		後の方			犬のまま継続 	□ 改善のうえで継続 [一他の事業に	死亡 □ 月	· · ·		·了·完了
二次		のうえて 合の展開			拉 拡 大	▼ 手段を改善(実施	主体・手段の改	:善)	☆ 縮 小	□数	率化
評価		説明]								
	Ξ	次評価	日	令和4	I年6月22日		Conve	ight ©2021 Vachi	kawa City office	All Rights Pa	eserved

No.	4011	02

	事務事業名 介護福祉推進協議会運営事業					業			所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係				
						_				前評 征			年9月11		評価責任者	山口 剛介
基	1	事業 期間	平成12年度 ~	未設定		業年	幹 21 房			処法令					護福祉総合条例	
	基。	関連付け	☑ 有			無				業区			定受託			治事務
	本(カ まちづくり目標	第2章 元気・健	やか・幸せの	のまちづく	り(健原	東福祉部門	門) 事	務	事業σ.)性質	☑ 毎	年度繰り	J返し [] 単年度 [] 複数年度
	計画	施 策	第3節 いきいき			祉の推	進			妾事業	美費	☑ 4			□ 無	<u> </u>
本		施策小項目	(2)高齢者の日	常生活の支					- 哲			一般会				
		計画の位置付け	□有		✓	無			异 科	款	項	民生費			社会福祉費	
		まち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無							目	細目	高齢者	福祉費		高齢者在年	尼福祉推進事業
	個別	計画の位置付け	☑有□無高	高齢者福祉	計画		執 行 方				法	直営				
事	目	対 象 (誰を、何を)	(直接の対象)高齢 (最終的な対象)65 対象年齢 65	歳以上の高					=	F F	₽	Λ =# /□ R	\ 		** o.t. 't. o.lt.=	
項	的	みがみがぶに	(対象にどの 協議会の審議や指導助言により、高齢者福祉 ような状態に 祉事業の適正化が図られ、個々の高齢者はそ なってほしい のか)						事業、介護福 事業を行うのかり				介護保険事業の円滑な運営のための助言や地域包括支援 センター運営等を審議するための協議会を開催する。			
		類似事業	□有☑無					主	な業	終プ	ロセス	☑ 有	□無	30210401	介護福祉推進	協議会運営事業
	前	年度事務事業	☑ 有 □無 40	01102 介護	福祉推進	協議	会運営事:	運営事業 CP			の関連	□有	✓ 無			
		一					口2年度					和3年度			令和4年度	令和5年度
	区	分 [2	≤ 分		〔千円〕		(千円)	予算	算(千	円)		算(千円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
	Α	① 事 業			87		274			108		74	4	△ 200	110	274
+л.		② 人 件			77		379			379		30		△ 78		
投	<u> </u>		員投入人員		0.01人		0.05人		0	.05人		0.04人		△ 0.01人	0.04	_
	タ	스타	員人件費 年度任用職員人件	· 弗	77		379			379		30	I	△ 78		301
	ルコ		<u> </u>	貝										0		
入	ス		対象外(除外)										0			
	7		スト計(①+②+③-	-(4)	164		653		487			375		△ 278	41	1 575
		⑥国庫 5	支 出 金											0		
資	В		助 率													
只		⑦県支出												0		
	特定		助率													
	財	@ Z D	⑧市 債⑨そ の 他										0			
源	源		て の 他 受益者負担額(使用料・手数料等)									<u> </u>		0		
			者負担率(⑩÷⑤)													
	С	吉川市年間	負担経費(A-B)		164		653		487			37	5 △ 278		41	575
	D	補助・単	单独 区分		全額補助]		部補助				事業の上	.乗せ•ホ	黄出しあり	✓ ‡	川市単独
	_	指	標	名 (_	上段)		w 11		和1年			和2年度		口3年度	令和4年度	令和5年度
	区		· 算 式 · 説	明 (*	 下段)		単位	目標	《見) 実績値			(見込)値 しくしょう		(見込)値 <	計画(見込)値	計画(見込)値
目		65歳以上の		7, (1 12/					- 7,090		17,50		18,125		
	対色	1)	高齢者数(各年度	· 末)			人		1	7,173		17.43	2	17,566	17,70	17,837
標	象指									.,		,		,		
	標(2													-	
設		入誰怎址#	進力議会の明<i>地</i>に										4	4		
	活	1)	進協議会の開催回							2			4	<u> </u>		5
定	±4-	介護保祉推	護福祉推進協議会を開催した回数							1			4	1		
	動	2											-			
	指															
	標(3														
	128						_									
実	_15	協議会出席	議会出席率						1	00.00		100.00	0	100.00		
	以	せて でべ委員数÷(協議会開催回数×委員数)					%			76.92		77.0	0	76.92	100.0	100.00
績	果指												1			
	標(1		-	
SUSTAINA	ABLE		3 すべての人に 健康と提祉を				<u> </u>	<u> </u>			1		1			
GOA			→ ◆													

評	1 会	議開催実 開催日時	績								
пТ				年3月8日 1	9:00~20:30						
価		開催場所		.t 000 △ =≠⊏	5						
年		古川巾飞 会議内容		1·302会議3	Ĕ						
+		第8期吉	川市高			事業計画(概要)について					
度						事業計画の進捗について ファ業所関系東業者の選字につ	ハナ				
					製密有型サービ 事業評価、運営	ス事業所開設事業者の選定につ 状況について	U (
の	-	第9期吉	川市調	s齢者福祉 i	十画·介護保険	事業計画策定スケジュールについ	て				
主	2 協 (1)。	議会委員 「粉	構成								
+~		人致 14名									
な	(2)i	選出団体									
取						地域包括支援センター、自治連合					
組				所、市民公			PH 24				
邗土											
	D	☑ 分		評化	西結果		半川米	f理由(特記事項	i)		
		- / <u>'</u>		HIII	m i H J I	市民・関係者の意見を聞く手段と				あり、手段・	意図は妥当であ
		対象・■	手段	☑妥当	□要検討	る 。					
	妥					-					
		意	図	☑妥当	□要検討						
事	当	<i>(</i> E)									
						市計画に対する意見を聞く場であ					
	性	役割分		☑妥当	□ 要検討	ついて関係者の意見を聞くことと	されており、地域包	型括支援センターの	の設置主体である	市以外に実	産施主体はない。
		(行政队	1 7)								
		1	種別	令和	口3年度	評価指標(指標!	生質)	令和1年度	令和2年度	▲活	動●成果
عللد			舌動		0.00%,	① 介護福祉推進協議会の開	催回数	50.00%,	100.00%,	150%	
業	有	1元 4	指標		***	· 外段福祉促進////////////////////////////////////		***	****		
	Ή	连			<u>なされた</u> 6.92%,		(増加目標指標)	達成度がなる低い 76.92%.	<u>達成された</u> 77.00%.	125%	
		e			J.5270, *★★	① 協議会出席率		★★★	* ★ ★		
	効	1	指標	達成度7	がやや低い		(増加目標指標)	達成度がやや低い		100%	
		成果向	上の			会議を開催することで、計画の第					/
評	性	余地		☑あり	□なし	取組の改善等につながるため、	成果内上の未地、.	上世旭東への貝幣	N及Iよの つ 。	75%	
пТ	Ή±	,				_					
		上位施 の貢南		☑あり	□ なし					50% H31	R2 R3
		の貝用	八又	A =		W 11 M 1 11 = 1 15 /					
		単位当	たり		回3年度 19.54%	単位当たりコスト換算	昇指標	令和1年度 103.59%	令和2年度 99.29%	150%	変動率
		コス			している	介護福祉推進協議会の開催[回数		ほぼ変動していない		/
価	効	変動	平		60.00 円	活動指標 を単位として換算	単位:円/回	164,350.00 円	163,175.00 円	125%	
	率	コストご	女善			計画への関係者・市民からの意			り、コスト改善の	100%	_
	性	の余	地	□あり	☑ なし	余地はない。また、受益者負担を	これののもの こぼな	٠٠٠،		7.5%	
	IΞ	受益者	負担			-				75%	
		適正	化	□あり	☑なし					50% ——— H31	R2 R3
		の余	地							1101	1/2 1/3
						文化連盟、吉川市農業青年会議院	所、吉川市スポーツ	/推進委員連絡協	議会の代表者を過	選出し、幅広	い視点からの意見
改		れまでの ・改善内		を聴取してし	いる。						
	- W-+	- W D F									
革						スク(マイナス要素)			機会(プラス要		
		・取り巻く 一ズの変		協議会の運	営という事業の)性格上、リスクは想定できない。		型括ケアに向けた いる役割は大きい。		け、評価を行	うなど協議会に求
改	۱۰_	~003	(16				الإوري	という人を行り入している	•		
	%=8 +	政改革プ	- 4四	幅広い団体	や組織から委員	員を参集するため、庁内や関係機	関との連携を進め	ていく必要がある	0		
善		以以単り	~ 和叫								
	(点	核•確認	()								
					状のまま継続	□ 小羊のこうで似结	□ 他の事業に	结 □ □	————————————————————————————————————		終了·完了
_	今	後の方針	计	凶 玩	人のまま胚 枕	□ 改善のうえで継続 ■	□ 他の争未に		光止"水止	Ш ;	除」"元」
事へ業一		のうえで絲			拉 太	二 工机大业美/中	歩きは 手取の3	h 羊 \	★	▼ .	5h 5tr //-
の次		合の展開				□ 于校を収품(夫	施主体・手段の改	X 酉 /	□ 縮 小		効率化
方評		後の方釒 の説明	 								
向価性〜		画内容等	≨)								
	_	次評価!	3	令和	4年5月31日	一次評価責任者	山口	酬介			
		~ <u1 th="" ="" <=""><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>表 . L . / L . L</th><th></th><th>タフ 中フ</th></u1>							表 . L . / L . L		タフ 中フ
	今	後の方針	<u>}</u> †	☑ 規	状のまま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	机苷 📙 🖯	廃止∙休止	□ ;	終了·完了
_		のうえで糸			<u> </u>	*	#-> :	L ** \	±	<u>*</u>	- 1. → 1.
次	の場合	合の展開	方針		□拡大	□ 手段を改善(実	施主体・手段の改	又善)	篇 编 小		効率化
評		=K 00									
価		説明									
	_	次評価	_	会 和.	4年6月22日						
	_	く「国」	1	ተጋ ላከሳ	7十0万44日		Сору	right ©2021 Yosh	ikawa City office.	All Rights I	Reserved

No.	4011 03
IVO.	TO 11 00

	1	事務事業名	事業名 日常生活サポートサービス事業						所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係					
									-	前評値			年9月1日		評価責任者	山口 剛介	
基	-	事業期間	平成12年度 ~	~	未設定	事業年	龄 217	歳		拠法令	-				護福祉総合条例		
	基	と 関連付け	☑ 有			無				業区			定受託事			治事務	
	本	のまちづくり目標	第2章 元気・健	やか・	・幸せのまちて	びり(健	康福祉部	門)	事務	事業の)性質	□ 毎年度繰り返し □ 単年度 □ 複数年度					
	画	関 施 策	第3節 いきい	き暮ら	せる高齢者権	温祉の推	進		直	接事第	Ě費	☑ 有			□ 無		
本	Ш	施策小項目	(2)高齢者の日	常生活	舌の支援				予会計区分			一般会詞	H				
		施計画の位置付け	□有		4	無			算科	款	項	民生費			社会福祉費		
		fまち・ひと・しごと E総合戦略との関連	□有☑無						目	目	細目	高齢者	富祉費		高齢者在宅	尼福祉推進事業	
	個別	川計画の位置付け	☑有□無高	高齢者	福祉計画			執 行				一部委詞	モーシル	レバー人	材センターに委	託	
事	E	対象(誰を、何を)	①65歳以上の一人 ②65歳以上の日中 対象年齢 65	一人	暮らしの世帯	みの世	帯		-	手具	љ Ž	シルバー人材センターの会員が掃除、洗濯、買い物などの生					
項	於	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	高齢者が行うことが	が困難 自立し	な掃除、洗濯が	などの家 行える。	事をヘル/	をヘルパー			活支援を行う。						
		類似事業	☑有□無≝	生活安	心ヘルプサー	-ビス			主な詞	業務プ	ロセス	☑ 有	□無	30210601	日常生活サポー	ートサービス事業	
	前	i年度事務事業	☑ 有 □無 4	101103	日常生活サ	ポートさ	ナービス事	業	CP戦略プランとの関連			□有	☑ 無				
	区	<u></u>	☑ 分		令和1年度		和2年度					和3年度			令和4年度	令和5年度	
	스				決算(千円)	決!	算(千円)	-	予算(-	千円)	決算	算(千円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
	Δ	①事業			34	_	156	3		508		104		△ 52	360		
投	L	② 人 件				7				76		75		75			
1X			員投入人員 員人件費		0.01	7				0.01人 76		0.01人 75		0.01人 75	0.01人		
	5	스타	_{見へける} 年度任用職員人件	‡	/	/				70		70	,		73	73	
	ル =		経費(加算)	1 52										0			
入	7		対象外(除外)											0			
	۲	⑤ トータルコ	スト計(①+②+③-	-4)	42	0	156	6		584		179	9	23	435	435	
		6国庫	支 出 金											0			
資	Е		前助 率														
只		⑦県支出	⑦県 支出金											0			
	特		前助 率														
	定則		⑧市 債											0			
源	源		⑨ そ の 他⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					+						0			
			程額(使用料・子数↑ 者負担率(⑩÷⑤)														
			負担経費(A-B)		42	420 156			584		179	23		435	435		
			单独区分		□ 全額補	助		 -部衤	補助		補助	事業の上	_ 乗せ・楫	黄出しあり	✓ ‡	· □川市単独	
		指	標	名	(上段)				令和1:	年度	令和	和2年度	令和	口3年度	令和4年度	令和5年度	
	区		<u> </u>				単位	E	目標(見			(見込)値		(見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値	
目		65歳以上の	算式・説	明] (下段)				実績	<u>1</u> 厘 17,090		実績値 17,509		積値 10.10E			
	対	(1)					人						-	18,125	17,70°	17,837	
標	象指	65歳以上の	高齢者数(各年度	木)						17,173		17,432	<u>-</u>	17,566			
	標	2					_										
設																	
	活	サービス利力	用者数				人			10		10)	10		5 5	
定	心	毎年度末の	毎年度末のサービスの利用者数							4		1		1	`	j	
上	動	©															
	指	2															
-																	
	標	3															
実		+-ビっな	サービス延べ利用時間数					-		1,000		1,000	1	1,000			
	成	(1)					時間			-		•			500	500	
績	果指	毎年度末のサービスを利用した延べ利用時間数					-		350		156)	104				
192	標	2					-	_									
SUSTAINA DEVELOPI GOA	LS		3 #ペTの人に 対策と確定を 一人人◆														

				東戸田田田田 八 東川 八 東 二 八									
評価年度	(1)提供時間 ・平日8:30~17:00(1時間単位) (2)提供できるサービス ・調理、衣類の洗濯及び補修、住居等の掃除及び整理整頓、生活必需品の買い物、相談、利用者の生活支援に資する簡易な日常生活上の援助 2 令和3年度実績												
の		延へ利用時间 104時間	致										
主													
な													
取													
組													
	Σ	区分	評価結果	判断理由(特記事項)									
	妥	対象·手段	□妥当 ☑要検討	本事業は、自立した高齢者に対する生活支援サービスを提供するものであり、シルバー人材センターなどで同様のサービスを提供しているため、役割分担、対象・手段に検討が必要である。ただし、生活支援サービスについては、今後も高齢者の増加に伴い必要とされるサービスである。									
事	当												
	性	サービスの担い手について検討の余地がある。											
		種別	令和3年度	評価指標(指標性質) 令和1年度 令和2年度 ▲活動 ●成果									
ы		目活動	10.00%,	① サービス利用者数 40.00%, 10.00%, 150%									
業	有	標 指標	★ 達成度がかなり低い	★★ ★ ★ (増加目標指標) 達成度が低い 達成度がかなり低い ************************************									
		ьt	10.40%	35.00% 15.60%									
		度 成果 指標	*	□ サービス連へ利用時间数 ★★ ★ ★									
	効	10.134	達成度がかなり低い	(増加目標指標) 達成度が低い 達成度がかなり低い 100% 高齢者への生活支援は、今後も必要性が高く、上位施策への貢献はある。									
評	性	成果向上の 余地	☑あり □ なし	同即有への生活又抜は、予夜も必安性が高く、工也施束への具際はある。 75%									
		上位施策へ の貢献度	50% H31 R2 R3										
		単位当たり	令和3年度 172.46%	単位当たりコスト換算指標 令和1年度 令和2年度 変動率 100 58% 83 35% 150%									
		コスト	172.46% 増加している	サービス延べ利用時間数 109.58% 83.35% 150% 若干増加している 減少している									
価	効	変動率	1,724.65 円	成果指標を単位として換算 単位:円/時間 1,199.85 円 1,000.03 円 125%									
	率	コスト改善		類似サービスとの比較検討の余地がある。									
	性	の余地	☑あり □ なし	75%									
	II	受益者負担		130									
		適正化 の余地	☑あり □なし	50% ————————————————————————————————————									
		の赤地											
改		れまでの - ・改善内容											
革				スク(マイナス要素) 機会(プラス要素)									
		取り巻く環境 一ズの変化		高齢者のみ世帯の増加が見込まれる。 サービスの担い手の生きがいづくりの要素がある。 センターの会員が不足する恐れがある。									
改		八〇叉山	ず木と圧りンルバ 八柄 こ	27 VAGA 1 K. Y SIEMON BOO									
	行財	政改革大綱	事業を必要とする高齢者を	早期発見するため、庁内や関係機関との連携を進めていく必要がある。									
善	٤	との関連											
	(京	(検・確認)											
	스	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止・休止 □ 終了・完了									
事へ			_	<u> </u>									
業一の次		のうえで継続」 合の展開方針	□拡大	□ 手段を改善(実施主体・手段の改善) 縮 小 □ 効率化									
方評	「今	後の方針」											
向価		の説明 画内容等)											
性~		画内存等/ 次評価日	令和4年5月31日	ᅟᅩᄽᇶᄺᆂᄹᆇᆝᄓᄆᄜᄼ									
			□ 現状のまま継続	一次評価責任者 山口剛介									
		後の方針	こ シアスクタを重要										
=		のうえで継続」 合の展開方針	拉大	□ 手段を改善(実施主体・手段の改善) □ 縮 小 □ 効率化									
次	の場で	ロの版用力軒	□ 1/A 入										
評価		説明											
	=	次評価日	令和4年6月22日	Copyright ©2021 Yoshikawa City office. All Rights Reserved									
				1.0									

No.	4011 04	
140.	1011 01	

	事務事業名 日常生活用具給付事業							F	所管	部署	名	健康	長寿部		展課 高齢福祉係			
		1. 12. 1. N. D	H 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	7544	113 + *				1	事前評価日				年9月1		ī評価責任者	山口 剛介	
基	=	事業期間	平成3年度	~	未設定	事業	年齢	30歳		根拠			介護福	祉総合	条例、介語	擭福祉総合条例	施行規則	
	基	関連付け	☑ 有		[無			1	事業	区	分	□法	定受託	事務	√ É	治事務	
	本(の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	い幸せのまた	5づくり((健康福	証祉部 門	事)	務事	業の	性質						
	計画		第3節 いきし	き暮ら	らせる高齢者	皆福祉の	の推進		Ī	直接	事業	養	☑ 有 □ 無					
本		施策小項目	(2)高齢者の	日常生	活の支援				予		会計	区分	一般会計					
/T`	実旅	計画の位置付け	□有			√ 無					款	項	民生費 社会福祉費				Ì	
		iまち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無						1 ⁻¹		目	細目	高齢者	福祉費		高齢者在宅	尼福祉推進事業	
		計画の位置付け	☑有□無	高齢	者福祉計画				\$	執行	方	法	直営			l .		
事	B	対象(誰を、何を)	介護認定非該当	の65歳	以上の高齢	首												
		(誰を、門を)	対象年齢	S5 9	9 65歳以上	_				手			①介護保険対象外の火災報知器、自動消火器、電磁調理器					
		意 図								(ど(事業を	ひよう 行うの		の支給及び老人電話の貸与 ②歩行支援用具、入浴補助用具等の支給					
	的	(対象にどの ような状態に	日常生活用具を			生活を容	8易にす	るととき	ŧ ĺ	, ,,,,		,	0 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2					
項		なってほしい「、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一																
-7.	類似事業 □ 有 ☑無						 主な業務プロセス			刁右	□無	30211201	日堂生活用旦約	 合付事業(虚弱者)				
		グ グ チ ネ 年度事務事業	☑有□無	40110	14 日党生活	田目絵	付重当							00211201		山丁子木(座95日/		
	נימ	一尺手切手术		10110					01 4	722-47	<i>,,,</i> _				<u> </u>	△504万亩		
	区:	分	区 分		令和1年/ 決算(千F		令和2 ⁴ 決算(न		予算	〔千F	円)		和3年度 拿(千円)	増減	額(千円)	│ 令和4年度 │ 当初(千円)	令和5年度 計画(千円)	
	A	① 事 業	 集 費		WASH () I	475	<i>(</i>) () ()	343	3 31		480	,,,,	49		154			
		② 人 件	費			77		227			227		22	5	Δ 2	2 225	225	
投	ļ.	正職員	員投入人員		0.0)1人	(0.03人		0.0	3人		ر 0.03		C	0.03人	. 0.03人	
	タ		正職員人件費 77 227				227 225			5	Δ 2	2 225	225					
	í			会計年度任用職員人件費								0						
入	コス		経費(加算)												C			
	^	9 1 7 1 7	对象外(除外)	200							707		70		(050	
		(5)トータルコ (6)国庫 3	スト計(①+②+③)—(4))		552		571			707		72	3	153		859	
																, 		
資	В		国補助率												0)		
	特		県 補 助 率															
	定	<u></u> 8市	<u> </u>												C)		
源	財源	@ Z D	他												C)		
////	I)T	⑪ 受益者負	担額(使用料・手数	(料等))		
			者負担率(⑩÷億															
	С		負担経費(A-E	3)		552		571		707			72		153			
	D		单独 区 分		□ 全額		L		部補助				事業の上乗せ・横出しあり			川市単独		
	区	指 分	標		名 (上段)			单位	令和 目標(11年. (夏込			112年度 (見込)値		13年度 (見込)値	令和4年度	令和5年度	
目	<u></u>		算式 • 訪	į į	明(下段))		- <u> -</u>		発达 績値			(先 <u>左</u>)恒 積値		(先达/恒 積値	計画(見込)値	計画(見込)値	
	対	65歳以上の	高齢者数							17	,090		17,50	9	18,125		17.007	
標	匆象	05歳以上の	高齢者数(各年	度末)				人		17	,173		17,43	2	17,566	17,701	17,837	
1示	象指																	
	標	2)														1		
設		サービス利	 用者数								20		2	0	20			
	活	(1)	<u> </u>	- 米h				人			13		1:		12	20	20	
定	動	毎午及木の	リーレス利用名	奴							13		- 1	_	12	-		
		2											_					
	指																	
	標	3																
実	4	サービス利力	利用者数								20		20 20)		
	成 果	毎年度末の	度末のサービス利用者数					人			13		1	3	12	20	20	
績	指		Execution 1															
	標	2														1		
SUSTAIN	ABLE		3 すべての人に 銀魚と福祉を													1		
GOA	LS		- ₩															

評		和3年度給付 <mark>될</mark> 給付件数	E 績		
計		阳191千数 12 件			
価	(2)	給付内訳	士城四月/壮杰(*)、4.6/4		
年			支援用具(杖など) 10件 ((手すり、椅子など) 1件		
		電磁調理器			
度					
の					
主					
な					
取					
組					
小江					
	₽	☑ 分	評価結果	判断理由(特記事項)	
		対象·手段	│ │ ☑ 妥当 □要検討	介護認定を受けるまでは至らないが身体機能に何らかの不安を抱える人を対象にして することで、介護に陥らないようにすることができるため、対象・手段・意図は妥当であ	
	妥	7724 712			
		意図	│ │ ☑ 妥当 □要検討		
事	当				
				介護福祉総合条例に位置付けれられたサービスであり、市以外の実施主体はない。	
	性	(役割分担) (行政関与)			
		<u>種別</u> 目 _{元 私}	令和3年度 60.00%.	評価指標(指標性質)	150% ──────
業		標 活期	★★★	① サービス利用者数★★★★★★	130%
	有	達 <mark>相信</mark> 成 _世 田	達成度がやや低い	(増加目標指標) 達成度がやや低い 達成度がやや低い	125% ————
		由 风呆	60.00%, ★★★	① サービス利用者数 65.00%, ★★★ 60.00%, ★★★	
	効	指標	達成度がやや低い	100%	
		成果向上の	75%		
評	性	余地	□あり ☑ なし		
		上位施策へ	☑あり □ なし		50%
		の貢献度			H31 R2 R3
		単位当たり	令和3年度 125.78%	単位当たりコスト換算指標 令和1年度 令和2年度 76.21% 101.83%	変動率 150%
		コスト 変動率	増加している	65歳以上の高齢者数 70.21% 101.83% 減少している 若干増加している	
価	効	- 支助牛	41.18 円	対象指標を単位として換算 単位:円/人 32.15円 32.74円	125%
	率	コスト改善	 ☑あり □ なし	既に1割の受益者から負担を頂いており、コスト改善の余地・受益者負担の適正化の 余地は少ない。	100%
	性	の余地			75%
		受益者負担 適正化	☑あり □なし		50%
		の余地			H31 R2 R3
	_	1			
改		れまでの 5・改善内容			
					=+\
革	事業を	・取り巻く環境	対象となる65歳以上の高齢	スク(マイナス要素) 機会(プラス要 令者の増加が見込まれる。 適切な給付を行うことで、対象者の生活(
改		一ズの変化	7,75,42 0. 0 = 2,77,512 = 1,17,12	ā.	
CX			事業を必要とする高齢者を		
善		政改革大綱 との関連		TWO DE TOTAL OF THE WINDOWS CONTROL OF THE PROPERTY OF THE PRO	
		(検・確認)			
	^	// o ± ^/	<u> </u>	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止・休止	 □ 終了·完了
事へ		後の方針			
業一		のうえで継続」 合の展開方針	並抜大	□ 手段を改善(実施主体・手段の改善) 端 小	☆ 効率化
の次 方評	「今	後の方針」			
向価 性〜		の説明 画内容等)			
ı±Ο		四四百年》 次評価日	令和4年5月31日	一 次 評 価 責 任 者 山口 剛介	
			□ 現状のまま継続		□ 終了・完了
		後の方針	<u>近</u> 死1八ソみみ 11八 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		□ ペリ·元リ <u></u>
		のうえで継続」 合の展開方針	☆拡大	□ 手段を改善(実施主体・手段の改善) 縮 小	□ 効率化
次評					_
価		説明			
		次評価日	令和4年6月22日		
	_	グローロロー	17 4月4十八月 44 日	Converget @2021 Voshikawa City office	All Dights Deserved

No. 4011 05

	3	事務事業名	寝具洗濯乾	極₩	―ビュ車:	*			所'	管部署	署名	健康長	奏部	長寿支援	課 高齢福祉係				
		+ <i>m</i> + <i>x</i> · u			こハチ:	*			事ī	前評値	15日	令和3年			評価責任者	山口 剛介			
基	Į	事業期間	平成12年度	~	未設定	事業年	全 1点	裁		拠法令		吉川市介	護福祉	止総合条件	列				
	基	と 関連付け	☑ 有			無			事	業区	分	□ 法定	受託	事務	▽ 自	治事務			
	本	の まちづくり目標	第2章 元気・値	建やか	・幸せのまち	づくり(健	康福祉部	門)	事務	事業の)性質	☑ 毎年	度繰り	返し [□ 単年度 □	複数年度			
	計画		第3節 いきい	き暮ら	らせる高齢者	福祉の推	推進		直	接事簿	美費	☑ 有			□ 無				
本	画	施策小項目	(2)高齢者の日	3常生	活の支援				予	会計	区分	一般会計	ŀ						
		恵計画の位置付け	□有		V	無			算 科	款	項	民生費			社会福祉費				
		īまち・ひと・しごと E総合戦略との関連	□有☑無						目	目	細目	高齢者福	祉費		高齢者在宅	福祉推進事業			
	個別	引計画の位置付け	☑有□無	高齢者	皆福祉計画				執	行 方	法	一部委託	洗洗	濯•乾燥事	事業を民間業者	に委託			
事	E	対象(誰を、何を)	①65歳以上のひる 者 ②65歳以上の者の																
			対象年齢 65	5 9	9 65歳以上					手 見どのよう		寝具の洗	濯∙乾熄	桑業務を民	間業者に委託し	ている。対象者宅			
項	Ė/	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	高齢者だけではるとにより、高齢者がる。	下可能 [:] が健康	であった寝具(的、衛生的な	の洗濯・草 生活が営	を燥が行える めるように	るこな		を行うの		を訪問し、寝具を乾燥させる(洗濯は一時預かり)。							
		類似事業	□有☑無						主な美	業務プ	ロセス	☑有Ⅰ	二無	30210701	01 寝具洗濯乾燥サービス				
	前	年度事務事業	☑有□無	40110	5 寝具洗濯草	た燥サー	ビス事業	(CP戦略	各プランと	の関連	□有Ⅰ	少無						
	_	Λ\			令和1年度	令	和2年度				令和	和3年度			令和4年度	令和5年度			
	区		区 分		決算(千円		算(千円)	予	F)算(F	F円)	決算	算(千円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)			
	Δ	①事業				9	22			37		36		13		37			
投	L	②人件					76			76		75		Δ1	75				
1×			員投入人員 員人件費				0.01人 76			0.01人 76		0.01人 75		0 Δ1	0.01人 75	0.01人 75			
	5	스타스	またIT貝 F度任用職員人们	件 費			70			70		73	0		73	73			
	ル =	,	経費(加算)											0					
入	7		対象 外(除外)											0					
		(5) トータルコ	スト計(①+②+③	-4)		9	98	3		113		111		13	112	112			
		⑥国庫 5												0					
資	Е		助率																
	44	⑦県支出	出金 前助率										0						
	特定		<u> </u>											0					
, E	定則	9 そ の												0					
源	源		担額(使用料・手数	料等)		1	1			1		1		0					
		受益者	者負担率(⑩÷⑤))	10.8	8%	1.02%	Ó	0.89%			0.90%							
	0		負担経費(A-B)		8	97	4	112			110							
			単独 区分		□ 全額ネ	助		部補				事業の上乗せ・横出しあり				川市単独			
	区	指	標	:	名 (上段)		- 単 位		6和13 標(見:			和2年度 令和3年度		令和4年度	令和5年度				
目			算 式 • 説	Ę			単位	H	実績			(見込)値 		(元达/恒_ !績値	計画(見込)値	計画(見込)値			
		独居高齢者	及び高齢者のみ	の世帯	#					7,035		7,175		7,409	0.470	0.700			
	対 象	毎年4月1日現	在の独居高齢者及び	高齢者	音のみで構成され	こる世帯数	世帯			6,924		7,166		7,653	8,173	8,728			
標	象指!																		
	標	2					1												
設		サービス利力								4		4		4					
	活	(1)	<u>''''</u> サービス延べ利」	田老粉	tr		人			2		4		5	4	4			
定	動	再干及不 07	りて八座で作り	пъ	*														
		2																	
	指																		
	標	3																	
実																			
1	成	サービス利力	1用回数							4		4		4	4	4			
,	从 果 指	毎年度末の	のサービス延べ利用回数					L		2		4		5		, T			
績	指標	<u> </u>					1												
	7示																		
SUSTAINA	MENT		3 すべての人に 健康と提供を				4				•		•		•	•			
GOA			-W-																

							71-77	大型四口。四四人大型四大工
評		ービスの概要 による寝具の	洗濯・乾燥が困難な方に対	するサービス				
	(1);	洗濯		, a d d d d d d d d d d d d d d d d d d				
価	(2)		たりの上限:年2回					
年		利用者1人当7	たりの上限:年8回					
度		和3年度の実績 利用者数	貞					
	-	5名						
の		利用回数 5回						
主		内容·回数 洗濯 5回						
な		売雇 3回 乾燥 0回						
取								
組								
		T ()			skii bir	· +	\	
	12	区分	評価結果	本事業は、寝たきり等のため、家族に。		「理由(特記事項 濯・乾燥が困難な		ビスで、民間事業者に委託して
	_	対象·手段	☑妥当 □要検討	いる。対象者が日常生活において、衛				
	妥			-				
	当	意 図						
事	=			W-+ 7				
	性	役割分担	「による実施は妥	⇒ どめる。				
	'-	(行政関与)						
		┃ ┃種別	令和3年度	評価指標(指標性質)		令和1年度	令和2年度	▲活動 ●成果
-114		目近點	125.00%,	① サービス利用者数		50.00%,	100.00%,	150%
業	有	標 指標	★★★★ 達成された		1日抽性抽)	★★★達成度がやや低い	★★★★★ 達成された	
		륪	達成された 125.00%,		1日保旧保/	50.00%,	100.00%,	125%
	±1	茂 成果 度 指標	★★★★★ 達成された	① サービス利用回数		★★★ 達成度がやや低い	****	100%
	効		達成された	1000				
===		成果向上の 余地	☑あり □ なし	更なる事業周知により成果向上の余地				75%
評	性	7,4-5		-				
		上位施策への貢献度	☑あり □ なし					50% 1 R2 R3
		の負責が及	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	i	令和1年度	令和2年度	変動率
		単位当たり	90.36%	サービス利用者数	:	83.56%	534.05%	2 3 平
/ ==	効	コスト 変動率	若干減少している			減少している	増加している	125%
価			22,178.00 円	活動指標 を単位として換算 単位 サービス提供は委託業者と契約して実	z : 円/人 !施しており、:	4,596.00 円 コスト削減の余地	24,545.00 円 はない。介護保	100%
	率	コスト改善の余地	☑あり □なし	険サービスと同様に市独自サービスも	1割負担を基	本としている。		•
	性	受益者負担		-				75%
		適正化	□あり ☑なし				50% ————————————————————————————————————	
		の余地						110
_,	_	れまでの						
改		- 改善内容						
革			1)	スク(マイナス要素)			機会(プラス要	[素]
			対象となる65歳以上の高齢					えるが健康的·衛生的な生活を
改	やニ	一ズの変化			宮むこ	とができる。		
	∕≂⊞	政改革大綱	事業を必要とする高齢者を	早期発見するため、庁内や関係機関と	の連携を進め	っていく必要がある	5.	
善	d	との関連						
	(点	(検・確認)						
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □	他の事業に	統合 🗌 🦻	≹止·休止	□ 終了·完了
事へ		のうえで継続」	<u> </u>				+	
業一の次		合の展開方針	□拡大	☆ 縮 小	□ 効率化			
方評		後の方針」						
向価 性〜		の説明 画内容等)						
	_	次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	山口	剛介		
					他の事業に		· · · · · · · ·	□ 終了·完了
		後の方針						
<u></u>		のうえで継続」 合の展開方針	॑拡大	★ 手段を改善(実施主体	本・手段の改	(善)	☆ 縮 小	★ 効率化
次評								
価		説明						
	=		令和4年6月22日					All Dights Pasanyad
			1-18 - 1 - 7/4 - E E	•	Conv	aght (C)2021 Vachi	kawa City office	All Highte Heconied

No.	4011	06
140.	7011	OO

	_	事務事業名	生活安心ヘルプサービス事業 所管部署名 健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉						課 高齢福祉係							
	-	7 伤 争 未 石	王冶女心へ	ルン:) — L 🔨	子			事	前評值	五日	令和3年	F9月1	事前	評価責任者	山口 剛介
基	1	業 期間	平成12年度	~	未設定	事業年	輸	21歳	根	拠法令	令等	吉川市介	下護福 社	止総合条件	列	
	基。	関連付け	✓ 有			無			事	業区	5 分	□ 法定	受託	事務	▽ 自	
	本(カ まちづくり目標						止部門	事務	事業0	か性質		度繰り	返し []複数年度
	計	施策				福祉の打	隹進								無	
本		施策小項目	(2)高齢者の	日常生活							T _		+		1	
		計画の位置付けまち・ひと・しごと				無			科		項					
	創生	総合戦略との関連	□ 有 ☑無								1			A 4-1114		福祉推進事業
	個別	計画の位置付け	☑有□無	高齢者	福祉計画				執	行方	法	一部委託	社 社	会福祉協	議会へ委託	
事	l _	対象	65歳以上で要介	護認定な	が非該当とな	った者										
	目	(誰を、何を)	対象年齢 6	5 99	65歳以上					£ E	T	ヘルパー	を派遣	家事援助	カを行う。 利田者 <i>ナ</i>	が受けられるサー
		意図	对 家平断 0	5 99	00成以工				(,	どのよう	な	ビスは介				
	的	(対象にどの	要介護認定で非	該当とな	った方にへん	レパーが	家事援	助を行	事第	根拠法令等 吉川市介護福祉総合条例 事業 区 分						
項		なってほしい	うことにより、安心	いした日	常生活を送れ	いるように	する。									
75			□有☑無						主か	坐 終プ	ロセス	刁右		30311101	生活安心へル	 プサ ー ビス
		然 	☑有□無	401106	· 生活安心	ヽルプサ	ービス	事業							T/1/2/0 //	
		1272724			令和1年度		和2年		1,71			I.			今和4年度	令和5年度
	区分	分	ヹ 分		決算(千円	-	加2一/ 算(千F		予算(=	千円)			増減	額(千円)		計画(千円)
	Α	① 事 業				0		0		31		0		0	31	31
投	L	②人件														
13			員投入人員 員人件費													
	タル	스타	またける 年度任用職員人	件費												
_			経 費(加算)											0		
入	スト	9 - 7 - 7	対象 外(除外)											0		
	-	Ů	スト計(①+②+③)-(4)		0		0		31		0				31
		⑥国庫 5	文 出 金 前助 率											0		
資	В	⑦県 支出												0		
	特		助 率													
	定財	<u> </u>	債													
源	源	9 6 0		and fefe \												
		_	担額(使用料·手数 者負担率(⑩÷⑤											U		
	С		負担経費(A-B		0 0					31		0		0	31	31
	D	補 助・単	単独 区分		□ 全額	甫助		<u>—</u> ‡	部補助				・ 乗せ・ 様	黄出しあり	☑吉	川市単独
		. 指	標	名	(上段)		***	,,,							令和4年度	令和5年度
目	区:		· 算 式 • 説	. 明			単	1立							計画(見込)値	計画(見込)値
		65歳以上で	介護認定が非該	当となっ	った者					15						
標	対象	05歳以上で	介護認定が非該	当となっ	った者		\ \ \			4		9		5	15	15
1示	象 指標(
	保し	2)														
設		サービス利	用申請者数				1			3		3		3	_	_
	活	毎年度末の			\ \ \ \			0		0		0	3	3		
定	動															
	指															
-																
	標(3														
実		サービス延ん								90		90		90		
	成里	1)	サービス 連 ・					間		0		0		0	90	90
績	果指												<u> </u>			
	標(2)						}								
SUSTAIN. DEVELOP	ABLE MENT		3 すべての人に 健康と複雑を				I				1		1		<u> </u>	1
GOA 2030#ERIT	LS		-W-													

評	1 サービスの概要 平 要介護認定で非該当となった方が、安心して生活を送れるよう実施するサービス。 (1)ヘルパーによる家事援助サービス														
価	•	調理、衣	類の			除及び整理整頓、生活必需品の買	買い物、その他必要	要な家事並びに相 となる	談及び助言						
年		和3年度 利用実績													
度	·なし														
l Ø															
主															
な															
取															
組															
	Σ	<u> </u>	}	評化	西結果			理由(特記事項	••						
	妥	対象∙	手段	☑妥当	□要検討	本事業は、要介護認定で非該当のいずれも妥当である。	となる方が安心して	:生活を送れるよ	う実施するもので	あるため、対象・手段・意	意図の				
事	当	意	図	☑妥当	□要検討										
	サービスの担い手について、検討の余地がある。 性 (行政関与) □ 妥当 □ 要検討 □ 要検討 □ では、 (作情性 (作) では、														
			種別		口3年度	評価指標 (指標性	質)	令和1年度	令和2年度	▲活動 ●成果	1				
業	_	1示	活動 指標	**	0.00%, ★★★	① サービス利用申請者数		200.00%,	200.00%,	150% ————————————————————————————————————					
	有	1 成			<u>だされた</u> 0.00%.		(減少目標指標)	<u>達成された</u> 200.00%.	達成された 200.00%	125%					
	効		成果 指標		★★★	① サービス延べ利用時間数	(減少目標指標)	★★★★★ 達成された	★★★★★ 達成された	100%					
評	性	成果向余均		□あり	<u>▽</u> なし	サービス利用者は要介護認定の非該当者であるため、利用者は少なく成果向上の余地は少ない。家事援助を行うことで、自立支援、介護予防につながり上位施策へ貢献度は高い。									
	Ā	上位施 の貢献		☑あり	□なし			50% H31 R2	R3						
		単位当	またり	令和	口3年度	単位当たりコスト換算	算指標	令和1年度	令和2年度	変動率					
価	効	コス 変動		評化	西不可		評価不可 評価不可								
	率	コストi の余		□あり	☑ なし	準じているため改善の余地はない	パーサービスと	100%							
	性	受益者				同様であり、利用料は介護保険に	こ準じているため適	正化の余地はな	l'.	75%					
		適正の余	化	□あり	☑なし		50% — R2	R3							
改		れまで <i>0</i> [・改善内													
革	市₩ ≠	: Hn () # /	∕ı≞+÷	対象したるの		スク(マイナス要素)	大 車架	カサービフ担併	機会(プラス要	「素) は者が安心して日常生活	- た労				
改		一ズの変		対象になる	の成以上の同圏	11日の日加が元とよれる。		ができる。	211 JCC C. M3	では、文心しては出土が	168				
LX.	∕≂₽ታ	政改革:	₩	事業を必要	とする高齢者を	·早期発見するため、庁内や関係機	 との連携を進め	ていく必要がある	5 .						
善	٤	成成単元 2の関連 (検・確認													
	今後の方針 ☑ 現状のまま継続 □ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止・休止 □ 終了・完了														
事へ業一の次		のうえで紹合の展開			□ 拡 大	□ 手段を改善(実施)	施主体・手段の改	(善)	★ 縮 小	□ 効率化					
方評 向価 性)		後の方針 の説明 画内容等													
		次評価	日		4年5月31日	一次評価責任者	山口								
	今	後の方	針	✓ 現	状のまま継続	□ 改善のうえで継続 ■	□他の事業に	統合	廃止∙休止	□ 終了·完了					
二次		のうえで紹 合の展開		□ 拡 大 □ 手段を改善(実施主体・手段の改善) □ 縮 小 □ 効率化											
評価		説明													
	=	次評価	日	令和	4年6月22日		Canyon	iaht @2021 Vaah	ikawa City office	All Rights Reserved					

No.	4011 07	
140.	7011 07	

	1	事務事業名	買い物支援利用助成事業 所管部署名 健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係																
		1. 12. 1. N. D	A . 127	.4.3713						事	前評值	五日		年9月1日		評価責任者	山口 剛介		
基	3	事業期間	平成12年度	~	未設定		業年虧	[↑] 21	歳		拠法令				L総合条				
	基	関連付け	☑ 有			□ #	Ħ			事	業区	2 分	□法5	定受託事	務	V É	治事務		
	本	の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	・幸せのま	ちづくり)(健康	福祉部	門)	事務	事業0	り性質	☑ 毎4	年度繰り	返し [□ 単年度 □] 複数年度		
	計画	期 施 策	第3節 いきし	き暮ら	らせる高齢	者福祉	の推済	進		直	接事簿	業費	☑ 有	Ī		□ 無			
本	回	施策小項目	施策小項目 (2)高齢者の日常生活の支援							予	会討	区分	一般会記	H			面責任者 山口 剛介 回 回 一 一 一 一 一 一 一 一		
		計画の位置付け	□有			✓ #	Ħ			算科	款	項	民生費			社会福祉費	Ì		
		iまち・ひと・しごと :総合戦略との関連	□ 有 ☑無							目	目	細目	高齢者	福祉費		高齢者在宅	福祉推進事業		
	個別	計画の位置付け	☑有□無	高齢	者福祉計 画	Ī				執 行 方 法 一部委託 民間業者					間業者へ	委託			
事	E	対 (誰を、何を)	①65歳以上の一 ②65歳以上の日 対象年齢 6	中独居			の世帯	ţ			手手	·····································	禾红坐 李	そが空期	하I= 웨 田·	老の注文したりが	m太宁丽才진 古		
項	的	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	業者の宅配サーを軽減する。	ビスを			て、買い	い物の負	担		どのよう きを行う		は、宅配			日の注义した明代	がる七日にする。川		
		類似事業	□有☑無						主な訓	業務プ	ロセス	☑ 有	□無	30211401	買い物支援利	用助成事業			
	前	年度事務事業	☑有□無	有 □無 401107 買い物支援利用助			用助成	事業		CP戦	格プランとの関連								
		, l			令和1年	度	令和	2年度				令和	和3年度			令和4年度	令和5年度		
	区	分	☑ 分	円)		(千円)		予算(=	千円)		算(千円)	増減	額(千円)	当初(千円)					
	Д	① 事 業				5			7		16	i			1				
投	ı	② 人 件				77							75		75				
仅			員投入人員 員人件費		0.	01人 77							0.01人 75		0.01人 75		-		
	5	스타	三 <u>八叶复</u> 年度任用職員人	此 费		-//							73	1	75		/5		
	ル	·	③ 間 接 経 費 (加算)									+	0						
入			対象外(除外)											+	0				
	۲		スト計(①+②+③)-(4)		82			7		16		83	3	76	91	91		
		⑥国庫 5	支 出 金												0				
資	E		前助 率																
貝		⑦ 県 支 と												0					
	特		助 率																
	定則	⑧市													0				
源	源		他 担額(使用料·手数	和本)					_						0				
			担額(使用科·于数 者負担率(⑩÷億												0				
			負担経費(A-B			82			7		16		83	3	76	91	91		
			单独区分		□ 全客	頁補助			-部	補助		補助	事業の上		黄出しあり	ļ			
		扑			名 (上段)				令和1:	年度	令	和2年度	令和]3年度	令和4年度	令和5年度		
	区	分						単 位		目標(見	込)値	目標	(見込)値	目標	(見込)値	計画(見込)値			
目			算式 説 及び高齢者のみ		明 (下段 ***	()				実績			実績値 7,175		:績値				
	対	\bigcirc				. 1. 7 111		人			7,035				7,409	7,283	7,407		
標	象指	毋平4月1日5	見在の高齢者及び 高	5節40	リみで情及さ	れる世	市剱				6,924		7,166)	7,161				
	標	2																	
設																			
	活	サービス利用	サービス利用者数								2			2	3	5	6		
定		毎年度末の			人			1			3	4							
上	動	2																	
	指																		
-	-																		
	標	3)										+		-					
実	H	サービス研り	延べ利用回数						+		104		104	1	150				
	成	(1)						52	ļ	67		75	83	91					
績	果指	ソ こへ延	ービス延べ利用回数						-		JZ		0	<u>'</u>	70				
'-(標	2														-			
SUSTAIN	ARIE																		
GOA	LS		3 対域での人に 対象と関係を																

	1 -				Д.	更少性的 一种 一种 一种 一种 一种								
評		ービスの概要	《困難な草齢者に対して 禾	託事業者による宅配サービスを実施する。										
ĒΤ	(1) 内容 ・委託事業者である生活協同組合を利用して買い物をする。													
価														
年			食料品に限り、週1回、木曜 類成、品物代は自己負担。	日に配達。										
4	2 令	和3年度実績	(功)从、加沙)(16日已兵)三。											
度		利用者数 3名												
စ		_{3日} 延べ利用回数												
	•	75回												
主														
な														
取														
組														
	D	☑ 分	評価結果		判断理由(特記事項) 「困難な高齢者に対して、委託事業者による宅配サービスを実施している事業であり、対象・手段」									
		対象·手段	┃ ☑ 妥当 □ 要検討	買い物に行くことが困難な高齢者に対して、委託事 や意図は妥当である。	業者による宅配サービスを	実施している事業であり、対象・手段								
	妥	对练"于段	□ 女 ⇒ □ 女侠 的	である。										
事	当	意 図	□ ☑ 妥当 □ 要検討											
→				 同様のサービスが民間事業者でも行われているた	必要である。									
	性	役割分担		60、7区区的万里07区的70	22 (000)									
		(行政関与)	□ 妥当 □ 要検討											
		│ │	令和3年度	評価指標 (指標性質)	令和1年度 令和24	年度 ▲活動 ●成果								
		B	133.33%,		50.00%, 150.0									
業	<u>+</u>	│	****	① サービス利用者数	*** ***									
	有	達 ^{拍標} 成 _{武田}	<u>達成された</u> 50.00%,	(増加目標指標)		125%								
		成 成果 度 指標	50.00%,	① サービス延べ利用回数	50.00%, 64.42 ★★★ ★★	/								
	効	5や低い 100%												
	高齢化が進むことに伴い、買い物弱者の増加が見込まれ、サービス利用者について成果向上の ロカル ロカル はニーズはあるため、成果向上の全地はある。また、買い物弱者の教育等として一定													
評	性	余地		の貢献が見込まれる。	- 、貝の物物性の放射水とし	(一定 75%								
	11	上位施策へ				50%								
		の貢献度	□ ☑あり □ なし			H31 R2 R3								
			令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度 令和24	年度 変動率								
		単位当たり	947.72%	サービス利用者数	99.75% 2.64	150%								
/==	効	変動率	増加している		ほぼ変動していない減少して	10.50/								
価	_		20,641.25 円	活動指標 を単位として換算 単位:円/人 配送料のみの負担であり、コスト改善の余地はなく	82,452.00 円 2,178.0 受益者負担も適正である。	10 H								
	率	コスト改善の余地	□あり ☑ なし		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	100%								
	性	-				75%								
		受益者負担 適正化	□あり ☑なし			50%								
		の余地				H31 R2 R3								
			1回あたりの委託料を平成											
改		れまでの												
<u> </u>	改革	i·改善内容												
革			IJ	スク(マイナス要素)	機会(フ	プラス要素)								
			対象となる独居高齢者や高			皆の生活において質や安全性の向上								
改	やニ	ーズの変化		ができ	్ చ									
	√− п ⊥	エトコト サ 土 4回	事業を必要とする高齢者を	早期発見するため、庁内や関係機関との連携を進む	めていく必要がある。									
善		:政改革大綱 との関連												
	(点	(検・確認)												
			□ ・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に										
事へ	今	後の方針	こういのよみ性が											
業一		のうえで継続」 合の展開方針	拡大	▼ □ 手段を改善(実施主体・手段のご	女善	計小 □ 効率化								
の次		後の方針」												
方評向価		の説明												
性~		·画内容等)												
	_	次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者 山口剛介										
	<u></u>	後の方針	☑ 現状のまま継続	売 □ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止・休止 □ 終了・完了										
_														
二次		のうえで継続」 合の展開方針	並大	● 手段を改善(実施主体・手段のご	攻善	計小								
評														
価		説明												
	_	√ n =	A#14/T0 T00 T											
	_	次評価日	令和4年6月22日	Сору	right ©2021 Yoshikawa City	office. All Rights Reserved								

No.	4011	08

		事務事業名	生活支援ショートステイサービス事業 所管部署名 健康長寿部						長寿部 :	長寿支援	寿支援課 高齢福祉係				
		+ W + A G		1207.19		**	事	前評值	西日	令和3年			評価責任者	山口 剛介	
基		事業期間	平成12年度 ~	未設定	事業年	龄 21 歳		拠法令		吉川市介	广護福祉	L総合条例	列		
	基	関連付け	☑ 有		無		事	業区	3 分	□ 法定	受託事	務	√ É	i責任者 山口 剛介 ② 自治事務 単年度 □ 複数年度 □ 無 社会福祉費 高齢者在宅福祉推進事業 ② おのショートステイサービスを金は介護認定要支援1の方の 話支援ショートステイサービス ③ 和4年度 令和5年度計画(千円) 93 93 93 93 93 93	
	本	の ^{まちづくり目標}	第2章 元気・健々	か・幸せのまち	づくり(健	康福祉部門	事務	事業0	の性質	☑ 毎年	F度繰り	返し] 単年度]複数年度	
	計画		第3節 いきいき	暮らせる高齢者	福祉の推	推進	直	接事簿	業費	☑ 有			□ 無		
本		施策小項目	(2)高齢者の日常	生活の支援			予	会討	区分	一般会計	t				
.,.		施計画の位置付け	□有		/ #		算 科	款	項	民生費			社会福祉費	ļ	
		fまち・ひと・しごと 上総合戦略との関連	□有☑無				目	目	細目	高齢者福	証費		高齢者在宅	福祉推進事業	
	個兒	削計画の位置付け	☑有□無高	龄者福祉計画			執	行 方	法	直営					
事	E	,対象	65歳以上で要介護認 の被害者	思定で非該当とな	った者又に	は高齢者虐	待								
	=	(誰を、何を)	対象年齢 65	99 65歳以上				殳							
項	Ŕ	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	要介護認定で非該当サービスを受けること				事美	どのよう ≹を行う		利用する				E要文振1の方の	
		類似事業	□有☑無				主な	業務プ	ロセス	☑ 有	□無	30210801	生活支援ショー	トステイサービス	
	前	 [年度事務事業	☑ 有 □無 401	108 生活支援ショ	ートスティ	'サービス事	業 CP戦I	略プランと	の関連	□有	☑ 無				
				令和1年度		和2年度			令	和3年度			令和4年度	令和5年度	
	区	分	≤ 分	決算(千円		算(千円)	予算(-	千円)	決算	第(千円)	増減額	額(千円)	当初(千円)		
	Δ	①事業			0	0		87	'	0		0	93	93	
投		② 人 件													
仅			員投入人員 員人件費									0			
	5	스타	ョス什員 年度任用職員人件費	*								0			
	ハ =	/	経費(加算)									0			
入	7	(4)コストダ	対象外(除外)									0			
	<u> </u>	(5) トータルコ	スト計(①+②+③-@	())	0	0		87		0		0	93	93	
		6国庫										0			
資	E	,	助 率									_			
		⑦県支出	出 金 i 助 率									0		_	
	特別		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									0			
\	京具	 9 そ の										0			
源	源		 担額(使用料•手数料等	等)							0				
		受益	者負担率(⑩÷⑤)												
	C	吉川市年間	負担経費(A-B)		0 0			87		0		0			
		補 助・単	单独区分	□ 全額	甫助					事業の上	乗せ・橨	出しあり	✓ 昔	川市単独	
	区	八	標	名 (上段)		- 単位	令和1			和2年度		13年度	令和4年度	令和5年度	
目				明(下段)			目標(見			(見込)値 		見込)値 績値	計画(見込)値	計画(見込)値	
	4	65歳以上で	介護認定非該当数					15	i	15		15		10	
標		毎年4月1日	現在の介護認定が	非該当となった	者の数	- 人		4	ļ	9		5	/	10	
175	象指標														
	徖	2													
設		サービス利力	 用申請者数					1		1		1			
	活	毎年度末の	サービス利用を申請		人		0)	0		0	1	1		
定	動														
		2			-										
-	指														
	標	3			-										
実			\$ T.I III III III			-									
	成	サービス延ん		B		5	1	5		5	5	5			
績	果指	毎年度末の	サービスを利用した			0)	0		0					
祁貝	指標	(2)		_											
SUSTAINADEVELOPI GOA 2030#ERIIT ###################################	LS		3 FATOAL MRENES					_	_						
THE CORL O			•												

評															
рΤ	2 令	和3年月	医実績	(ヨピな)に	0.(为体的)(时,	20.004.女がのの同断日に対し、	,几段体快少应频入	仍主力力设区的	寺のり こへを延	:IR 9 000					
価		利用者	数												
年		0名 延べ利	用日数												
-		0日													
度															
の															
主															
な															
取															
組															
	D	7	分	雪亚	価結果		平川 1	f理由(特記事項	5 /						
	Ľ	<u> </u>	/)	TR.	川州木	身体的に不安がある者は、介護				 『高齢者虐待の場合、老人福					
	_	対象	・手段	□妥当	☑要検討	祉法の措置制度があることから	妥当性について検討	対の余地がある。							
	妥														
		意	図	□妥当	☑要検討										
事	当	,													
	Let	/n -t-				介護保険は市が保険者として行	fっており、対象者に	同等のサービス	を提供する事業の)性格上、市が行うことは妥当					
	性		l分担 (関与)	☑妥当	□要検討	である。									
		.,,,,,													
		目	種別	令:	和3年度	評価指標(指標)	性質)	令和1年度	令和2年度	▲活動 ●成果					
業		標	活動		0% ★	① サービス利用申請者数		0% ★	0% ★	150%					
.,.	有	達	指標	達成度	がかなり低い		(増加目標指標)		達成度がかなり低い	125%					
		成	成果		0%	① サービス延べ利用日数		0%	0%						
	効	度	指標	達成度が	★ がかなり低い		(増加目標指標)	★ 達成度がかなり低い	★達成度がかなり低い	100%					
	,,,	は甲ェ	ーーー 句上の			高齢者の緊急避難としての利用									
≡π	ы		地	□あり	☑ なし	から施策への貢献度は高い。				75%					
評	性														
			施策へ 献度	☑あり	□ なし					50% ————————————————————————————————————					
		V) A	けい文		500 左 広	※ 仕 ソナ リーラー梅	公→上→	人和 左	人和女女	変動率					
			当たり	т,	和3年度	単位当たりコスト換	昇拍係	令和1年度	令和2年度	変 期 卒 150% ————————————————————————————————————					
	т.		スト 動率	評	価不可	サービス利用申請者数		評価不可	評価不可	125%					
価	効		-93			活動指標 を単位として換算	単位:円/人	ひせ ビュネキリ	利用树土人港加						
	率		改善	□あり	☑ なし	このサービスは、介護保険のシー酸に準じて設定しているため、こ		100%							
	性	();	余地							75%					
			者負担 正化	□あり	☑なし					50%					
			余地		<u> </u>					H31 R2 R3					
				平成26年に	高齢者虐待に。	より一時的避難が必要と認められ	こる人も利用対象とし	」た。							
改		れまで													
~	改革	・改善	内谷												
革						スク(マイナス要素)			機会(プラス要						
		・取り巻 一ズの		対象となる	65歳以上の高齢	計者の増加が見込まれる。		美のサービス提供 ができる。	を行うことで、対象	脅者が安心して日常生活を営					
改	73_		/发化				س د د	かてきる。							
	纪二日十	政改革	+ 網	事業を必要	とする高齢者を	早期発見するため、庁内や関係	機関との連携を進め	かていく必要があ	る。						
善	٤	との関連	車												
	(点	検・確	認)												
	_	 44 ∧ ∃	-61		状のまま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	統合 □ 」	廃止•休止	□ 終了•完了					
事へ		後のブ													
業一		のうえて			並大	● 手段を改善(実	ミ施主体・手段の改	(善)	☆ 縮 小	→ 効率化					
の次方評		後のた													
向価		の説明	1												
性〜		画内容		A 7-	4 to 0 0 0	,L == 1= + 1= +		THE A							
		次評個			4年5月31日	一次評価責任者									
	今	後のプ	5針	☑現	状のまま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	統合	廃止·休止	□ 終了·完了					
_		のうえて		1	1	<u> </u>	-15 - 10		▼	*					
次		合の展			□ 拡 大	▼ 手段を改善(実	『施主体・手段の改	(香)	☆ 縮 小	☆ 効率化					
評		量当 四													
価															
	=	次評個	5日	令和	4年6月22日		0	riaht @2021 V!-	nikawa City office	All Dialete Deserved					

No.	4011 09	
INO.	1 011 03	

	事務事業名		くらしアップデ	所	管部署	署名	健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係								
							_	前評値			₹9月1日		評価責任者	山口 剛介	
基	-	事業期間	平成12年度 ~		業年	給 21点		拠法令				総合条例			
	基	と関連付け	☑ 有		無			業区		□法□				治事務	
	本(の まちづくり目標	第2章 元気・健	やか・幸せのまちづく	(り(健原	東福祉部門	事務	事業0	り性質	☑ 毎年度繰り返し □ 単年度 □ 複数年度					
	計 画	期 施 策	第3節 いきいき	暮らせる高齢者福	祉の推	進		接事業	業費	☑ 有					
本		施策小項目	(3)介護予防の3	充実			予	会計	区分	一般会言	†				
·		計画の位置付け	□有	✓	無		算 — 科	款	項	民生費			社会福祉費		
		iまち・ひと・しごと :総合戦略との関連	□有☑無				目				畐祉費		高齢者在宅	福祉推進事業	
	個別	計画の位置付け	☑有□無高	齢者福祉計画			執	行方	法	一部委託	毛 市内	ケデイサー	-ビス実施事業	者へ委託	
事		対象(誰を、何を)	65歳以上で要介護記	忍定が非該当となった	≃者										
		(ILLEX PIE)	対象年齢 65	99 65歳以上				手具		市が委託	したデイ	サービス	事業所において、	介護保険のデイ	
項	的	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)		当となった方がデイサ きを取り除くことができ		を受けるこ	事	どのよう 業を行う		サービス	サービスと同様に送迎、入浴、食事、健康チェックを行う。				
		類似事業	□有☑無			主な業務プロセス			☑ 有 □無 30311001 くらしアップデイサービ				'サービス事業		
	前	年度事務事業	☑ 有 □無 40	1109 くらしアップデ	イサー	ビス事業	CP戦	略プランと	の関連	□有	☑ 無				
				令和1年度	介 和	口2年度			令 君	和3年度			令和4年度	令和5年度	
	区:	分 [2	☑ 分	決算(千円)		(千円)	予算(-	千円)		算(千円)	増減額	頃(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
	Α	① 事 業		0		0		107	'	0)	0	106	106	
+ л.	١.	② 人 件		77											
投			員投入人員 	0.01人								0			
	タ	스타	員人件費 丰度任用職員人件	77								0			
	ルコ	·	<u>+ 反 </u>	具								0			
入	コ		対象外(除外)									0			
	۲		⑤トータルコスト計(①+②+③-④) 77					107	,	0)	0	106	106	
		⑥国庫 5										0			
次	_		助 率												
資	В	⑦ 県 支 と										0			
	特		助率												
	定財	_										0			
源	源		他 坦額(使用料•手数料	* \				11		0	1	0			
			世額(使用料・子数科・ 各負担率(⑩÷⑤)	र ्ग /				10.28%		0	0				
	С		<u>負担経費(A−B)</u>	77		0		96		0)	0	106	106	
	D		单独区分	□ 全額補助	<u> </u>		部補助		補助	事業の上	_ 乗せ∙横	出しあり		川市単独	
		指	標	名 (上段)			令和1	年度	令	和2年度	令和	3年度	令和4年度	令和5年度	
	区:		<u> </u>			単位	目標(見			(見込)値		見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値	
目			算 式 説 介護認定が非該当	明(下段)			実績	<u>11</u> ≝ 15		実績値 15		績値 15			
	対	1)		護認定が非該当とな	_+_=	人			1				7	10	
標	象指	毋平4月1口3	兄任(700歳以上で)	慶応足が非該当こ な	ンに有			4		9		5			
	標	2													
設															
	活	サービス利力	用申請者数			人		3	3	3	3	3	3	3	
定		毎年度末の	サービス利用申請	者数				0)	0)	0		· ·	
Æ	動	2													
	指	2													
-											İ				
	標	3)				•									
実			 ベ利用日数					48	 	48	48 48				
	成	1)	サービス延べ利用			日		0		0		0	48	48	
績	果指		2 2702 9970	m								Ť			
	標	2													
SUSTAIN	ABLF		• ******				<u> </u>				1				
GOA	LS		3 FATOAL 開発と報告を												

評価	要介 2 令 (1)	和3年度 利用者	で非該 と実績	当となったか	が、身体的に何ら	らかの不安がある高齢者に対し、	介護保険の通所介	護と同等のサー	ビスを提供する。		
年	(2)	0名 延べ利。 0日	用日数								
度	,	ОЦ									
の											
主											
な											
取											
組											
	Σ	₹ ;	分	評	価結果		判断	f理由(特記事項	()		
	妥	対象	·手段	□妥当	☑要検討	身体的に不安がある者は、介護 常生活支援総合事業が始まり、た サービスを受けることが可能とな	介護認定と比較して	て簡便なチェックリ	がなされる。また、 リストにより、該当!	平成29年度 した高齢者は	から介護予防・日 :本事業と同等の
事	当	意	図	□妥当	☑要検討	介護保険は市が保険者として行っ	- ア れ川 社会 ギロ	·므ᄷᄼᄮᅟᅜᄀ	ナ担併せて声楽の		松仁ニーレナガル
	性	役割 (行政	分担 関与)	☑妥当	□要検討	である。	つてのが、対象名に	- 问寺のり一に入	で使供する事業の	7注俗工、川7	かけりことは女ヨ
		目	種別	令和	和3年度 0%	評価指標(指標性	挂 質)	令和1年度 0%	令和2年度 0%	▲活	動●成果
業	有	標達	活動 指標	法代府#	★ がかなり低い	① サービス利用申請者数	(増加目標指標)	*	*		
	-	成	成果	- 建队及ん	<u> </u>	① サービス延べ利用日数	(追加口信用信息)	0%	0%	125%	
	効	度	指標	達成度な	★ バかなり低い		(増加目標指標)			100%	
評	性	成果原余	句上の 地	□あり	☑ なし	サービス利用者は、利用対象者 急激な増加は見込めず成果向上	が要介護認定の非 :の余地は低い。	該当であるため、	, 利用対象者の	75%	
	11	上位がの貢	施策へ 献度	☑あり	□なし					50% ——— H31	R2 R3
		単位	当たり	令和	和3年度	単位当たりコスト換算	算指標	令和1年度	令和2年度	150%	変動率
/ =	効		スト 助率	評	価不可	サービス利用申請者数	**	評価不可	評価不可	125%	
価	率		·改善 ·改善 ·张地	□あり	 図 <mark>なし</mark>	活動指標 を単位として換算	─単位:円/人 イサービスと同様に 担の適正化余地は	 こ、利用者に1割釘 :無い。	 負担を求めてお	100%	
	性		5型 計負担							75%	
		適エ		□あり	☑なし					50% ———— H31	R2 R3
改		れまで • 改善									
革改		を取り巻 一ズの		対象となるの		Iスク(マイナス要素) 鈴者の増加が見込まれる。		きのサービス提供 ができる。	機会(プラス要を行うことで、対象		て日常生活を営
善善	٤	政改革 との関連 (検・確	<u>į</u>	事業を必要	とする高齢者を	5早期発見するため、庁内や関係も	幾関との連携を進 め	かていく必要があ	る。		
	今	後の方	針	☑現	状のまま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	統合 □ □	廃止・休止	□ *	冬了·完了
事へ業一の次	の場合	のうえて 合の展開	月方針		拉大	三 手段を改善(実)	施主体・手段の改	(善)	☆ 縮 小	Ž 🗴	协率化
方評 向価 性)		後の方 の説明 画内容	i -								
	_	次評価	日		4年5月31日	一次評価責任者	山口				
		後の方		☑ 現	状のまま継続 	□ 改善のうえで継続 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	□他の事業に	統合 □ 「	廃止•休止 ——	□ ¥ <u></u>	冬了·完了
二次		のうえて 合の展界			拉抜大	手段を改善(実)	施主体・手段の改	 双善)	縮 小	<u>*</u> \$	协率化
次評価		説明									
	=	次評価	日	令和	4年6月22日		Сору	right ©2021 Yosh	ikawa City office	. All Rights R	eserved

No.	4011 10
140.	101110

	3	事務事業名	 緊急時通報シ	P.	斤管部:	署名	健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係								
		7- 123 - 1- 20 E		<i>/////////////////////////////////////</i>	<u> </u>		틕	事前評 [.]	価日	令和34	年9月1日	事前	評価責任者	山口 剛介	
基	3	事業期間	平成3年度 ~	未設定	事業年團	泠 30歳		艮拠法		吉川市	介護福祉	L総合条	列		
	基	関連付け	☑ 有		無		事	第 第	区分	□法□	定受託事	務	✓ 自	治事務	
	本	の ^{まちづくり目標}	第2章 元気・健	やか・幸せのまちづく	くり(健康	東福祉部門	事(務事業	の性質	☑ 毎4	年度繰り	返し	□ 単年度 □	〕複数年 度	
	計	関施 策	第3節 いきいき	暮らせる高齢者福	祉の推	進	Ī	直接事:	業費	☑ 有	Ī		□ 無		
本	画	施策小項目	(2)高齢者の日	常生活の支援			予		†区分	一般会計	一般会計				
Τ`	実施	計画の位置付け	□有	V	無			算款 項		民生費			社会福祉費		
		iまち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無				目	目	細目	高齢者	福祉費		高齢者日常生活支援事業		
		計画の位置付け	☑有□無高	齢者福祉計画			幸	丸行ブ	法	一部委託	迁 緊急	通報セン	ター業務、機器の	設置を民間に委託	
事	E	対 象 (誰を、何を)	①65歳以上でひとり ②65歳以上で日中 対象年齢 65					手	段	急病や事	急病や事故などの緊急時に速やかに通報できる端末を貸し				
項	的	ような状態に	応を図るとともに、F	言齢者の緊急事態な 日常生活上におけるる の環境が向上する。	どに対し 下安を解	、迅速な !消すること	(v)	(どのよ 業を行う			出しすることにより、緊急事態の迅速な対応を図るとともに、看護師等による相談業務や安否確認を行う。				
		類似事業	□有☑無				主な業務プロセス			√ ☑ 有	□無	30311401	緊急時通報シス	ステム貸与事業	
	前	年度事務事業	☑ 有 □無 40)1110 緊急時通報シ	ノステム	貸与事業	€ CP¥	は略 プラン	との関連	■ 口有	☑ 無				
			- "	令和1年度	令和]2年度			令	和3年度			令和4年度	令和5年度	
	区	分	⊠ 分	決算(千円)		〔千円〕	予算	(千円)		算(千円)	増減額	預(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
	Д	①事 業		6,671		7,155		7,42		7,428	3	272	8,865		
±π.	١.	②人 件		2,630		1,288		1,28	_	1,954		666	1,954	1,954	
投	- 		員投入人員	0.34人		0.17人		0.17丿		0.26人	-	0.09人	0.26人	0.26人	
	5		員人件費 年度任用職員人件	2,630		1,288		1,28	В	1,954	1	666	1,954	1,954	
	ルコ		平及仕用戦員入代 経 費(加算)	1,869		1,869		1,86	n .	1,113	2	△ 756	1,113	1,113	
入	_ ス		対象外(除外)	1,009		1,009		1,00	9	1,110	,	<u> </u>	1,113	1,113	
	١		スト計(①+②+③-	4) 11,170		10,312		10,58	5	10,494	1	183	11,932	11,932	
		⑥国庫 5	支 出 金			•				•		0	,	,	
資			前助 率												
貝	B	⑦ 県 支 と										0			
	特		助 率												
	定則		債									0			
源	源		· -	77. 000				0		0.5		0		0.1	
		受益者負	担額(使用料·手数料 者負担率(⑩÷⑤)	等) 26 0.23%		0.27%		0.28		0.30%		3	0.26%	0.26%	
			自負担率(側下の) 負担経費(A-B)	11,144	ļ	10,284		10,55		10,463		180	11,901	11,901	
			单独区分	□ 全額補助	.		部補助	10,00		事業の上				川市単独	
		指		名(上段)	,			 1年度		和2年度		13年度		令和5年度	
	区	分				単 位		<u>' ー/文</u> 見込)値		票(見込)値		見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値	
目			算式 · 説	明(下段)			実	績値		実績値		績値	可图(无处/但	们四(无处/但	
	対	65歳以上の	高齢者数			人		17,09	0	17,509	9	18,125	17,701	17,837	
標	象 指	65歳以上の	高齢者数(各年度)	末)				17,17	3	17,432	2	17,566	,	ŕ	
	指標	2													
	175														
設		新規機器設	置台数			/.		7	0	70)	70			
	活	毎年度末の	緊急時通報システ	ムの新規設置数		台		5	2	57	7	65	70	70	
定	動														
	+6	2													
	指														
	標	3													
実		En 6 -2 :-		Net							_				
	成	(1)	システムの稼働件			件		45	-	460		460	460	460	
∌ ≢	果指	毎年度末の	緊急時通報システ	ムが稼働している作	‡数			43	2	440	ו	435			
績	指標	2													
	ागर														
SUSTAIN, DEVELOPE GOA	LS		3 TATOAK -W-												

	概要											
評	評 一人暮らしなどの高齢者や障害者に対し、緊急通報システムを設置することにより、日常生活上の緊急事態に対処する。											
	1 対											
価			以上の一人暮らし高齢者	· Z 古龄· Z								
年			以上で日中一人暮らしとな 意害の程度が1・2・3級の身	の同即有 体障害者手帳を取得している者								
	2 内			THE BY IXCHAIGO CO OF								
度			機器を利用者に貸与し、緊急	急時は消防署や民生委員などに電話回線により通報される。								
_	3 利 500F	^{田科} 円(端末設置費	専用の一部)									
の	4 実		ξ/11 02 μβ/									
主		新規設置台数										
		65台 稼働台数										
な		体動 ロ 奴 435台										
取												
чх												
組												
	2	☑ 分	評価結果	判断理由(特記事項)								
	妥	対象·手段	☑妥当 □要検討	ひとり暮らしや日中ひとり暮らしの高齢者など家族等の見守りの目が比較的届きにくい高齢者を対象にしており、対象・手段や意図は妥当である。								
_	当	意 図	☑妥当 □要検討									
事	1			本事業と同様のサービスは民間事業者も提供しているが、比較的高価であり、対象となる高齢者の負担軽減を図る								
	性	役割分担 (行政関与)	☑ 妥当 □ 要検討	本事来と同様のサービスは氏順事来有も提供しているが、比較的高価であり、対象となる高齢有の負担軽減を図るために、市が主体となって安価にサービスを提供することは妥当である。								
		種別	令和3年度	評価指標(指標性質) 令和1年度 令和2年度 ▲活動 ●成果								
		目近點	92.86%,	7/ 20% 81 / 3% 150%								
業		ロ 活動 標 指標	****	① 新規機器設置台数 ★★★ ★★★★								
	有	连	概ね達成された	(増加目標指標)達成度がやや低い概ね達成された								
		成成果	94.57%,	① 緊急時通報システムの稼働件数 96.00%, ★★★★ 95.65%, ★★★★								
	効	指標	概ね達成された	(増加目標指標) 概ね達成された 概ね達成された 100% 								
	,,,	成果向上の	INCOME TO CATE	緊急時対応に欠かせないサービスであり、高齢者の日常生活支援として上位施策へ								
===		の 貢献度はある。 75% 75% 75% 75% 75% 75% 75% 75% 75% 75%										
評	性	_										
		上位施策へ	☑あり □ なし	50% ————————————————————————————————————								
		の貢献度		H31 KZ K3								
		単位当たり	令和3年度	単位当たりコスト換算指標 令和1年度 令和2年度 変動率								
		コスト	89.24%	新規機器設置台数 114.48% 84.22% 150% 150% 150%								
価	効	変動率	減少している 161.448.77 円	増加している 減少している 活動指標 を単位として換算 単位:円/台 214,806.65 円 180,905.96 円 125%								
ІЩ			101,440.77]	ランニングコストの受益者負担のあり方について 検討の全地がある								
	率	コスト改善の余地	☑あり □なし	100%								
	性			75% ————								
		受益者負担 適正化	☑あり □なし	50% ————								
		の余地		H31 R2 R3								
⊐h-	٦	れまでの										
改	改革	•改善内容										
				リスク(マイナス要素) 機会(プラス要素)								
革	事業を	取り巻く環境		かんで、イナハ安宗/ 1885 (フラス安宗/ 1885 (フラン安宗/ 1885								
٠,		一ズの変化	使用しているアナログ電話	舌回線などのインフラが通信事業者により提供 むことができるとともに、身体の安全性を高めることができる。通信技術								
改			を打ち切られる恐れがあ									
	行財	政改革大綱	事業を必要とする局節百	を早期発見するため、庁内や関係機関との連携を進めていく必要がある。								
善		との関連 〔検・確認〕										
	\ m	3.1火 7年6心/										
	슼	 後の方針	☑ 現状のまま継続	。 □ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止·休止 □ 終了·完了								
事へ												
業一		のうえで継続」 合の展開方針	単拡っ	て □ 手段を改善(実施主体・手段の改善) □ 縮 小 □ 効率化								
の次 方評	「今	後の方針」										
向価		の説明										
性〜	(計	画内容等)										
		次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者 山口剛介								
		後の士41	□ 現状のまま継続									
		後の方針										
=		のうえで継続」 合の展開方針	拡力	「								
次	の場合	山ツ成州刀亚「										
評価		説明										
価												
	=	次評価日	令和4年6月22日	Copyright ©2021 Yoshikawa City office. All Rights Reserved								

No.	4011 11

]	事務事業名	外出支援サービス事業						所	管部署	署名	健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係					
		+ W + X 1			ハヂボ				事	前評値	日	令和3年			評価責任者	山口 剛介	
基	3	事業期間	平成12年度	~	未設定	事業年	= 齢 2	1歳	根	拠法钅	等	吉川市介	護福祉	止総合条件	列		
	基	関連付け	☑ 有			無			事	業区	分	□ 法定	受託	事務	✓ 自	治事務	
	本	の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	・幸せのまち	づくり(仮	康福祉部	部門)	事務	事業の)性質	☑ 毎年	度繰り	返し [□ 単年度 □]複数年度	
	計画		第3節 いきし	き暮ら	5せる高齢者	福祉の	推進		直	接事簿		☑有 無					
本		施策小項目	(2)高齢者の	日常生	活の支援				予	会計	区分	一般会計	+				
.,,		恵計画の位置付け	□有			無			算 4	款	項	民生費			社会福祉費		
		īまち・ひと・しごと E総合戦略との関連	□ 有 ☑無						目	目	細目	高齢者福	祉費		高齢者日常	生活支援事業	
	個別	川計画の位置付け	☑有□無	高齢者	皆福祉計画				執	行方	法	一部委託 市内3ヵ所のタクシー会社に委託				委託	
事	E	対象(誰を、何を)	①要介護3以上0 ②日常生活自立 な者					「困難									
			対象年齢 6	5 9	9 65歳以上			手 段 (どのような				利用者に	タクシー	-利用券(丿	月16,000円を上限)を交付する。	
項	鹶	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	通院や行政手続 利用者の経済的			移送手	没が確保	でき、		争未を打りのかり			利用者は料金の1割を負担し、市は9割分を支払う。				
		類似事業	□有☑無						主な	業務プ	ロセス	☑ 有	無	30211601	外出支援サービ	ごス事業	
	前	年度事務事業	☑ 有 □無 401111		1 外出支援サービス事		事業		CP戦	格プランと	の関連	□有□	∑ 無		•		
		Λ F	- ^	,	令和1年度	令	和2年度				令和	和3年度			令和4年度	令和5年度	
	区		☑ 分		決算(千円		算(千円))	予算(=	千円)	決算	算(千円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
	Δ	①事業				22		84		652		542		△ 42	622	622	
投	L	②人件				96		79		379	_	301		△ 78		301	
13			員投入人員 員人件費		0.09	96	0.05	人 79		0.05人 379		0.04人 301	4	△ 0.01人 △ 78	0.04人	0.04人	
	5	스타	三八叶頁 年度任用職員人	件書		190	3	79		3/8		301		0	301	301	
	ル =	_	経費(加算)	1150									0				
入	7	④コスト対	対象外(除外)											0			
	<u> </u>	⑤ トータルコ	スト計(①+②+③)-(4)	1,3	118	9	63		1,031		842	△ 120		923	923	
		⑥国 庫 5												0			
資	E		助 率														
	al d	⑦県支出	出金 助率											0			
	特定													0			
\r	定則	9 そ の												0			
源	源			(料等)										0			
		受益	者負担率(⑩÷億	5))													
	C	吉川市年間	負担経費(A-E	3)	·	118	9	63		1,031		842		△ 120	923	923	
		補 助・単	单独 区分		□ 全額	甫助		一部	補助		補助	事業の上	乗せ・楫	黄出しあり	☑吉	川市単独	
	ঘ	八 指	標	2	名 (上段)		単 位		令和1:			和2年度		13年度	令和4年度	令和5年度	
目目	区		· 算 式 · 訪	į Ę			早 15	<u> </u>	目標(見 実績			(見込)値 		(見込)値 :績値	計画(見込)値	計画(見込)値	
		要介護3以	上の者							703		752		756			
1 		毎年4月1日	現在の要介護3	以上の)者		│			749		722		807	838	870	
標	象 指																
	標	2															
設		_ サービス利力	田谷録去粉					+		23		24	1	25			
	活	\bigcirc	^{冊豆邺日} 級 サービス利用登	43. 12 . ¥	<u> </u>		人								20	20	
定	動	世年度末の	サーロス利用登		X					11		18		14			
		2															
	指																
	標	3															
実	<u></u>	サービス延ん	べ利用回数							270		280		300	007	050	
	成果	毎年度末の	サービス延べ利	用回数	x					290		225		195	237	250	
績	果指標												İ				
	標	(2)															
SUSTAIN. DEVELOP	MENT		3 すべての人に 健康と標性を				<u>l</u>				I		ı		<u> </u>	<u> </u>	
GOA			- ∕√•														
世界が白星した			•														

評	1 サービスの概要 「自宅と規則で定める施設の間を移動する場合について、外出を支援するサービス。 「1)内容												
価			クシー、介護タ	クシーを月16	000円分まで本人負担1割で利用	できる券を支給する	5 .						
			割分は翌月にす			CC US EXHID	•						
年		要介護3以上	等の方。										
度	• •	和3年度実績 利用登録者数											
の		14名 延べ利用回数											
主		195回 助成額											
な		512,210円											
取													
組													
	[2	区 分	評価				理由(特記事項		= 36.4				
	妥	対象・手段	☑妥当		このサービスは、要介護度の高し の向上を図るものであり、対象・『			減をすることによ	り、日常生活	古において利便!	Ξ		
事	当	意 図	☑妥当	□要検討	民間交通機関の運賃の一部を助	はオスという主業/	ひ性牧士 古が行	ニニーレが変化で丼	Z				
	性	役割分担 (行政関与)) プロとか・安当で必	ි ර									
		種別 目 元 計	令和3 56.0		評価指標 (指標性	質)	令和1年度 47.83%.	令和2年度 75.00%.	•	舌動 ●成果			
業	_	標構物	30.0	*	① サービス利用登録者数		**	***	150%				
	有	選	達成度が 65.0	10%		(増加目標指標)	達成度が低い 107.41%,	達成度がやや低い 80.36%.	125%				
	効	度相標	★★	r★ やや低い	① サービス延べ利用回数 対象者を拡大しており、成果向上	(増加目標指標)	★★★★★ 達成された	★★★★ 概ね達成された	100%				
評	性	成果向上の 余地	□あり	☑ なし	するサービスとして貢献している。	高齢者福祉	Lを推進するうえ ^っ	で、在宅者を支援	75%		•		
		上位施策へ の貢献度		口なし	No let vie le 11 en 1 de la	7r 1-1-1-1	A 12 / E et	A 100 for the	50% H31		R3		
		単位当たりコスト	令和3 112.	10%	単位当たりコスト換算サービス利用登録者数	↓ 指標	令和1年度 143.57%	令和2年度 44.66%	150%	変動率			
価	効	変動率	増加し 60,176	ている	活動指標 を単位として換算	単位:円/人	増加している 119,789.09 円	減少している 53,493.89 円	125%				
Щ	率	コスト改善の余地			サービス提供は市内タクシー事業 利用者は費用の1割を負担してお	養者と契約しており	、コスト削減の余	地はない。また、	100%		P		
	性	受益者負担							75% ———				
		適正化 の余地		☑なし ■		亚人-# # の 11 正	-	K + T	50% H31		R3		
改		れまでの さ・改善内容		非課税世帯を	を対象としたが、平成15年度から 対象要件に追加した。	要介護者の利便性	を考慮し、対象を			た、平成18年度	ימ		
革	事業を	・取り巻く環境	対象となる要が		スク(マイナス要素) 『齢者の増加が見込まれる。	本事業	のサービス提供	機会(プラス要 を行うことで、対象		<u> </u>	ーが		
改		ーズの変化					生活の質の向上が						
~	行財	政改革大綱	事業を必要と	する高齢者を	早期発見するため、庁内や関係	────────────────────────────────────	ていく必要がある	<u>る。</u>					
善		との関連 記検・確認)											
	\ <i>T</i>	3.1火 11年110/											
.	今	後の方針	② 現状	のまま継続	□ 改善のうえで継続 ■	□他の事業に	統合 □ 月	廃止•休止		終了·完了			
事へ業一		のうえで継続」 合の展開方針		拡大		施主体・手段の改	(善)	☆ 縮 小	*	効率化			
の次 方評		·後の方針」											
向価 性〜	(計	の説明 ·画内容等)											
	_	次評価日	令和4年	年5月31日	一次評価責任者	山口	副介						
	今	後の方針	☑ 現状	のまま継続	□ 改善のうえで継続	□他の事業に	統合 □ 月	廃止∙休止		終了·完了			
二次	「改善	のうえで継続」 合の展開方針		拉大	■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	□ 手段を改善(実施主体・手段の改善) 縮 小 □ 効率化							
評価		説明											
	Ξ	次評価日	令和4年	年6月22日		Copyr	right ©2021 Yosh	ikawa City office.	All Rights	Reserved			

No.	4011	12

	3	事務事業名	無料は必要	無料入浴券支給事業					所管部署名 健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係						
	_	ザカデネ ロ	ボイイノンノロッ	人人中	学术			Ę	事前評値	西日	令和3年			評価責任者	山口 剛介
基	=	事業期間	平成3年度	~	未設定	事業年	- 齢 30歳	克木	艮拠法	令等	吉川市介	↑護福	业総合条件	列	
	基	関連付け	☑ 有			無		Ę	事業 🛭	₹分	□ 法定	受託	事務	√ ≜	治事務
	本(の まちづくり目	票 第2章 元気	健やか	い幸せのまち	づくり(健	康福祉部門	事) 事	務事業の	の性質	☑ 毎年	度繰り	J返し [] 単年度 [] 複数年度
	計画		意 第3節 いき	いき暮ら	らせる高齢者:	福祉の推	進進	Ū	直接事	業費	☑有 無				
本		施策小項	3 (2)高齢者の	日常生	活の支援			予		区分	一般会計	一般会計			
.,,		配計画の位置付	† □ 有		√	無				項	民生費			社会福祉費	
		īまち・ひと・しごと E総合戦略との関〕	■ □ 有 ☑無					目		細目	高齢者福	祉費		高齢者日常生活支援事業	
		計画の位置付		高齢	者福祉計画			幸	執 行 方 法 補助・負担等 公衆浴場と協定					協定	
			05-45-N-1-40-5-45	Λ. -1 ν.											
事	目	対象(誰を、何を	65歳以上の高齢	百											
		(IEC) FIC		65 9	99 65歳以上			手 段			市内の公	衆浴場	「松の湯」	で利用できる無料	入浴券を月4枚
		意図						──── (どのような 事業を行うのか)			市内の公衆浴場「松の湯」で利用できる無料入浴券を月4枚 交付する。				
	的	(対象にどの ような状態		付し、ブ	人浴機会が増え	.、高齢者	が心身をリ								
項		なってほしい のか)	、レッシュできる。												
			□有☑無					主な	業務プ	゚ロセス	☑ 有	無	30311801	無料入浴券支	 給事業
		年度事務事業		40111	2 無料入浴券	支給事	 ·業		线略プランと						
					令和1年度		和2年度			수:	和3年度		l	令和4年度	令和5年度
	区:	分	区 分		決算(千円)		算(千円)	予算	(千円)	-	算(千円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
	Α		業費		4,4	90	4,265		4,791		4,365		100	0	0
		② 人	件費			96	530		530	-	301		△ 230		
投	<u> </u>		提員投入人員		0.09		0.07人		0.07人		0.04人		△ 0.03人		
	タ		は員人件費	/ # #	6	96	530		530		301 \(\triangle 230				
	ルコ		十年度任用職員人 経 費(加算)			-					0				
入	コス		対象外(除外)			-							0		
	۲	9 - 71	コスト計(①+②+②		5,1	87	4,796		5,321		4,666		△ 130	0	0
		⑥国庫	支 出 金		·		-						0		
資	В		補助率												
貝		⑦ 県 <u>支</u>											0		
	特		県補助率												
	定財	8市 9そ 0	 D 他										0		
源	源		D 他 負担額(使用料・手数	h 44 (本)		_							0		
			₹君負担率(⑩÷(_									
	С		間負担経費(A-E		5,1	87	4,796		5,321		4,666		△ 130	0	0
	D		単独区分	<u> </u>	□ 全額補			部補助		補助	事業の上	_ 乗せ•ホ	黄出しあり	✓ 吉	川市単独
			指標		名 (上段)			令和	1年度	令	和2年度	令和	口3年度	令和4年度	令和5年度
	区:				四 /下肌)		単位		見込)値		(見込)値		(見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値
目	Н		<u> 引 </u>	π '	明(下段)			夫	<u>績値</u> 17,090		実績値 17,509		E績値 18,125		
	対	(1)	の高齢者数(各年 の高齢者数(各年	:			人				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		17,566	-	_
標	象 指	00歳以工(の一切の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	- (支木)			1		17,173	•	17,432		17,300		
	標	2					_								
設															
	活	無料入浴	券交付者数 ———————				人		600)	600		600	_	_
定		毎年度末の	の無料入浴券の3	交付者	数				585	5	519		451		
Æ	動	2													
	指														
•															
	標	3					1								
実		毎年度末の無料入浴券の延べ利用枚数					+		15,500)	15,500		15,500		
	成					枚		14,869	1	14,119		13,641	_	_	
績	果指						14,008		14,118	-	10,041				
	標	2					4								
CI YOUR THE															
SUSTAIN DEVELOPE GOA			3 すべての人に 健康と提祉を												
2030年に向けて 世界が合理した 「外級可能な開発」			<i>-</i> ₩•												

							-4-30	
評		ービスの概要 以上の方に対	 打して、市内の公衆浴場に無	: 料で入浴できる券を支給し、高齢者の心身	- 身の健康σ	ー)保持及び増進を	 図る。	
	2 令	和3年度実績			, DEIACO.	- 一日本で		
価		利用券交付者 451名						
年		延べ利用枚数 13,641枚	I.					
度		10,011						
စ								
主								
な								
取								
組								
		7 /			र्गम अंग	↑TELLA / #± =□ ± ± ±	`\	
	∠	<u> </u>	評価結果	高齢者の心身の健康の保持及び増進を		f理由(特記事項 おり、対象・手段、		<u> </u>
	妥	対象·手段	☑妥当 □要検討					
	<u> </u>							
事	当	意 図	□ ☑ 妥当 □ 要検討					
7				公衆浴場の入浴料を助成するという事業	の性格上	、市が行うことが多	妥当である。	
	性	(役割分担 (行政関与)	☑妥当 □要検討					
		1# Du	A100 F F	== / + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + + 		人和左京	∆1 100 / 5 / 5	
		種別 目 _{活動}	令和3年度 75.17%,	評価指標(指標性質)		令和1年度 97.50%,	令和2年度 86.50%,	▲活動 ●成果
業	有	日 活動標 指標	★★★ 達成度がやや低い	① 無料入浴券交付者数	標指標)	★★★★ 概ね達成された	★★★★ 概ね達成された	
		成成	88.01%,	① 無料入浴券利用枚数	11示1日1示/	95.93%,	91.09%,	125%
	効	度指標	★★★★ 概ね達成された		煙指煙)	★★★★ 概ね達成された	★★★★	100%
	793	成果向上の		市民の浴室保有率は高くなっており、公然				
評	性	余地	□あり ☑ なし 	(,°				75%
	'	上位施策へ				50%		
		の貢献度	□あり ☑ なし 					H31 R2 R3
		単位当たり	令和3年度 111.96%	単位当たりコスト換算指標		令和1年度 87.78%	令和2年度 104.22%	変動率
/	÷±	コスト 変動率	増加している	無料入浴券交付者数		減少している	若干増加している	125%
価	効	_ , _, _,	10,345.19 円	活動指標 を単位として換算 単位: 公衆浴場の利用料の一部を事業者も負担		8,865.90 円 コスト改善の余地	9,240.04 円 は少ない。また、	100%
	率	コスト改善の余地	□あり ☑ なし	公衆浴場の利用促進の観点から受益者は	負担は難し	い。		
	性	受益者負担						75%
		適正化 の余地	□あり ☑なし 					50%
改		れまでの さ ・改善内容						
		- 446770					LIV A (0-	
革	事業を	・取り巻く環境		スク(マイナス要素) 内で一カ所のみであり、今後廃業などにより	ノ 一般す	ス庭にはない大き!	機会(プラス要 い浴場を備えた施	・素) i設であり、老人福祉センター
改		一ズの変化	事業が継続できなくなる恐	れがある。	に浴場	易がないことを補い		をリフレッシュする機会を与え
<u> </u>	4= B+	ホルギナ炯	安定して事業を継続するた	:めに、対象事業者との情報交換や連携を				
善	ا	政改革大綱 との関連						
	(片	□検・確認)						
	今	後の方針	□ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他	の事業に	統合 🗹 🛭	廃止∙休止	□ 終了•完了
事へ業一		のうえで継続」	, te +		エののコ	- 举 /	縮 小	——— □ 効率化
の次		合の展開方針 後の方針」	□ 拡 大 □ 拡 大 □ 公衆浴場の廃業により、市	□ 手段を改善(実施主体・ 内には一般公衆浴場が存在しなくなっただ				□ 効率化
方評向価		の説明				7 7/1 2/30 20 7 20		
性~		·画内容等)	△和4年5月21日	为证压主儿子	diam.			
		次評価日	令和4年5月31日 □ 現状のまま継続	一次評価責任者 改善のうえで継続 □ 他	山口 の事業に		· 廃止•休止	□ 数フ.ウフ
		後の方針	□ 現仏のまま継続 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	□ 以音のりんで極続 □ 他	₩ 尹未に	այլը 🖸 🤌		□ 終了·完了
二次		のうえで継続」 合の展開方針	並大	↓ 手段を改善(実施主体・	手段の改		☆ 縮 小	□ 効率化
次 評								
価		説明						
	Ξ	次評価日	令和4年6月22日		Conv	right ©2021 Vach	ikawa City office	All Rights Reserved

No.	4011	13
140.	1011	

]	事務事業名	 敬老祝品等	三瞳与	重業				所管	部署	8名	健康县	長寿部	長寿支援	課 高齢福祉係															
		<i>+ 10 + A 1</i>		T X					事前	評価	<u>5</u> 日	令和3年			評価責任者	山口 剛介														
基	3	事業期間	平成6年度	~	未設定	事業年	27		根拠			敬老祝品																		
	基	と 関連付け	□ 有			無			事業			□ 法定				治事務														
	本	のまちづくり目標						事	務事	業σ.	性質		度繰り	J返し [□ 単年度 □	複数年度														
	計画	区							直接	事業	美費	☑ 有			□ 無															
本		施策小項目							当 一		区分	一般会計	+																	
		を計画の位置付け ====================================		1	_	無			# 	款	項	民生費			社会福祉費															
		fまち・ひと・しごと E総合戦略との関連	□有☑無							目	細目	高齢者福	祉費		高齢者日常	齢者日常生活支援事業														
	個別	川計画の位置付け	☑有□無	高齢	者福祉計画				執行	方	法	直営																		
事	E	対象(誰を、何を)	満88歳、満99歳	に達す	る者																									
		(III E C) FI E /	対象年齢	38 9	99 満88歳、流	萬99歳			手 段			対象者に祝品10,000円相当または祝金10,000円を贈呈する。																		
項	於	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	祝品等を贈呈す	ることに	こより長寿を祝	福する。		;	事業を	りよう 行うの		対象台に	作 花百百 1 0	または	心円を贈至りる。															
		類似事業	□有☑無					主	な業績	务プ	ロセス	☑ 有	無	30311901	敬老祝品等贈	 呈事業														
	前	年度事務事業	☑有□無	40111	13 敬老祝品等	等贈呈事	業	СР	CP戦略プランとの		の関連	□有																		
				ı	令和1年度	- 令	和2年度		令和			和3年度			令和4年度	令和5年度														
	区	分	⊠ 分		決算(千円		算(千円)	予算	章(千F	9)		算(千円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)														
	Δ	① 事 業				30	2,396			710		2,678		282	2,825															
投	L	② 人 件				53	2,196			196		1,277		△ 919	1,277	1,277														
12			員投入人員 員人件費		0.33	i53	0.29人 2,196			9人 196		0.17人 1,277		<u>ム 0.12人</u> ム 919	0.17人 1,277	0.17人 1,277														
	5	스타	<u>東スド夏</u> 年度任用職員人	件費	2,0	100	2,130			,130		1,277	Δ 31.		1,277	1,211														
	ル =		経費(加算)											0																
入	7		対象外(除外)											0																
		(5) トータルコ	スト計(①+②+③	3)-(4))	4,4	82	4,593		4	906		3,956		△ 637	4,102	4,102														
	⑥国庫支出金													0																
資	Е	国補助率										0																		
	特		県補助率									0																		
	定則																													
源	則	9 そ の																												
///\	117.	10 受益者負					担額(使用料・手数料等)								图(使用料•手数料等)													0		
			者負担率(⑩÷(
	0		負担経費(A-E	3)	·	82	4,593			,906		3,956		△ 637	4,102 吉	,														
			単独区分		全額神	用助			補助 □ ·			事業の上				川市単独														
	区	打 分————————————————————————————————————	旨 標 		名 (上段) 		単 位	目標	(見込		目標	和2年度 (見込)値		口3年度 (見込)値	令和4年度 計画(見込)値	令和5年度 計画(見込)値														
目			- 算 式 ・ 訪		明(下段)			身	 長績値		多	に積値		三績値	可凹(无处/恒	可图(无处/恒														
		(1)	99歳に達する者				人			229		266		258	266	280														
標	象	毎年4月1日	現在の敬老祝品	古等贈.	呈対象者					229		231		255																
	象 毎年4月1日現在の敬老祝品等贈 指 ②																													
設		敬老祝品等	 贈呈人数							229		266		258																
	活	毎年度末の	敬老祝品等を贈	当呈した	 ::者数		一 人			185		230		248	266	280														
定	動																													
	指	2																												
-																														
	標	3																												
実		敬老祝品等	1 世 旦 好					1	2,290	በበባ		2,660,000		2,580,000																
	成	(1)		曲口 .	東 古		円	-	-						2,660,000	2,800,000														
績	果指	世年度木の	敬老祝品等の則	百主金	렍			-	1,848	,uuU		2,297,000		2,480,000																
192	標	2											-																	
CI ICE	AP																													
SUSTAINA DEVELOPI GOA	LS		3 対ペてのAに →																											
2030年に向けて 世界が合理した 「外級可能な開発日	M.P.																													

	. +	alle - Inv								
評		業の概要 ·足住の草齢を	원 청 사용 사용 사용 사용 사용 사용 사용 사용 사용 사용 사용 사용 사용	又比数老规	金を贈呈することにより、敬老(の音を実」 長事を対	見掉するものであ	Z		
П	2 対	,		∠ 16 ⊌, 12 1.	並と相主がもことのパースを	の心となり及れて「	7. IE 7 0 0 0 C 0 C	•		
価			へて、市内に1年以上	こ在住する米	(寿(88歳)、白寿(99歳)を迎え	る方。				
年	3 内部 (1)	谷 敬老祝品								
_		対象者に、カク	タログ掲載品の中か	いら10,000円	相当の商品を贈呈する。(3,000	0円、5,000円、7,00	0円、10,000円)※	組合せ自由		
度		敬老祝金 対象者から	申請書が提出された	〜後 10,000	円を贈呈する。					
စ	4 令	和3年度実績	中明自2012年107	- 10,000	17年出土 7 00					
- *		敬老祝品								
主		70人 敬老祝金								
な		178人								
取										
組										
	[2	☑ 分	評価結果				f理由(特記事項	••		
	妥	対象·手段	☑ 妥当 □ □		事業は特定の年齢に達した長 ある。	寿高齢者に対し敬	老の意を表し祝礼	畐するものである <i>†</i>	≿め、対象・手段∜	⇒意図は妥当
事	当									
7	性	役割分担 (行政関与)	☑妥当□□	本要検討	事業は福祉的な性格が強いこ	とから、市が事業を	を行うことは妥当で	である。		
		令和2年度	▲活動	●成果						
業		目活動	96.12%,	1	敬老祝品等贈呈人数		80.79%,	86.47%,	150%	
未	有	標 指標	★★★★ 概ね達成され			(増加目標指標)	★★★★	★★★★		
		成出	96.12%,				80.70%,	86.35%,	125%	
		茂 成果 度 指標	★★★★ 概ね達成され		敬老祝品等贈呈額		****	***	100%	
	効	機ね達成されたた、本事業は施	100%							
評	性	75%	r 							
		上位施策へ の貢献度	50% ————————————————————————————————————	2 R3						
		W /L W /L / I	令和3年度	ŧ	単位当たりコスト換算	算指標	令和1年度	令和2年度	変動	 率
		単位当たり	79.88%	- 敬	—————————— :老祝品等贈呈人数		103.94%	82.41%	150%	
価	効	変動率	減少してい 15,950.60	'ම <u>"</u>	動指標 を単位として換算	単位:円/人	若干増加している 24,229.61 円	減少している 19,968.25 円	125%	
ІЩ			10,930.00		品等の支給に係る事業である				100%	
	率	コスト改善の余地	□あり ▽ な						100%	
	性	受益者負担							75%	
		適正化	□あり ▽な	まし					50% ————————————————————————————————————	
		の余地							H31 R	2 R3
	_	れまでの			テを追加することで、敬老祝品の レイアウトを変更し、見やすいも		に内容を改善した	Ξ.		
改		れまでの		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	> 17 71 E&XO()L (7 0 C	, o, icu, g o ic.				
革	中₩≠	・施口光ノ理接	本事業の性格上で		7(マイナス要素)		なることなむねい	機会(プラス要)する事業であり、		与はたた成じ
		で取り合く環境 一ズの変化	本事来の圧而工 ((1)へ安米	14/4010		ができる。	リる事業であり、	列象有が窓前の	XITサウで配し
改										
26	行財	政改革大綱	事業の効果を高め	うるため、祝ら	品を提供する事業者や品数をは	曽やすために周知	や連携を進める必	必要がある。		
善		との関連 〔検・確認〕								
	\ m	31关"11年11心/								
	今	後の方針	☑ 現状のま	ま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	統合 🗌 🛭	桑止∙休止	□ 終了・	完了
事へ		のうえで継続」	· .							
業一の次		合の展開方針	Ľ	」拡 大	□ 手段を改善(実)	施主体・手段の改	(善)	☆ 縮 小	□ 効率(t
方評		後の方針」								
向価 性〜		の説明 画内容等)								
i I		四四百年 次評価日	令和4年5月	31 🗆	一次評価責任者	山口	訓介			
		人計画日								
	今	後の方針	☑ 現状のま	に ま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	秕台 □ □	廃止∙休止	□ 終了・	元「
=		のうえで継続」	1 ₹	. 44 -	A - m 1 - 4 - 4	W-14	L*\	V (c)	<u> </u>	ı.
次		合の展開方針		」拡大	単 手段を改善(実)	他王体・手段の改	(善)	富 編 小	□ 効率化	<u></u>
評価		説明								
	=	次評価日	令和4年6月	22日		0	right @2021 V	ikawa City office.	All Dighta Dagge	ınd
					4	Сору	HBIIL ₩ZUZI IUSN	mawa Oity Office.	A TAISTILS RESERVE	, ou

No.	4011	14

	3	事務事業名	在宅高齢者	· 介謹	支 摆丢坐	支 絵重	(業	i	所管	部署	8名	健康县	長寿部	長寿支援	課 高齢福祉係																															
		- W - X L		JI RDE.		<u> </u>	*	:	事前	了評句	日	令和3年	F9月11	事前	評価責任者	山口 剛介																														
基	3	事業期間	昭和47年度	~	未設定	事業年	婚 49 崩	麦	根拠	法令	等	吉川市在	E宅高	鈴者介護	支援手当支給领	条例																														
	基	関連付け	☑ 有			無		:	事業	区	分	□ 法定	受託	事務	✓	治事務																														
	本	の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	・幸せのまち	づくり(健	康福祉部門	雪) 事	務事	業の)性質	☑ 毎年	E度繰り	J返し [] 単年度 [〕複数年度																														
	計画		第3節 いきし	き暮ら	せる高齢者	福祉の推	進		直接	事第	美費	☑ 有			□ #	ŧ																														
本	凹	施策小項目	(2)高齢者の	日常生	活の支援			7		会計	区分	一般会計	†																																	
77	実別	計画の位置付け	□有		Į,	無				款	項	民生費			社会福祉費	社会福祉費																														
		iまち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無					Ē		目	細目	高齢者福	証費		高齢者日常	宫生活支援事業																														
	個別	引計画の位置付け	□有☑無						執彳	亍 方	法	直営																																		
事	E	対 象	65歳以上の高齢 著しく支障がある している所得税す	認知症	の者で、その																																									
	_	(誰を、何を)		5 99					手	E	元	申請後、課税状況や申請者の身体の状況を審査し、月額																																		
		意 図	7.3%十四0	0 00					نغ)	のよう	な					を番宜し、月額																														
項	的	(対象にどの	手当を支給する。	ことにより	り経済的負担	!が軽減さ	れる。	=	争来で	<u>1</u> 177((ינדענ)																																			
		類似事業	□有☑無					主	主な業務プロセス			☑ 有	□ 無	30212001	在宅高齢者介護	支援手当支給事業																														
	-	年度事務事業		401114	在宅高齢者		 手当支給事	業 CP	戦略	プランと	の関連																																			
					令和1年度		和2年度								令和4年度	令和5年度																														
	区	分	区 分		決算(千円		第(千円)	予算	予算(千円)				増減額(千円		当初(千円)	計画(千円)																														
	Δ	① 事 業	費			110	450					401		△ 50																																
	_	② 人			1	55	76			76		225		150	22	225																														
投			員投入人員		0.02	2人	0.01人		0.0	01人		0.03人		0.02人	ال 0.03	0.03人																														
	5		員人件費		1	55	76			76		225		150		225																														
	Л	, 会計4	年度任用職員人	件費										0																																
入	=		経費(加算)											0																																
	\ 	9 - 7 - 7	対象外(除外)) (D)						040				0		705																														
		\circ	スト計(①+②+③ 支 出 金)—(4))		64	526			616		626		100		765																														
														U																																
資	Е	3 国補助率 ⑦県支出金												0																																
	特		<u> </u>																																											
	定		, <u>,,</u> 											0																																
গ্ৰহ	定則	9その	他											0																																
源	源										<u>。</u> 6負担額(使用料・手数料等)																																	0	0	
		受益	者負担率(⑩÷億	5))																																										
	C	吉川市年間	負担経費(A-B	3)		64	526		616			626 100		0 765																																
		補助・単	单独 区 分		□ 全額ネ	甫助		部補助]		補助	事業の上	乗せ・村	黄出しあり	✓ ‡	川市単独																														
			標	â	3 (上段)										令和4年度	令和5年度																														
	区		· 算 式 • 説				単位								計画(見込)値	② 吉川市単独 令和4年度 令和5年度																														
目										## (どのような まを行うのか) ## (どのような まを行うのか) ## (までのような まを行うのか) ## (までのような まをで行うのか) ## (までのような までです。																																				
		1)	章がい高齢者日常			羽定老数	人						-		80	850																														
標	象 指												-																																	
	標	2	者日常生活自立				人						1		66	697																														
設			知症高齢者日常生	活目立:	文援度Ⅲ・Ⅳ 0.)認定有数								640																																
	活	手当支給者					人			11		11		11	11	10																														
定		毎年度末の	手当支給者数						8		9		7																																	
Æ	動	1																																												
	指	2																																												
•																																														
	標	3					1																																							
実		工业士4人4小	東 西						FO	1.000	-	E0.4.000		E40.000																																
	成	1 手当支給総					円					•	1		420.00	450,000																														
υ≠	果指	毎年度末の	手当支給総額						409	9,500		450,000		400,500		1																														
績	指標	2																																												
	標 ②											_		_																																
SUSTAIN	MENT	-	3 すべての人に 健康と権能を																																											
DEVELOP			^																																											
GOA			<i>_</i> ₩ ,																																											

評			べてを満たす者)									
価	(2)	35歳以上の者 所得税非課税 宮たきロフは3		ヨロト結いている老								
年	2 支	給額	者しい認知症の状態が6万) 2月、4月に支給)	可以上続いている自								
度	734,0	300[](87], 12										
の												
主												
な												
取												
組												
	<u> </u>	☑ 分	評価結果		坐川柴	理由(特記事項	i)					
	<u> </u>	対象・手段	☑妥当 □要検討	在宅で寝たきりなどの状態である低所 手段や意図は妥当である。			••	桟給付を行うものであり、対象・				
	妥	対家・于段										
事	当											
	性	役割分担 (行政関与)										
		種別	令和3年度	評価指標(指標性質)		令和1年度	令和2年度	▲活動 ●成果				
業		目 標 精 指標	63.64%, ★★★	① 手当支給者数		72.73%, ★★★	81.82%, ★★★★	150%				
	有 		<u>達成度がやや低い</u> 74.17%,		1目標指標)	達成度がやや低い 68.94%,	概ね達成された 75.76%,	125%				
	効	度 成果 指標	★★★ 達成度がやや低い	① 手当支給総額 (増加]目標指標)	★★★ 達成度がやや低い	★★★ 達成度がやや低い	100%				
評	性	成果向上の 余地	□あり ☑ なし	対象者への手当の支給に係る事業でを目的とする事業であり、上位施策への	あり、成果向	上の余地はない。		75%				
	.—	上位施策へ の貢献度	□あり ☑ なし					50% —R31 R2 R3				
		単位当たり	令和3年度 153.07%	単位当たりコスト換算指標		令和1年度 106.44%	令和2年度 82.83%	変動率 150%				
価	効	コスト 変動率	増加している 89,417.14 円	手当支給者数 活動指標 を単位として換算 単位	ī: 円/人	若干増加している 70,525.00 円	減少している 58,415.56 円	125%				
,,,,,	率	コスト改善	□あり ▽ なし	金銭給付に係る事業であるため、コスト				100%				
	性	の余地						75%				
		受益者負担 適正化 の余地	□あり ☑なし					50% ————————————————————————————————————				
	-	れまでの										
改		・改善内容										
革	- 4lk -			リスク(マイナス要素)	 	***	機会(プラス要					
改		で取り巻く環境 一ズの変化	対象者の増加が見込まれ	∕⊙ ∘		を実施すること させることができ		的な負担が軽減され生活の質				
LX.	行財	政改革大綱	対象者が適切に手続きが	できるよう、関係機関などと連携を進める	 S必要がある。	D						
善	d	との関連 (検・確認)										
			│		他の事業に			 □ 終了·完了				
事へ		後の方針 のうえで継続」		<u> </u>								
業一の次	の場合	合の展開方針	ॼ॑फ़ॳ	(善)	☆ 縮 小	□ 効率化						
方評 「今後の方針」 向価 性 (計画内容等)												
	_	次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	山口區		± 1 - 1 - 1					
		後の方針	☑ 現状のまま継続	た □ 改善のうえで継続 □ (他の事業に	税台 □ □	廃止•休止 ——	□ 終了·完了 				
二次		のうえで継続」 合の展開方針	上拡大	▼ 手段を改善(実施主体	本・手段の改	(善)	☆ 縮 小	→ 効率化				
評価		説明										
	=	次評価日	令和4年6月22日 Conwight ©2021 Vashikawa City office. All Pights Pasanyad									

No. 4011 15

	3	事務事業名	高齢者世帯賃貸住宅家賃助成事業					所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係					
	-	学	同都名 世市具員	江七豕貝叻	八手未		事	前評価	日	令和3年	9月1日	事前	評価責任者	山口 剛介		
基	-	事業 期間	平成5年度 ~	未設定事	業年齢	28歳	根	拠法令	等	吉川市高	齢者世	帯賃貸値	主宅家賃助成要	E綱		
	#	関連付け	☑有		無		事	業区	分	□ 法定	受託事	務	√ ≜	治事務		
	基本		第2章 元気・健やか	い幸せのまちづく	り(健康福	祉部門:	事務	事業σ	性質	☑ 毎年	度繰り	返し [〕単年度 [〕複数年度		
	計		第3節 いきいき暮ら		祉の推進		直:	接事業	* 書	☑ 有						
	画	系 施策小項目					予		区分	介護保険	特別会	計				
本	宝裕	計画の位置付け			無		算	款	項	地域支援			地域支援事			
	7	まち・ひと・しごと	□有☑無		MK.		科目	目					費 任意事業			
		総合戦略との関連 計画の位置付け		본성 및 11 High							及事未	山心 尹木	1. 其 [江忠于未			
	10万	計画の12直付け	☑ 有 □無 高齢者 65歳以上のひとり暮らし	者福祉計画 マは京齢者世帯			料	行 方	法	直営						
事		対象	(2年以上居住している			を払う世	<u>t</u>									
7	E	(誰を、何を)	帯、市民税非課税世帯				_		_		// PD			<u> </u>		
			対象年齢 65 9	99 65歳以上				手 科 どのよう					○3回に分けて助成り ○般会計から介記			
		意図(対象にどの	ウチャ かたせひょう	- 1 - 1	645 # ID 18	± 7 \ -1 1.	事業	を行うの		に変更した						
	的	ような状態に	家賃の一部を補助するる。	ことにより、栓済的	りな其担か	性派され かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	•									
項		なってほしい のか)														
		類似事業	□有☑無				主な美	業務プ	ロセス	☑ 有 [□無 3	0312301	高齢者世帯賃貸値	主宅家賃助成事業		
	前	年度事務事業	☑ 有 □無 40111	5 高齢者世帯賃貸	貸住宅家賃	助成事業	K CP戦	各プランと	の関連	□ 有 [☑ 無					
				令和1年度	令和2年	F度			令和	口3年度			令和4年度	令和5年度		
	区	分 	区 分	決算(千円)	決算(千		予算(=	f円)	決算	千円)	増減額	〔千円〕	当初(千円)	計画(千円)		
	Α	① 事 業		8,129		8,433		9,333		9,193		760	9,276	9,276		
10		② 人 件		1,238		1,363		1,363		2,104		741	2,104	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
投			員投入人員	0.16人).18人		0.18人		0.28人		0.10人	0.28人	0.28人		
	タ		員人件費	1,238		1,363		1,363		2,104		741	2,104	2,104		
	ル	·	年度任用職員人件費	4.040		4.770		4 707		4 4 4 0	0		4 440	4 440		
入			経費(加算)	1,846		1,770		1,707	1,113			△ 657	1,113	1,113		
	,	9 - 1 /	り 家 タト (除タト) スト計(①+②+③-④)	11,213	1	1.566		12,403		12.410		0 844	12,493	12,493		
			支出金	11,213		3,247		3,257		3,539		292	3,571	3,571		
			<u> </u>			5/100	38	5/100		38.5/100		232	38.5/100			
資	В	⑦県支出			00.	1,623		1,628	1,770			147	1.786			
	特		県補助率		19.2	5/100	19.2	5/100		9.25/100	/100		19.25/100	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	定則	8市														
源	り渡り	9その				1,939		1,945		2,114 1		175	2,133	2,133		
////	加	⑪ 受益者負	担額(使用料・手数料等)			1,000				2,114		0				
		受益	者負担率(⑩÷⑤)													
	С	_	負担経費(A-B)	11,213		4,757		5,573		4,987		230	5,003	,		
	D	補助・単	単独区分	□ 全額補助	j L	✓ 一部	3補助	Ш	補助	事業の上	乗せ・横	出しあり		川市単独		
	_	八	標	名 (上段)	**	4 44	令和1:			口2年度		3年度	令和4年度	令和5年度		
▮▮	区:		· 算 式 • 説 ·	 明 (下段)		位	目標(見			(見込)値 < <積値		見込)値 <u></u> 責値	計画(見込)値	計画(見込)値		
		_ 65歳以上の		27 (1127				<u></u> 17,090		17,509	241	18,125				
		\bigcirc	高齢者数(各年度末)			人		17,173		17,432		17,566	17,701	17,837		
標	象 指	00/100/2012	问题 日					17,170		17,102		17,000				
	標	2														
設																
	活	家賃助成金	支給世帯数		+	世帯		210		216		175	193	208		
定	/0	毎年度末の	家賃助成金を支給した	-世帯数		- 112		154		166		179	100	200		
疋	動															
	指	2														
•																
	標	3				-										
実																
	成	家賃助成金				円		74,000		8,400,000	8,	400,000	10,164,000	10,857,000		
	果指	毎年度末の	を 末の家賃助成金の支給総額				8,0	56,600		8,398,500	9,	156,100	=, : 3 1,000	,,		
績	指標	3					_	_		_						
	示															
SUSTAIN. DEVELOP	MENT					1			11 845	ēけられる 5くりを	i		i	1		
GOA	LS															

					也以又按司	甲未貝 / 地域)	又抜争未負 / 己	括的文拨争来"仕思寻	未貝
評価年度の主	·i ·i ·: 2 支約	世帯全員が65 市民税非課税 市内に2年以」 生活保護を受 月額30,000円 給額	議以上であること。 世帯であること。 上住民票を置いていること。 けていない世帯であること。 以上の家賃を負担している。 を超えた分で4,500円を上限			· ALLEY FUNDA		THE PARTY OF THE PARTY OF	
な									
取									
組									
	Σ	区 分	評価結果		本川床亡1	理由(特記事項	'\		
	Ľ	<u> </u>		本事業は、低所得かつ賃貸住宅入居者の)居住の安定を図ることを	・目的 ・
	妥	対象·手段	☑妥当 □要検討	とした助成制度であるため、対象・手段、意	図は妥当	である。		ALVACED GEO	
+	当	意 図	☑ 妥当 □要検討						
事	性	役割分担 (行政関与)	☑妥当 □要検討	民間賃貸住宅の家賃を一部助成する事業	であるため)、市が行うこと(は妥当である。		
		種別	令和3年度	評価指標 (指標性質)		令和1年度	令和2年度	▲江新 ●戊田	
		8	102.29%.			73.33%,	76.85%,	▲活動 ●成果 150% ————————————————————————————————————	
業		抽 活期	****	① 家賃助成金支給世帯数		★★★	★★★	130/0	
	有	達	達成された	(増加目標	標指標)	達成度がやや低い	達成度がやや低い	125%	
		成成果	109.00%,	① 家賃助成金支給総額		88.79%,	99.98%,	120%	
	効	度指標	★★★★★ 達成された		H== +12 +== 1 +	★★★★	★★★★ 概ね達成された	100%	
	XVJ		建成された	「垣加日代本事業は高齢者の住宅の確保について支					
		成果向上の 余地	□あり ☑ なし	は高い。	.12.7 (20.11	u 0057(1 12%	スページメートの	75%	
評	性	赤地							
		上位施策へ の貢献度	☑あり □ なし					50% — R2	R3
		単位当たり	令和3年度	単位当たりコスト換算指標		令和1年度	令和2年度	変動率	
		コスト	99.50% ほぼ変動していない	家賃助成金支給世帯数		124.35% 増加している	95.70% 若干減少している	150%	
価	効	変動率	69,327.73 円	 活動指標 を単位として換算 単位:円				125%	
11111	率		00,027.70 1	金銭給付に係る事業であり、コスト改善、受	·/ 上 受益者負担	の適正化余地に	は無い。	100%	_
	•	コスト改善の余地	□あり ☑ なし					100%	
	性	受益者負担						75%	
		道正化	□あり ☑なし					50%	
		の余地						H31 R2	R3
改		れまでの 1・改善内容							
革				スク(マイナス要素)		6 play 1	機会(プラス要		
		・取り巻く環境 一ズの変化	対象となる高齢者世帯の増	別川か見込まれる。		を実施することで させることができ		内な負担が軽減され生活	の質
改	۰	八〇文儿			2191	בשבבא כב	•		
	4 <u>π</u> π+	政改革大綱	事業を必要とする高齢者を	早期発見するため、庁内や関係機関との連	連携を進め	ていく必要がある	5.		
善		以以早入神 :の関連							
		(検•確認)							
			☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の	事業に紛	<u> </u>	···休止	□ 終了·完了	
.	今	後の方針	□ 玩伙りよよ№別	□ 改善のうたで極帆 □ 他の	ノザ木に削		ETT - WIT	□ 1×31-7€1	
事へ業一		のうえで継続」	□拡大	▼ □ 手段を改善(実施主体・・・)	手段の改善	羊)	縮 小	────	
の次		今の展開方針	☐ 1/A 入	□ 子段を以告(美旭王体・・・	ナ技の以前	当 /	□ 州田 八、	□ 刈牟に	
方評		後の方針」 の説明							
向価 性〜		の説明 画内容等)							
		 次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	山口剛	介			
			☑ 現状のまま継続		事業に紛		· · · · · · · · · ·	□ 終了·完了	
	今	後の方針	」 ガルツみみ 一		/ 尹木に前	. □ □ 15	ETT NATT	山 ペル・元 1	
=		のうえで継続」	┴拡大		チェカンサギ	美)	★ 縮 小	————————————————————————————————————	
次	の場合	合の展開方針	□ 174 人	□ ナ权で以告(夫肥土体*)	丁収の以	= /	□ 神田 小	□ 刈牟化	
評		説明							
価									
	=	次評価日	令和4年6月22日		Conve	rht @2021 Va-L	kowa City office	All Dights Decorved	

No.	4011 16
110.	101110

	事	務事業名	高齢者生きが	いづくり活動事	業		所	管部署	署名	健康長	長寿部 長	寿支援	課 高齢福祉係	
			同間では工でが	10 : 2 () / 130 子	*		事	前評値	西日	令和3年	F9月1日	事前	評価責任者	山口 剛介
基	事	業期間	平成12年度 ~	未設定事	業年	龄 21歳		拠法含		吉川市介	で護福祉	総合条例		
	基と	関連付け	☑ 有		無		事	業区	3 分		受託事			治事務
	本の	まちづくり目標		やか・幸せのまちづく				事業(度繰り	図し		」複数年度
	計関画係	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		移存される高齢者福祉	业の推	進		接事		☑ 有			無	
本		施策小項目	(1)高齢者の社				予算		区分	一般会計	+			
		計画の位置付け	☑ 有		無		科	款	項	民生費			社会福祉費	
		まち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無				目	目	細目	高齢者福				がいづくり事業
	個別言	計画の位置付け	☑有□無高	節者福祉計画			執	行方	法	補助•負担	等連合	長寿会	および老人クラ	ブに補助金
事	目	対 象 (誰を、何を)	60歳以上の市民 対象年齢 60	99 60歳以上				手具	£.		+ .	1. 1		_ ^ = \
項	的	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	吉川市連合長寿会の健康の保持およる	┸ および老人クラブの活 び増進や社会参加の打			者事	どのよう 業を行う	な				を人クラブに対し 付し、活動を支	
	類	頁似事業	□有☑無				主な	業務プ	ロセス	☑ 有 □	無 3	0212701	高齢者生きがし	いづくり活動事業
	前年	F度事務事業	☑ 有 □無 40)1116 高齢者生きが	いづく	り活動事業	CP 戦	略プランと	の関連	□有Ⅰ	☑ 無			
				令和1年度	令和	口2年度			令	和3年度	, 		令和4年度	令和5年度
	区分	`	区 分	決算(千円)		算(千円)	予算(-	千円)		第(千円)	増減額	(千円)	当初(千円)	計画(千円)
	Α	① 事 業		2,198		1,105		1,490)	1,249		144	1,380	1,380
∔ ⊓.		② 人		2,243		76		76		150		75	150	
投			員投入人員	0.29人		0.01人		0.01人	-	0.02人		0.01人	0.02人	0.02人
	タ		員人件費 年度任用職員人件	2,243		76		76	j	150		75 0	150	150
	ルコ		+ 及世用戦員へ件 経 費(加算)	1								0		
入			対象外(除外)									0		
	۲		スト計(①+②+③-	4 ,441		1,181		1,566	i	1,399		218	1,530	1,530
		_		,		,				,		0	,	,
資	Ь		⑥ 国 庫 支 出 金 国 補 助 率											
貝	В	⑦県支と				455		496	i	455		0	455	
	特		助 率			41.1/100	31	.6/100)	36.4/100			32.9/100	32.9/100
	定財	⑧市										0		
源	源	9 そ の⑩ 平共孝母:	他 担額(使用料·手数料	生)								0		
			担額(使用料・子数料 者負担率(⑩÷⑤)	· 寸 /								0		
	С		<u> </u>	4,441		726		1,070)	944		218	1,075	1,075
	D		单独区分	□ 全額補助]		部補助			事業の上				川市単独
		持	· 標	名 (上段)			令和1	年度	令	和2年度	令和3	3年度	令和4年度	令和5年度
	区分					単位	目標(見		目標	(見込)値	目標(見	見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値
目		計 65歳以上の	算式・説	明(下段)			実績	1但 17,090		<u> </u>	実統			
	対 ①)		<u> </u>		人			+			18,125	17,701	17,837
標	象 指	毋03成以上	の高齢者数(各年	没不) ————————————————————————————————————				17,173		17,432		17,566		
	標 ②													
設														
	活①	スポーツ大会	会開催回数					1		1		1	1	1
定		毎年度末の	スポーツ大会開催	数		1		1		0		0		
上	動	ゲートボーノ	レ大会・グラウンド	ゴルフ大会開催数		1		2	2	2		2		
	指	毎年度末の	ゲートボール大会・・	グランドゴルフ大会開	催数	- 0		2	2	2		3	2	2
-		演芸大会開	催回数					2		2		2		
	標 ③	3)	演芸大会開催数					2	+	0		0	2	2
実	H	スポーツ大き	会延べ参加者数					900		900		900		
	成①		スポーツ大会延べ	<u></u> 参加 考 数		人		634		0		0	900	900
績	果_ 指			シルロ双										
1,500	標 ②	2)	べ参加者数	n -tv **L		人		1,300		1,300		1,300	1,300	1,300
CHETAIN	ADIE	毎年度末の	演芸大会延べ参加					1,217		0		0		
SUSTAIN DEVELOP GOA	LS		3 FATOALE 4 MORNINGS											

評	令和2	年度及	.び3年月	度については	、新型コロナウ	イルスの影響で例	年開催されてい	るスポーツ大会	1回、演芸大会2回	の開催が中止とな	らった。	
価												
年												
度												
の の												
主												
な_												
取												
組												
	2	<u> </u>	分	評価	西結果				断理由(特記事項			
	妥	対象	・手段	□妥当	☑要検討	高齢者の生きがい	うづくりを目的と	して本事業を実施	施しており、意図は	妥当である。		
事	当	意	図	☑妥当	□要検討					71. 7. 7. 1.	> ±1 ±11 11 ±	
	性		分担 (関与)	☑妥当	□要検討	対象者を60歳以上ため指定管理者に			センター利用者と- は妥当である。	- 致していることだ	いら効率的な事	『業の実施を図る
		В	種別		03年度	4° 14° 11	指標 (指標性		令和1年度	令和2年度 100.00%	▲活動	●成果
業	有	標達	活動 指標	**	0.00%, ★★★ された	② 催数		バゴルフ大会界 (増加目標指標	****	100.00%, ★★★★★ 達成された	150%	
	効	成度	成果指標		0% ★ ヾかなり低い	① スポーツ大会	延べ参加者数	女 (増加目標指標	70.44%, ★★★ ② 達成度がやや低い	0% ★ 達成度がかなり低い	125%	
評	性		句上の 地	□あり	☑ なし				の余地は少ない。 め、上位施策への		75%	
			施策へ 献度	☑あり	□なし	WILL	I. b. 11 1 - 17 M	7.46.17	A 12 / 12 / 12	A 100 to 100	50% H31	R2 R3
			当たり スト	1 分析	口3年度	単位 単位 まない スポーツ大会延ん	当たりコスト換算	1指標	令和1年度 177.44%	令和2年度	150%	变動率 ————————————————————————————————————
価	効		動率	評化	西不可	成果指標を単位	として換算	単位:円/人	増加している 7,004.86 円	評価不可	125%	
	率性		、改善 余地	□あり	☑なし	本事業は受益者負	単を来める性	負の事業ではな	UV.		100% 75%	
	1-	適	者負担 正化 余地	□あり	☑なし						50% ————————————————————————————————————	R2 R3
改		れまで ・改善										
革					IJ	スク(マイナス要素)			機会(プラス要	英素)	
改		を取り巻 一ズの		参加者の多		、クラブ加入者の数		る。 本事 でき	業を実施することでる。			
善	d	政改革 との関 i 検・確	車	より事業の	効果を高めるた	め、対象となる高齢	帝者への周知を	進める必要があ	3 .			
	今	後の方	針	☑現	状のまま継続	□ 改善のう	うえで継続	□他の事業に	こ統合 □ 原	廃止•休止	□終	了·完了
事へ業一の次		のうえて 合の展			□拡大		段を改善(実施	施主体・手段の	 改善)	☆ 縮 小	数	率化
方言の方面で		後の方 の説明 画内容	1									
	_	次評価	日		4年5月31日	一次評(西責任者	山口				
	今	後の方	針	☑ 現	状のまま継続	□ 改善の	えで継続	□他の事業に	こ統合 □ 月	廃止∙休止		了∙完了
二次		のうえて 合の展			拉太	· 二 手	段を改善(実施	施主体・手段の	改善)	☆ 縮 小	┪	率化
評価		説明	1									
	=	次評価	日	令和	4年6月22日			Con	ovright ©2021 Yosh	ikawa City office	All Rights Ro	served

No.	4011	17

	事務事業名		シルバー人材センター支援事業							所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係						
			ZIZ ZIZ ZIZ ZIZ ZIZ ZIZ ZIZ ZIZ ZIZ ZIZ							事前評価日			令和3	年9月1	日事	前評	価責任者	山口 剛介	
基	3	事業期間	平成4年度	~	未設定	事美	業年齢	29点			処法令		吉川市	シルバ-	一人材	センタ	一補助金交付	寸要綱	
	基	関連付け	☑ 有			無	ŧ		:	事業 区分			□ 法定受託事務 ☑ 自治事務						
	本	の ^{まちづくり目標}	第2章 元気・	建やか	ヾ幸せのまた	ちづくり	(健康福	富祉部門	引) 事	務	事業0	り性質	☑ 毎	年度繰	り返し		単年度 🗌]複数年度	
	計 画	関施 策	第3節 いきじ	き暮ら	らせる高齢を	皆福祉	の推進			直接	妾事為	業費		Ī			□ 無		
本	1	施策小項目	(1)高齢者の	社会参	別の促進				7		会計	区分	一般会	H					
		西計画の位置付け	□有			√ #	ŧ				款	項	民生費				社会福祉費		
		īまち・ひと・しごと E総合戦略との関連	☑有□無	基本目	目標2『市民の	幸福事	実感を追	及する。			目	細目	高齢者	福祉費			シルバー人材	センター支援事業	
	個別	引計画の位置付け	☑有□無	高齢	者福祉計画					執	行 方	法	補助・負	担等 吉	川市シ	ルバー	一人材センター	ーに対する補助	
事	事 対象 (誰を、何を)		公益社団法人吉川市シルバー人材センター							=	e :	n.							
		意図	対象年齢 6	0 9	99 60歳以」					ع)	手 「具 ごのよう	な				に補助	金を交付する	(交付申請、補助	
項	於	(対象にどの	機に 大が一層促進される。							事未で11700かり			金支出、実績報告)						
		類似事業	□有☑無						主	な業	終プ	ロセス	. ☑ 有	□無	30212	501 シ	ルバー人材も	ンター支援事業	
	前	年度事務事業	☑有□無	40111	17 シルバー	シルバー人材センター支援事業(業 CP	CP戦略プランとの関連		□ 有 ☑無							
	区	Δ 5	区 分		令和1年	度	令和2	年度				令:	和3年度				令和4年度	令和5年度	
					決算(千F		決算(-		予算				算(千円)		額(千F	_	当初(千円)	計画(千円)	
	Δ	① 事 業 ② 人 件			11	,354 77		11,355		1	1,355 1		11,35			74	11,356 75		
投	 -		- <u>및</u> 員投入人員		0.0	//)1人		<u> </u>		0	<u>'</u> 人00人		·/ 0.01人	-	0.01			0.01人	
,^	I	下職員	スパスス 員人件費		0.0	77		1			1			75		74	75		
	5 ル	스타스	年度任用職員人												0	,,,			
_	=		経 費(加算)													0			
入	スト	9 1 7 1 7	対象外(除外)									0							
	_ r	(5) トータルコ	スト計(①+②+③	11	,432	11,356			11,356		i	11,430	ס		74	11,431	11,431		
		⑥国庫 5														0			
資	Е	国 補	助率											+		0			
	特		<u>'' </u>													-			
	定	8市	債											0	0				
源	則	0 Z 0														0			
//示	1)5	⑪ 受益者負	担額(使用料•手数	料等)												0			
			者負担率(⑩÷⑤																
	0		負担経費(A-B)		,432	Г	11,356	^		1,356		11,430		#	74	11,431	11,431	
			单独区分		全額		l l		部補助				事業の上					川市単独	
	区	指 分	標		名 (上段)			単位		令和1年度 目標(見込)値			和2年度 ((見込)値		和3年度 (見込)	古	令和4年度	令和5年度	
目			算式 : 説	, 1	明 (下段)					€績値			実績値		に 積値	- I	計画(見込)値	計画(見込)値	
	対	シルバー人	材センター会員数	汝				人			556		569	9	5	570	536	563	
標	象指	シルバー人	材センター会員数	汝				^		462			47	6	5	510		303	
124	指標																		
設	示							1											
		シルバー人	材センター補助額	頂				_	11	1,33	9,000	1	1,339,000) 1	1,339,0	000			
	活	シルバー人	 材センターに対し	て市	 が補助した額	 領		円	1	1,33	9,000	1	11,339,000) 1	1,339,0	000	11,339,000	11,339,000	
定	動																		
	指	2																	
-																			
	標	3												+					
実			公 分類											_ 00	2 200 1	200			
	成	1 就業実績契						円			_				3,200,0		223,200,000	223,200,000	
績	果指	就業実績契	利 金額								_	20	06,355,000	J 20	6,047,3	54/			
小貝	招標	2																	
SUSTAINA DEVELOPI GOA	LS		3 計画を開発を 4 知の高いを A みんなに				8	BENUS BRES											

評価年度の主な取組	1 就 (1); (2); 2 就 (1); (2); (3); 3 未; (1); (2);	業機会(企業訪問	の問心会数数数談数数開 グ及 4延 2会 12[4 5名	面接会 べ30名 名													
-,																	
	2	<u>₹</u> ;	分	評価	西結果			f理由(特記事項									
	妥	対象	·手段	☑妥当	□要検討	シルバー人材センターが実施しが求められており、対象・手段、			社会参加の促進	は市が主体的	こ取り組むこと						
事	当	意	図	☑妥当	□要検討	本事業はシルバー人材センター	- ヘのばいた行う車:	坐でも スニレかた	古が行うことけで								
	性	役割 (行政		☑妥当	□要検討	平事未は ノルバー人物 ピンメー	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	* こののここがら、	الاسلام كرداه	ടേ ഗേരം							
		_	種別		13年度	評価指標(指標)	生質)	令和1年度	令和2年度	▲活動	●成果						
業		目標	活動		0.00%, *★★★	① シルバー人材センター補助		100.00%,	100.00%,	150%							
-14	有	達	指標		された		(増加目標指標)	達成された	達成された	125%							
		成度	成果		.32%,	① 就業実績契約金額		評価不可	評価不可	1200							
	効	及	指標		★★★ 成された		(増加目標指標)			100%							
評	性		う上の 地	☑あり	□なし	高齢化が進むことにより高齢者 高まることが予想され、成果向」 ては、高齢者の生きがいづくりや 献度は高い。	上の余地がある。ま	た、シルバー人材	センターについ	75% ————	-						
			も策へ 献度	☑あり	口なし		<i>₩</i>	A 12 (12 th	A 1-0 for the	50% ————————————————————————————————————	R2 R3						
価	効		当たり スト 助率	90 若干減	D3年度 3.94% 少している 1.82 円	単位当たりコスト換シルバー人材センター会員数 対象指標を単位として換算	文 文 単位:円/人	令和1年度 106.76% 若干増加している 24,743.76 円	23,856.38 円	少 150% 125%	動率						
	率性		全地 一	□あり	☑なし	この事業はシルバー人材センタ 求めるものではない。	一への補助金交付	に係るものであり、	、受益者負担を	75%	-						
		適エ	皆負担 E化 k地	□あり	☑なし					50% ————————————————————————————————————	R2 R3						
改		れまで • 改善															
革						スク(マイナス要素)			機会(プラス要								
改		・取り巻 ・一ズの		保が難しくな	っている。	の拡充により、会員数の増加や家	験に名上させ	きを実施することに いった仕事を斡旋で ることができる。	することができ、対	対象者の生きが	いや意欲を向						
善		政改革 との関連 (検・確	<u>į</u>	本事業を安める必要が		6ためには、高齢者や企業などに	シルバー人材センタ	z−のことを良く知	ってもら う 必要が	あるため、活動	の周知をより進						
	今	後の方	計	☑ 現	伏のまま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	統合 🗌 🦻	廃止∙休止	□ 終 ⁻	了·完了						
事(業一の次	「改善	のうえて	継続」		拉大	■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	施主体・手段の改	(善)	★ 縮 小	· 効率	率化						
方師性		後の方 の説明 画内容															
	_	次評価	日	令和4	4年5月31日	一次評価責任者	山口	剛介									
	今	後の方	針	☑ 現 [×]	伏のまま継続	□ 改善のうえで継続	□他の事業に	統合 □ 廖	廃止·休止	□ 終 ⁻	了·完了						
二次		のうえて 合の展開			拉大	□ 手段を改善(実	施主体・手段の改	(善)	★ 縮 小	数 数	率化						
評価		説明															
	=	次評価	日	令和4	4年6月22日		Conv	right ©2021 Yoshi	ikawa City office	All Rights Res	erved						

No.	4011	18
140.	1011	

	;	事	務事業名	高齢者配食	サー	ビス事業				所 官							課 局断偏征	徐			
									事前評価日				13年9			評価責任者		山口 剛介			
基	-	事	業期間	平成7年度	~	未設定	業年	給 26 点	艾	根拠	弘法(令等	吉川市	吉川市介護福祉総合条例							
	基	L	関連付け	☑ 有			無			事業	業 区	፟分	□ ;	法定受	託事	務	√	自	台事務		
	本本		まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	・・幸せのまちづく	(り(健)	妻福祉部F	引) 事	下務事	\$業0	の性質	į v	毎年度	繰りi	図し [〕単年度		複数年度		
	計		施策	第3節 いきいき暮らせる高齢者福祉の推進					直接	事業	集 費	V	有				無				
	画	係	施策小項目									区分		保険特	메수	<u>+</u>					
本	œt.	佐計	画の位置付け	□有	- 113 -		無		1	算一	款	項		支援事		H1	地域支援	車:			
			ち・ひと・しごと				##			科 _						+ 4					
	創生	生総	合戦略との関連	□ 有 ☑無						 	目	細目			_			王沽	支援サービス事業		
	個別	引計	画の位置付け	☑有□無	高齢者	皆福祉計画				執彳	厅 方	法	一部	委託	民間	事業者	に委託				
事	E		対 (誰を、何を)	165歳以上のひ 265歳以上の者 対象年齢 6	のみで	らしの者又はこれ 構成される世帯(9 65歳以上				手 段											
項	台	ሳ	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	単身高齢者世帯 スを配慮した昼食 改善や健康増進 とができる。	や高齢	 者のみの世帯に タ食を宅配するこ	とにより	」、食生活(カ		のよう	な		対象者に平日の昼食又は夕食を民間業者が宅配する。調理・配送・管理業務を民間業者に委託している。							
		類	似事業	☑有□無	配食t	ナービス(民間)			主	な業	務プ	ロセス	₹ 🗸 7	有 🗆	無 3	0312601	高齢者配食	サー	-ビス事業		
	前	j年	度事務事業	☑有□無	40111	8 高齢者配食サ	トービス	 〈事業	CF	戦略	プランと	の関連	<u> </u>	有 🗸	無						
						令和1年度	스 ᡏ	口2年度				스	和3年月				令和4年度	:	令和5年度		
	区	分	Σ	☑ 分		決算(千円)		红千尺	予算	算(千	円)		算(千円	_	曽減額	(千円)	当初(千円	-	計画(千円)		
	_		① 事 業			17,542	.,,,,,	19,081			3, 2 78	_	18,	_		△ 432	10,1	_	10,164		
	^	١,	② 人 件	- 費		1,392		1,060		1	1,060)	1,	578		518	1,5	78	1,578		
投	ŀ	,	正職員	員投入人員		0.18人		0.14人		0.	14人		0.2	1人		0.07人	0.21	人	0.21人		
			正職員	員人件費		1,392		1,060		1	1,060)	1,	578		518	1,5	78	1,578		
	う ル		会計组	F度任用職員人·	件費											0					
١,	=]	③ 間 接	3,717	1,769			1	1,706	i	1,	113		△ 656	1,1	13	1,113				
入	7		④コスト対								0										
	7	,	⑤ トータルコ	22,651		21,910		26	6,044	ļ	21,340			△ 570	12,8	55	12,855				
			⑥国庫 3				1,774		2	2,311		1,4	462		△ 312	2,0	33	2,033			
資	E	3		助率			9.3/100		9.9/100			7.8/				1/5		1/5			
			⑦県支出		1,106			1,444	-		914	△ 192	1,271		1,271						
	特点	寺		助 率				5.8/100		6.2	/100)	4.9/	100			12.5/1	00	12.5/100		
	元 貝	E 1	⑧市													0					
源	源	· 東	③ そ の 他⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)			0.044	4,770			6,355	_		932		162	6,8		6,860			
					9,641	10,808			1,724		11,			533		0	0				
	_	,		≸負担率(⑩÷⑤ 負担経費(A−B		42.56% 13,010		49.33% 3,452			5.02% 4,210			14% 691		△ 761	2,6	01	2,691		
)			3,432 ✓ —	立7 大击 日	·]事業の		+ . ## !						
	L	,		鱼独区分			J														
	区	分	指	標 標		名 (上段)	単位		和1年 (見込			·和2年月 票(見込)		令和3 日標(目	3年 <u>度</u> 見込)値	令和4年度		令和5年度			
目	-	,	計	算 式 · 説	E	明 (下段)				<u> </u>			実績値	112	実統		計画(見込)	直	計画(見込)値		
		(1)	65歳以上の	高齢者数						17	7,090		17,	509		18,125		آړ	47.00		
∔ ##	対象	\oplus	65歳以上の	高齢者数(各年)	变末)		人		17	7,173	3	17,4	432		17,566	17,7	UI	17,837			
標	象 指																				
	標	2														-					
設			配食実績日	光 h							0.47	,		247		0.47		\dashv			
	活	1			16 - 6	n ster					247			247		247	2	47	247		
定				配食サービス実					241			243		242							
,~	動	2	配食サービ	ス延べ利用者数		<u> </u>		1	1,200)	1,	590		1,782	1,9	31	2,074				
	指)	毎年度末の	まの配食サービスを受けた者の延べ総数						1	1,559)	1,0	674		1,798		•	2,071		
•	抽	0																			
	標	(3)																			
実			配食サービ	 ス延べ実数						20	0,500		21,	360		27,960		\dashv			
	成果指標	1		<u>へ</u> 配食延べ配食数	7						4,102		26,4			27,746	29,1	40	30,604		
績	米指		サイス小の	山区之 "山区列				-			.,102	-	20,			21,170		\dashv			
150	標	2															_				
SUSTAINADEVELOPI GOA 2030年に用けて世界が合意した 「分配可能な開発は	LS			3 非常と指針を																	

				心极又版事未真/心极又版事未真	/ 川辺						
評	1 サービスの概要										
価			時から正午、もしくは午後	全4時から6時の間に各戸に配達する。							
年	(2)内容 ・配達したお弁当は原則として手渡し。事前に連絡があった場合は玄関先に配達。 ・配達時不在の場合で、連絡不通の場合は事前登録の緊急連絡先に通報する。										
度		癿连吋11吐07	物口で、注他や短い物	のはずか見外の来心圧がプローを表する。							
の											
主											
な											
取											
組											
	Σ	区分	評価結果	判断理由(特記事項)							
	妥	対象・手段	☑妥当 □要検討	このサービスは、ひとり暮らし等で食事を作ることが困難な高齢者に対し 確認を実施するもので、対象・手段、意図は妥当である。	良食することで高齢者の栄養の向上と安否						
事	当	意 図	☑妥当 □要検討	高齢者の安否確認を目的とした事業であるため、市が行うことは妥当であ	_						
	性	役割分担 (行政関与)	☑妥当 □要検討	৩ .							
		種別 目 元和	令和3年度 100.90%	120 02%	↑和2年度 ▲活動 ●成果 150% -						
業	有	標 活期	****	②配度サービス延へ利用有数 ★★★★★ ★	***						
	効	達 成 成果	達成された 99.23%, ★★★★ 概ね達成された	① 配食サービス延べ実数 117.57%, ★★★★★ ★	成された 23.68%, **** 成された						
評	性	成果向上の 余地	□あり ☑ なし	(増加目標指標) 達成された 達 高齢者の見守りとして有効性は高く、上位施策への貢献度はある。	75% ————————————————————————————————————						
п	1±	上位施策へ の貢献度	☑あり □ なし		50% ————————————————————————————————————						
		単位当たり	令和3年度 90.68%	01 16%	30.08% 変動率						
価	効	コスト 変動率	若干減少している 11,868.65 円	配食サービス延べ利用者数 若干減少している 若干 活動指標 を単位として換算 単位:円/0 14,529.25 円 13	減少している 088.55 円						
	率 性	コスト改善の余地	☑あり □なし	利用者の増加や委託方法の見直しなどによりコスト改善の余地はある。受については、弁当実費(原材料費)の負担を求めている。 ——	100%						
		受益者負担 適正化 の余地	□あり ☑なし		50% ————————————————————————————————————						
改		れまでの 5・ 改善内容									
革	古业力	- 昭二八米ノ7里+卒	対色したスペラー		会(プラス要素) 、対象者の栄養状況の向上と安否確認に						
改		一ズの変化		よる安全性を向上させること							
善	٤	政改革大綱 との関連 (頼・確認)	事業を必要とする局断	皆を早期発見するため、庁内や関係機関との連携を進めていく必要がある。							
_	今	後の方針	☑ 現状のまま継	続 □ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止・	休止 □ 終了·完了						
事 (業 の次	の場合	のうえで継続」合の展開方針	拉拡	大 二 手段を改善(実施主体・手段の改善)	縮小 効率化						
方評 向価 性)		後の方針」 の説明 画内容等)									
	_	次評価日	令和4年5月31日		H.1						
		後の方針	☑ 現状のまま継		·休止 □ 終了·完了 						
次		のうえで継続」合の展開方針	监拡	大 一 手段を改善(実施主体・手段の改善)	縮 小 効率化						
評価		説明									
	Ξ	次評価日	令和4年6月22E	Converted @2021 Voobillance	City office All Rights Reserved						

No.	4011 19
	101110

	3	事務事業名	業名 老人福祉センター管理運営業務					Ī	所管	部署	肾名	健康	長寿部		展課 高齢福祉係		
									- "	竹評 個		令和3年			ī評価責任者	山口 剛介	
基	-	事業期間	昭和54年度	~	未設定	事業年	龄 42点			L 法 f				吐センター			
	基	と関連付け	☑ 有			無				業 区			E受託			治事務	
	本	の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	・幸せのまちづく	(り(健	康福祉部門	事)	務事	事業の	り性質	☑ 毎年	F度繰	り返し	□単年度□□	複数年度	
	計 画・	期 施 策		き暮ら	らせる高齢者福	祉の推	進			き事 第		☑ 有			無		
本	1	施策小項目	(1)高齢者の	社会参	加の促進			子		会計	区分	一般会詞	一般会計				
·		計画の位置付け	☑ 有			無				款	項	民生費			社会福祉費		
		iまち・ひと・しごと :総合戦略との関連	☑有□無	基本目	標2『市民の幸神	事実感を	を追及する			目	細目	老人福祉	止センタ	7一費	老人福祉センター運営事業		
	個別	引計画の位置付け	☑有□無	高齢				3	執	行方	法	一部委託 NPO法人たすけあい・よしかわへ指定管理委託					
事	E	(me 2 , F) 2 /	60歳以上の市民 対象年齢 6		9 60歳以上					<u>-</u> [・老人福祉センター管理運営業務					
項	的	なってほしいのか)				図	事業を行うのか)			・趣味の教室や講演会を開催							
		類似事業							ロセス		無	30212701	高齢者生きがし	いづくり活動事業			
	前	年度事務事業	☑有□無	40111	9 老人福祉セン	ター管	理運営業	務 CPI	戦略	プランと	の関連	☑有	無	戦略1「	住みよさ」推し		
	区	分 5	☑ 分		令和1年度		口2年度					和3年度			令和4年度	令和5年度	
	1				決算(千円)	決算	拿(千円)	予算				算(千円)		額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
	Α	① 事			29,827 1,702		35,493 454		3	3,626 454	-	33,604 376	+	△ 1,889		,	
投	 		「 <u>早</u> 員投入人員		0.22人		0.06人		0	454 .06人		0.05人		ム 0.01人		0.05人	
,	I	下職員	員人件費		1,702		454		-	454		376		△ 0.0170 △ 79			
	タ ル	스타	年度任用職員人	件費	•									C	+		
١.,	=	③ 間 接	経 費(加算)											C)		
入	ス ト	_	対象外(除外)											C			
		(5) トータルコ	スト計(①+②+③)-(4)	31,528		35,947		3	4,080		33,980	+	Δ 1,967	1	36,557	
		⑥国庫 5				4	616			136		123	8	△ 493	8		
資	Е	河県支出	補助率 出金			1		1				1		C	<u> </u>		
	特	0	出 金 哺 助 率												'		
	定	8市	# 切 <u>平 </u>											C			
源	則	@ Z D												C)		
//示	115	⑪ 受益者負担	担額(使用料・手数	(料等)										C)		
			者負担率(⑪÷億														
	0		負担経費(A-E	3)	31,528		35,331	********	33,944			33,857		∆ 1,474			
			单独区分		□ 全額補助	J .		部補助				事業の上				川市単独	
	区	指	信 標	:	名 (上段)		単位	令和 目標(和2年度		13年度 (見込)値	令和4年度	令和5年度	
目			算式・説	į	明 (下段)		– –		績値			実績値		ミ績値	計画(見込)値	計画(見込)値	
	対	60歳以上の	高齢者数				人		2	0,522		21,022	2	21,563	21,064	21,143	
標	対象 指	毎年4月1日	現在の60歳以上	の高	齢者数				2	0,711		20,906	6	20,985	5	21,143	
175	指																
	標	2)													1		
設		開館日数								359		359		359			
	活	1) センターの生	 ∓間開館日数							321		263	3	357	359	359	
定	動																
	+6	2													-		
-	指																
	標	3					-						1		_		
実		* 1 *= +1 1	S. A. Talm + sin							0.000		10.000	1	05.000			
	成	(1)	ンター利用者数				人			0,000	1	40,000	1	35,000	20,593	30,000	
∉≢	果指	毎年度末の	老人福祉センタ	一利用	者数 ————————————————————————————————————				3	2,544		9,888	1	14,270)		
績	指標	2					1						1				
SUSTAINADEVELOPI GOA	LS		3 対域での人に - 人人・														

					八工员/	社会福祉員/ 名八福祉 ピンノ 員									
評		和3年度の概要 「コロナウイル)		減少しているが、指定管理者による自主事業等によ	い 新規利用者の割合が増	導えている。									
	新型コロナウイルスの影響で利用者が大幅に減少しているが、指定管理者による自主事業等により、新規利用者の割合が増えている。 2 令和3年度の利用実績 内訳 ・個人 1,152名														
価		:11,756名													
年	•団(本 11,756名													
度	•そ0	の他(市関係者	f) 1,362名												
及															
の															
主															
な															
取															
組															
WIT															
	D	☑ 分	評価結果		新理由(特記事項)										
		対象·手段	┃ □妥当 □要検討	老人福祉センターは高齢者の教養の向上、健康の に設置された施設となる。平成18年度から指定管理											
	妥	7320 712		た。当該団体は自身のネットワークを生かしながら	、公の施設として公平、公司	Eな利用運営を行っており手段、意図									
		意 図	┃ ☑ 妥当 □ 要検討	は妥当である。対象については、固定の利用者だ(用者が増加している。	ナじなく、日土事業やサーク	'ル活動の場を提供することで新規利									
事	当		□ 登封 □安快削												
		/= ±1 // !=		指定管理者による施設管理・運営は妥当である。											
	性	役割分担 (行政関与)	☑妥当 □要検討												
		<u>種別</u> 目 にも	令和3年度 99.44%.	評価指標(指標性質)	令和1年度										
業			★★★★	① 開館日数	**** **										
	有	達指標	概ね達成された	(増加目標指標)		125%									
		成成果	40.77%, ★★	① 老人福祉センター利用者数	81.36%, 24.7										
	効	指標	達成度が低い		概ね達成された 達成度がた	かなり低い 100%									
		成果向上の	□あり □ なし	老人福祉センターについては、介護予防の拠点とし 30年度より市職員による健康ミニ講座(認知症予防											
評	性	余地	☑あり □ なし 	ているが、今後講座内容の見直し等により成果向_	上の余地はある。また、高齢	令者が 🏻 🧲 🥭									
	'	上位施策へ		いきいきと暮らせる環境をつくるためにも、老人福祉 へ貢献している。	止センターは重要であり、上	位施策 50%									
		の貢献度	☑あり □ なし	H31											
		出什 小十二	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度 令和2	2年度 変動率									
		単位当たり コスト	65.50% 減少している	老人福祉センター利用者数	114.98% 375. 増加している 増加し										
価	効	変動率	減少している 2,381.23 円	 成果指標を単位として換算 単位:円/人	968.79 円 3,635.	1050/									
	率	コスト改善		施設については築後数十年経過しており、今後も傾	多繕が必要となるが、時代0										
	· 性	の余地	☑あり □ なし	によるニーズを活かすことができれば新たな展開か	り期待できる。	75%									
	江	受益者負担				75%									
		適正化 の余地	☑あり □なし			50% ————————————————————————————————————									
		の赤地		 東本央국민왕 - 본민英の廷田 - 스웨이左英 LURE	*北学刊に動けしたよけな!										
- ,	_	れまでの	相及官理名を公募し、音類 た。	審査やプロポーザル等の結果、令和2年度より特定	:非呂州沿期法人に9 いめい	い。よしかわか新たな指定官理名となっ									
改	改革	ĕ •改善内容													
革			1)	スク(マイナス要素)	機会(プラス要素)									
半			施設が老朽が進み毎年修	繕を要している。利用者増加およびニーズの 利用者	者目線の事業展開をするこ										
改	やニ	ーズの変化	多様化に伴い、現状の施設 	と規模では対応しきれないことも生じている。 を推進	進することできる。										
	4= B+	- T- J	本事業を安定して継続する	ためには、引き続き新規利用者の獲得が重要であ	る。そのためには、自主事業	業の拡充やイベントを催すなど、指定管									
善		:政改革大綱 との関連	理者や市、関係機関との連	携が必要である。											
	(点	禄•確認)													
	۵	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に	:統合 □ 廃止・休」	上 □ 終了·完了									
事へ		のうえで継続」		<u>_</u>											
業一の次		合の展開方針	□ 拡 大	□ 手段を改善(実施主体・手段の	枚善 □ 糸	宿 小									
方評		後の方針」													
向価 性〜		の説明 ·画内容等)													
	_	次評価日	令和4年5月31日	一 次 評 価 責 任 者 山口	剛介										
	_	後の方針	□ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に		 上 □ 終了·完了									
_				1		 1									
次		のうえで継続」 合の展開方針	並大	█ 手段を改善(実施主体・手段のは	攻善 □ 糸	縮 小									
評															
価		説明													
	二次評価日 令和4年6月22日 Copyright ©2021 Yoshikawa City office. All Rights Reserved														
					TIBLIC SEUZI TUSHIKAWA UIT	y onlice. All Nights Reserved									

No.	4011 20
140.	1011 20

	3	事務事業名	 介護予防・日‡	党生 法支撑级	◇車:	坐	Ē	听管部署	署名	健康長	長寿部 長	寿支援	課 高齢福祉係			
		F 37 F X 11		71/10人1次帧) H 77'	*	3	事前評値	西日		F9月1日		評価責任者	山口 剛介		
基	4	事業 期間	平成28年度 ~	未設定	事業年	- 齢 5歳	. 1	根拠法令	令等	介護保険	法、介護	保険法	施行規則			
	基。	関連付け	☑ 有		無		1	事業 🗵	፟፟፟分	□ 法定	受託事務	务	✓ ≜	治事務		
	本(の│ ^{まちづくり} 目標	第2章 元気・健	やか・幸せのまちて	づくり(健	康福祉部門	雪) 事	務事業の	の性質	☑ 毎年	度繰り返	il [〕単年度 🗌	〕複数年度		
	計制画化		第3節 いきいき	暮らせる高齢者	畐祉の推	推進	Ī	直接事業	業費	☑ 有			□ 無			
本		施策小項目	(2)高齢者の日常	常生活の支援			予	会計	区分	介護保険	特別会記	+				
.,.		計画の位置付け	☑ 有		無				項	地域支援	賽事業費		地域支援事業費			
		まち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無				Ē		細目	介護予防・生	生活支援サー	-ビス事業	費 介護予防・生活支援サービス事業			
	個別	計画の位置付け	☑ 有 □無 地	域福祉計画			\$	執 行 方	法	一部委託	f 介護	サービス	ス提供事業者			
事	目	対 象 (誰を、何を)	65歳以上の市民(第 40歳以上の市民(第 対象年齢 40		65歳以_	Ŀ			设	介護予防	介護予防・日常生活支援総合事業の多様な主体による介護					
項	的		(対象にどの ような状態に ような状態に 提供事業者、NPO、自治会など)によるサービなってほしい れ、在宅で自立した生活を送ることができる。					(どのよう 事業を行う		支援のサービスと生活支援サービスの検討を協議体な行い、必要なサービス提供体制づくりを進める。						
		類似事業	□有☑無				主机	な業務プ	゚ロセス	□有[☑ 無		,			
	前	年度事務事業	☑ 有 □無 40	1120 介護予防・日	常生活	支援総合事	戦略プランと	≤の関連	□ 有 [☑ 無						
			- 0	令和1年度	令	和2年度	,		令	和3年度	•		令和4年度	令和5年度		
	区分		☑ 分	決算(千円)	決	算(千円)	予算	〔千円〕	決算	算(千円)	増減額	(千円)	当初(千円)	計画(千円)		
	Α	① 事 業		117,54		106,752		137,995		105,523		1,230	138,695	<u> </u>		
投		②人 件		77		1,060		1,060	-	1,578		518	1,578			
12			員投入人員 員人件費	0.10,		0.14人 1,060		0.14人 1.060		0.21人 1.578		0.07人 518	0.21人 1,578	0.21人 1,578		
	タ	스타	ョスドラ 年度任用職員人件		14	1,000		1,000	,	1,576		0	1,376	1,376		
	ルコ		経費(加算)								0					
入	ス		対象外(除外)									0				
		U	スト計(①+②+③-(4) 118,31	17	107,813		139,055	j	107,101		△ 712	140,273	140,273		
	⑥国庫			23,50	80	21,350		27,570)	21,105		△ 245	27,739	·		
資	В		助 率	1/5		1/5		1/5		1/5			1/5	1/5		
	4.4		⑦県支出金 14,693 県補助率 1/8		13,344		17,231		13,190		△ 154	17,337	17,337			
	特定		<u> </u>	1/8		1/8		1/8		1/8		0	1/8	1/8		
NEE.	定財	9 そ の 他		64.65	50	58.713		75.819)	58.560		△ 153	76.473	76,473		
源	源		担額(使用料・手数料等	等)				144	ļ	0		0	0	0		
		受益	者負担率(⑩÷⑤)					0.10%	Ó							
	С	吉川市年間	負担経費(A-B)	15,46		14,406		18,291		,		△ 160	18,724	ļ		
	D	補助・単	単独区分	□ 全額補	助	✓ <u> </u>	部補助		補助	事業の上	乗せ・横出	しあり	□ 吉	川市単独		
	[F]	扎	標	名 (上段)		- 単 位]1年度		和2年度	令和3		令和4年度	令和5年度		
目	区:		· 算 式 • 説	明(下段)				見込)値 績値		(見込)値 実績値	目標(見		計画(見込)値	計画(見込)値		
		65歳以上の	高齢者					17,090)	17,159		18,125	47.704	47.00		
+===		① 65歳以上の	高齢者(各年度末)			人		17,173	3	17,432		17,566	17,701	17,837		
標	象 指															
	標(2				-										
設	H	新川、総会	事業検討会議の開 ^ん			-		6	+	6		3				
	活	1)	新しい総合事業検		* <i>h</i> -	•				0		0	3	3		
定	動	毎午及木の	利しい応口争未快	1) 女職の刑権囚	\$ X	<u> </u>			,	- 0		U				
	(2			-											
	指								1							
	標(3				_			1							
		新しい総合事業検討会議の開催回数														
実	成(6	<u> </u>	6		3	3	3		
	果	毎年度末の新しい総合事業検討会議の開催回数			 数			C)	0		0	S			
績	果指		The second second section is a second													
	標(1							
SUSTAINA DEVELOPI GOA	LS		3 #ATOAL ・			1	1		1		1					
2030年に向けて 世界が合理した 「外級可能な開発日			V													

	小護予防・日常生活支援総合事業の概要													
評	介護予防・日常生活支援総合事業の概要 介護保険制度の事業であり、被保険者が要支援や要介護になることを防止する目的で実施している。													
	が設体検制度の事業であり、被体検者が安文接や安介護になることを防止する目的で実施している。 ・訪問型サービス ・訪問型短期集中サービス ・通所型サービス													
価	通所	通所型サービス 通所型短期集中サービス												
年		型短期集中サービス 予防ケアマネジメント												
度														
の														
主														
な														
取														
組														
	Σ	☑ 分	評価結果	判断理由(特記事項)										
		対象·手戶	ひ妥当 □要検討	介護保険法、介護福祉総合条例等において市が実施主体となっており、対象・手段、意図は妥当である。										
	妥			_										
事	当	意 図	☑ 妥当 □要検討											
	性	役割分担 (行政関与		介護保険法、介護福祉総合条例等において市が実施主体となっており、役割分担は妥当である。										
		種	引 令和3年度	評価指標(指標性質) 令和1年度 令和2年度 ▲活動 ●成果										
業		目 :=:	6h 0%	① 新山公総会事業給討会議の開催回数 0% 0% 150% —										
未	有	達指		★ (増加目標指標) 達成度がかなり低い 達成度がかなり低い 125%										
		成 成		① 新しい総合事業検討会議の開催回数 0% 0% ★ 1230										
	効	指	漂 達成度がかなり低い	(増加目標指標) 達成度がかなり低い 達成度がかなり低い 100%										
評	性	成果向上 余地	の ☑あり □ なし	総合事業の多様な主体(自治会など)によるサービスを増やしていくことで、多様なサービス導入につながり、成果向上の余地はある。また、多様なサービスを充実させることで、上位施策への貢献度は高い。										
пТ	壮	上位施策		50%										
		「TimeRA」 □ なし □ なし □ なし □ なし □ なし □ なし □ なし □ な												
		単位当た	令和3年度	単位当たりコスト換算指標										
		コスト変動率	2 98.58% 若干減少している	65歳以上の高齢者 おりにもの はりにもの										
価	効	交 划十	6,097.04 円	対象指標を単位として換算 単位:円/人 6,889.73 円 6,184.75 円 125% 125% 125% 125% 125% 125% 125% 125%										
	率	コスト改善の余地	^售 □あり ☑ なし	正化は図られている。										
	性	受益者負	日	75%										
		適正化 の余地	□あり ☑なし	50% ————————————————————————————————————										

改		れまでの さ・ 改善内容												
		- 401110												
革	事業を	・取り巻く環		Jスク(マイナス要素) 機会(プラス要素) さとなる2025年には2020年と比較して1.7倍程 介護予防に加え、住民やNPO、自治会などの住民主体のサービスへ										
改	や二	ーズの変化	; 度の介護需要が見込まれ を整える必要がある。	ているため、需要に応じたサービス提供体制 支援を行うことにより、地域で高齢者を支えることができる。										
	行財	政改革大組	木事業を安定して継続する	るためには、介護事業者や市、住民の連携をより進める必要がある。										
善	d	との関連 は検・確認)												
	(π	· 快"唯心/												
_	今	後の方針	□ ☑ 現状のまま継続	・ □ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止・休止 □ 終了・完了										
事へ業一の次		のうえで継続 合の展開方針		□ 手段を改善(実施主体・手段の改善) 縮小 □ 効率化										
方評向価		後の方針」 の説明												
性一	(計	画内容等)												
		次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者 山口剛介										
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	・ □ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止・休止 □ 終了・完了 □										
=		のうえで継続 合の展開方針												
次評														
価		説明												
	=	次評価日	令和4年6月22日	Copyright ©2021 Yoshikawa City office. All Rights Reserved										

No.	4011	21

	3	事務事業名 いきいき運動教室等介護予				Ė	所	管部署	肾名	健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係						
								前評価			₹9月1日	事前記	评価責任者	山口 剛介		
基	4	事業期間	平成23年度 ~		業年的	9 10点		拠法令		介護保障						
	基	関連付け	☑ 有		無		事	業区	3 分	□法□	已受託事	務	√ ≜	治事務		
	本	の まちづくり目標	第2章 元気・健やか	・・幸せのまちづく	り(健康	福祉部門	事剂	务事業の	D性質	☑ 毎年	F度繰り	返し	〕単年度 🗌	複数年度		
	計	関施 策	第3節 いきいき暮ら	らせる高齢者福祉	业の推	進	直	接事第	業費	☑ 有			□ 無			
本	画	施策小項目	(3)介護予防の充実	<u> </u>			予	会計	区分	介護保障	食特別会	計				
4	実が	計画の位置付け	☑ 有		無		算 — 科	款	項	地域支持	爰事業費	}	地域支援事業費			
		iまち・ひと・しごと E総合戦略との関連	□有☑無					目	細目	一般介記	雙予防事	業費	一般介護予防事業			
		計画の位置付け					執	 い行 方	法	一部委託 民間事業者に委託						
			2 17 2 1111 11 122							CONTRACTOR OF THE STATE OF THE						
事		対 象	65歳以上の高齢者							・「いき」、き運動教室」の宝施(由本公民館・おおしま・総合は						
	-	(誰を、何を)	対象年齢 65 9	9 65歳以上				手具	Σ.	・「いきいき運動教室」の実施(中央公民館・おあしす・総合体育館・東部地区公民館・美南地区公民館)						
		意 図					由	(どのよう	iな	・運動、□	1腔、認知	ロ症予防を	複合的に取り入	れた「はつらつ運		
	的	(対象にどの					٠,	業を行うの	(10,000)	動教室」の実施(平沼地区高齢者ふれあい広場・美南地区高齢者ふれあい広場)						
ᅲ	н.	なってほしい持を図ることができる。					Ē									
項		のか)		TII — 1°	•		~ 4.	AUE 750			 		,			
		類似事業	= ,,,,, =	型スポーツクラブ				業務プ				30311701	いきいき運動教	至		
	刖	年度事務事業	☑ 有 □無 40112	1いきいき運動教	至寺介	護予防事	· 美 CP戦	・略フランと	の関連	□有	✓ 無					
	区	分	☑ 分	令和1年度		2年度		- m\		和3年度	124 5-45	F(= (令和4年度	令和5年度		
		① 事 業		決算(千円) 10,226	决 昇	(千円) 12.400	→ 戸具(千円) 11,632		<u>算(千円)</u> 11.197		頁(千円) △ 1.203	当初(千円) 15,568	計画(千円)		
	Α	② 人 件		1,392		1,969		1,969		1.277		Δ 1,203 Δ 692	1,277	1,277		
投				0.18人		0.26人		0.26人		0.17人		20.09人	0.17人	0.17人		
		下職員	員人件費	1,392		1,969		1,969		1,277	1	△ 692	1,277	1,277		
	タール	스타	年度任用職員人件費					· ·		•		0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
_	=		経 費 (加算)									0				
入	ス		対象外(除外)									0				
	_	(5) トータルコ	スト計(①+②+③-④)	11,619		14,369		13,601		12,475		△ 1,895	16,845	16,845		
		⑥国庫 3		2,045 1/5		2,480		2,326		2,239		△ 241	3,114	3,114		
資	В		国 補 助 率 ⑦県 支 出 金			1/5		1/5		1/5		Δ 150	1/5	1/5		
	特		山 並 助 率	1,278 1/8		1,550 1/8		1,454 1/8		1,400		Δ 150	1,946 1/8	1,946 1/8		
	1 1		<u> </u>	170		170		1/0		170		0	1/ 0	170		
洒	定則	<u> </u>			6,820		6,398		6,158		△ 662	8,562	8,562			
源	源	10 受益者負	担額(使用料・手数料等)					0,000				0				
		受益	者負担率(⑩÷⑤)													
	С	吉川市年間	負担経費(A-B)	2,672		3,519		3,423		2,678		△ 842	3,223	3,223		
	D		単独区分	□ 全額補助		✓ <u> </u>	部補助			事業の上				川市単独		
	区		標	名 (上段)		単位	令和 ¹ 目標(§			和2年度 (見込)値		3年度 見込)値	令和4年度	令和5年度		
目	<u> </u>		· 算 式 • 説	明(下段)		平 位	実終			《兄 <u>还/旭</u> 実績値		えるが 積値	計画(見込)値	計画(見込)値		
		高齢者の人	数					17,090		17,508		18,125		,		
128	対象	0 65歳以上の	高齢者数(各年度末)			人		17,173		17,432		17,566	17,701	17,837		
標	象 指															
	標	2														
設		企業予贴	室参加者数		+			920		940	1	940				
	活	(1)	<u>主参加日数</u> 介護予防教室の参加:	* *⊬		人		881		876	1	788	940	940		
定	動	世中技术の	介護予防教主の参加・				001		870		700					
		2														
	指															
	標	3														
		3)														
実	4	① 介護予防教室参加者率			0/		98.00		98.00		98.00	00.00	00.00			
	成 果		防教室定員数		%		95.76		93.00		93.00	98.00	98.00			
績	果指	運動習慣定						70.00		70.00		70.00				
	標	(2) 市民意識調査における60歳以上の回答者数÷週1回以上運動している人の数		数 %		51.10	51.10		48.00 62.00		70.00					
SUSTAIN	MENT		3 すべての人に 3 健康と指定を				<u> </u>		1		ı	l		<u> </u>		
GOA			-W+													

										120.	71 100 1				
評	運動教 (1)均	女室の 場所	既要												
	• 7	おあして		2公民館、美	公民館、美南地区公民館、総合体育館、東部地区公民館 、、中央公民館3コース、美南地区公民館2コース、総合体育館1コース、東部地区公民館1コース										
価		コース数 おあし ^っ		ス、中央公員	、中央公民館3コース、美南地区公民館2コース、総合体育館1コース、東部地区公民館1コース										
年	(3)5 ī•		らあしす	55名. 中央	5名、中央公民館55名、美南地区公民館55名、総合体育館40名、東部地区公民館35名										
度	•	後期:ま	おあしす	60名、中央:	0名、中央公民館60名、美南地区公民館64名、総合体育館42名、東部地区公民館30名 ルス感染症の感染予防対策のため、定員を半数に分けて隔週全7回の実施。										
စ	(4)F	内容													
	• }	運動機	能指導	、口腔指導、	栄養指導										
主															
な															
取															
組															
''-															
	Z	<u>₹</u> :	分	評値	西結果	本事業は、国の地域支援事業の実施要綱に		理由(特記事項		レナの少べ	- Z				
	妥	対象	•手段	☑妥当	对家"于权、思凶	とも女当じる	්								
_	当	意	図	☑妥当	□要検討										
事	-					 業務委託による事業の実施は市民に浸透し	ており、	 妥当である。							
	性		分担 :関与)	☑妥当	□要検討										
			種別	令和	03年度	評価指標 (指標性質)	令和2年度	▲活	動●成果						
業		目	活動		3.83%,	① 介護予防教室参加者数	93.19%,	150%							
未	有	標達	指標		★★★ ≣成された	(増加目標 (増加目標	指標)	★★★★ 概ね達成された	★★★★ 概ね達成された	125%					
		成度	成果		1.90%, ★★★	① 介護予防教室参加者率		97.71%,	94.90%,	123/0					
	効	及	指標		成された			概ね達成された	概ね達成された	100%	-	—			
			句上の	▽あり	□なし	介護予防により高齢者の自立した生活につい い	ながるこ	とから上位施策・	への貢献度は高	75%		1			
評	性	余	地							75%					
		上位施策へ の貢献度 □ なし								50% ——— H31	R2	R3			
		単位:	<u></u> 当たり		03年度	単位当たりコスト換算指標		令和1年度	令和2年度		変動率				
		Π,	スト		6.51% 少している	介護予防教室参加者数		69.10% 減少している	124.38% 増加している	150%					
価	効	変 9	動率	15,83	30.93 円	活動指標を単位として換算 単位:円	16,403.35 円	125%							
	率		·改善 余地	□あり	☑ なし	介護予防の啓発を図ることが目的であり、受 	地はない	100%							
	性		5.地 皆負担							75%					
		適ī	E化	□あり	☑なし					50% ———— H31	R2	 R3			
		のき	余地		·	#8040 L O.C. P. T. # 4 O.C. T. # 500 C.C.	L. S. (4.E.	人坦000~6 克5	31-44-1-1-4	1101	T/Z	11.0			
改		れまで ・改善		平成23年度また、令和元	元年度より実施	場340人の定員であったものを、平成29年度 内容に歯科衛生士による口腔指導、芸術を明	からは5 なり入れ	会場920人の定員 た教室を組み込ん	Iに拡大した。 んだ。						
革						スク(マイナス要素)			機会(プラス要						
•		取り巻 一ズの				こより参加できる人数が制限される。 そは事業に参加しにくい。	本事業とができ		より、参加者の優	康増進と要	介護予防を	図るこ			
改			<u> </u>												
¥		政改革		居住地域に	よる参加者数の)濃淡をなくすため、実施会場の分散化などを	を検討し	ていく必要がある	00						
善		ヒの関፧ i検・確													
	Δ.	<i>//</i> /	- 61	□ ₩	状のまま継続		事業に		· 休止		終了·完了				
事へ		後の方					T X -	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1		. 1 , 50 1				
業一の次		のうえて 合の展開			並大	□ 手段を改善(実施主体・手	段の改	善)	□ 縮小	<u> </u>	防率化				
方評 向価		後の方の説明													
性〜		画内容 次評価		△ 4n	4年5月31日	一次評価責任者	山口岡								
					状のまま継続		事業に		· 廃止•休止		冬了·完了				
		後の方					ᅮᅔᄓ	у ь 			~ 1 76 1				
二次	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針 □ 拡					● 手段を改善(実施主体・手	段の改	善善	☆ 縮 小	<u> </u>	効率化				
評		説明													
価		10元 明													
	=:	次評価	日	令和4	4年6月22日		Conve	ight ©2021 Yoshi	ikawa City office	All Rights F	Reserved				

-W**↓**

事務事業評価シート

No.	4011	22

		事務事業名 アクティブシニア社会参加支援事業				*	所	管部署	8名	健康長	寿部 長	寿支援詞	课 高齢福祉係				
	•	 1	为尹木石	101122	—)	江云梦川	义饭争	**	事	前評個	日	令和3年	9月1日	事前語	平価責任者	山口 剛介	
基		事	業期間	平成29年度	~	未設定	事業年	- 齢 4歳	根	拠法令	等				•		
	基	اما	関連付け	☑ 有			無	•	事	業区	分	□ 法定	受託事務	ξ	✓ ≜	治事務	
	本本		まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	・幸せのまち	づくり(健	康福祉部門) 事務	事業の)性質	☑ 毎年	度繰り返	l [〕単年度 [] 複数年度	
	計	関	施策	第3節 いきし	き暮ら		福祉の推	 推進	直	接事第	 美費	☑ 有					
	画	係	施策小項目	(1)高齢者の	社会参	加の促進			予	会計	区分	介護保険	特別会計	-			
本	実加	布計	画の位置付け			Г			算	款	項	地域支援			地域支援事	地域支援事業費	
	ī	市まれ	ち・ひと・しごと	□有☑無					科 目	目	細目		予防事業		一般介護予		
			合戦略との関連 画の位置付け		古龄之					<u> ''</u> 行方		一部委託			たすけあい・よしかわに委託		
	107.	וםנינ	四の位置刊刊		中国四十				+/\	11 /1	/Д	गास्त्रपा	, INFO	ДXI.	9 17 0000 - 607	3.477こ安山	
事	E	■	対 象 (誰を、何を)		60 9	9 概ね60歳			手 段				・農業、地域福祉、スポーツ、観光をテーマにしたグループ ワークと体験活動を行うシニア元気塾を開催する。 ・地域デビューの相談や、情報交換、交流を行えるシニア元				
項	台	ሳ	なってほしい への参加支援を実施することで、地域デビュ のか) り除くとともに地域活動等への参加促進が図					!域デビューを や地域活動等 への不安をB	事業	どのよう 美を行うの		気塾たまり場を平沼地区高齢者ふれあい広 (第2水曜日を除く)開催する。					
		類	似事業	□有☑無					主な	業務プ	ロセス	□有〔	三無				
	前	汀年	度事務事業	☑有□無	401122	2 アクティブシ	ニア社会	参加支援事	CP戦	格プランと	の関連	□ 有 [三無	•			
				- ^		令和1年度	全	和2年度			令和	口3年度	•		令和4年度	令和5年度	
	×	分	₽			決算(千円		算(千円)	予算(-	千円)	決算	拿(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
	_		① 事 業			2,9	964	1,128		982		982		△ 146	982		
	١.		②人				77	227		227		225		△ 2	225		
投		`		員投入人員		0.01		0.03人		0.03人		0.03人		0	0.03人	0.03人	
	5	7		員人件費	/		77	227		227		225 △		Δ 2	225	225	
	儿			年度任用職員人 42 弗 (和第)	.件實									0			
入	=		③間接	経費(加算) 対象外(除外)										0			
	ĺ			3 多 タト(ほクト) スト計(①+②+③)_@)	2 (041	1.355		1.209		1.207		∆ 148	1.207	1,207	
			⑥国 庫 코) (4)/	3,0	741	225		196		1,207	•	△ 29	1,207		
				<u> </u>				1/5		1/5		1/5			1/5	1/5	
資	E	3	⑦県支出			2,9	964	141		123		123		Δ 18	123		
	特	‡		助 率		1		1/8		1/8		1/8			1/8	1/8	
	元則	Ė	8 市 債											0			
源	り渡り	有	⑨ そ の 他					620		540		540		△ 80	540	540	
<i>""</i> "	117.	不	⑪ 受益者負担	担額(使用料・手数	(料等)									0			
			受益者	者負担率(⑩÷(5)												
	C	_		負担経費(A-E	3)		77	369		350		348		△ 21 348			
)	補助・単	单独 区分		□ 全額	浦助	✓ <u>—</u>	『補助	Ш	補助	事業の上	乗せ・横出	しあり		川市単独	
	تا تا	\wedge	指	標	:	名 (上段)		# <i> </i> -	令和1			口2年度	令和3年		令和4年度	令和5年度	
目	스	分	計	算式 • 訪	į E			単 位	目標(見			(見込)値 	目標(見		計画(見込)値	計画(見込)値	
		_	60歳以上の	高齢者数						20,522		21,022		21,563			
	対象	(1)	60歳以上の	 高齢者(各年度	末)			 		20,710		20,906		20,985	21,064	21,143	
標	象 指									•		,		,			
	標	2															
設																	
	活	1	シニア元気	塾開催回数						15		15		15	110	110	
定	/ _	0	毎年度末の	シニア元気塾開	催回数	女				25		39		103			
~	動	2	シニア元気	ニア元気塾たまり場開催回数						48		48		48	10	15	
	指	٧	毎年度末の	ー 年度末のシニア元気塾たまり場				ш		43		16		6	10	13	
•	標	3															
実			シニア元気					+ +		400		400		400			
	成 果 毎年度末の 指標。② シニア元気						┤╭┟	400					600	600			
績				to also			+ +		211		317		569				
小貝			塾たまり場利用	┤╷┞		240		240		240	100	150					
SUSTAIN	ABLE MENT		毎年度末の	毎年度末の使用者数 3 ままである						481		156 80				17 パートナーシップで 日保を出現しよう	
GOA	LS			A A				8 marks								W HOREMACA:	

111

		地域支援事業費/地域支援事業費/一般介護予防事業費
評	1 シニア元気塾の主な活動 (1)野菜作り	
価	・市民農園や協力農家所有の農地を借り受け「趣味の野菜作りで地域貢献」を目標に活動。 (2)高齢者福祉の増進	
年	・高齢者の足となる移動支援活動で年間1,089件の利用があり、7,215キロの運送を行った。 (3)スポーツ交流	
度	・タグラグビーを定期的に開催することで、子どもから高齢者までの交流が図られた。 (4)歴史探訪・ウォーキング	
	・新春ウォーキングとして、吉川駅南地区の伝統行事見学を実施。	
<i>の</i>	※R3年度のグループ年間活動実績(実活動およびメンバー間の打合せなどを含む) ・野菜作り 82回	
主	- スポーツ交流 18回 - たまで : ・	
な	・活動報告会 1回	
取	2 シニア元気塾たまり場の主な活動 (1)参加者の自主的活動の支援や情報交換を行うため、コーディネーターを配置。	
組	(1)参加者の自主的活動の支援や情報交換を行うため、コーディネーダーを配直。 (2)笑いヨガ、歌声喫茶を行い、自らの得意分野を活かせる活動としている。	
	区 分 評価結果 半	判断理由(特記事項)

	F	7 /\	5亚/正 4+ 田	게 MC 1H 다 / k+ = 그 늄 - 포 /	_
	⊵		評価結果	判断理由(特記事項) 本事業は、国の地域支援事業の実施要綱に基づき実施されるため、対象、手段、意図とも妥当である。	
	妥	対象・手段	☑ 妥当 □ 要検討	・	
事	当	意 図	☑妥当 □要検討		
	性	役割分担 (行政関与)	☑妥当 □要検討	業務委託による事業の実施は市民に浸透しており、妥当である。	
		種別		評価指標(指標性質) 令和1年度 令和2年度 ▲活動 ●成果	
業		目活動標準		① シニア元気塾開催回数 166.67%, ★★★★★ 260.00%, ★★★★★★ 150%	•
*	有	^{[奈} 指標	達成された	(増加日煙指煙) 達成された 達成された	
		成出	1/12/25%	① シェア元 与 熟 会 加 老 粉	
	41	度 成未 指標	XXXXX	***	
	効	成果向上の 余地	達成された □ □ □ □ なし	(増加目標指標) 達成度がやや低い 達成度がやや低い 100% 事業の実施により高齢者の社会参加や地域貢献への参加促進を図れることから、上 位施策への貢献度は高い。	
評	性	7,725			
		上位施策へ の貢献度	□ ☑ あり □ なし		R3
		単位当たり	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	
		コスト	33.73% 減少している	シニア元気塾開催回数 43.48% 28.56% ^{150%}	
価	効	変動率	11,722.52 円	活動指標 を単位として換算 単位:円/回 121,654.00 円 34,749.23 円 125%	
	率	コスト改善		社会参加や地域貢献への参加促進を図ることが目的であり、受益者負担の適正化の 余地はない。	
	性	の余地	□あり ☑ なし	赤地はない。	
	IΞ	受益者負担			
		適正化 の余地	□あり ☑なし	50% ————————————————————————————————————	 R3
		の赤地			_
改		れまでの ・改善内容	野菜作りのチームは、子育の写真や活動の様子をラー	りだけでなく、多世代ともつながりあえる場を創出し持続性のある事業を展開した。 育て世代に畑の一画を任せ、お子さんとその親後さんが共に、野菜を収穫について学べる場を提供した。収穫した野 インで情報交換する楽しみも生まれた。スポーツ交流(タグラグビー)チームは、児童館事業でタグラグビーの講師を 子供たち伝えられたほか、参加者の活動の場を広げることができた。	
革				リスク(マイナス要素) 機会(プラス要素)	
改		取り巻く環境 一ズの変化	5 多様なニーズに対応した流	活動機会の創出や支援が求められている。 本事業を実施することにより、参加者の生きがいや意欲を向上させるとができ、活動を通じて多世代間交流を行うことができる。	5こ
7,	ζ- D.1		本事業を安定して継続する		要
善	٤	政改革大綱 との関連 (i検・確認)	となる。		
事へ		後の方針	□ 現状のまま継続		
業一の次		のうえで継続」 合の展開方針	□ 拡 大	て □ 手段を改善(実施主体・手段の改善)	
方評向性)		後の方針」 の説明 画内容等)			
-		次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者 山口剛介	_
		後の方針			
二次		のうえで継続」 合の展開方針	□拡大	□ 手段を改善(実施主体・手段の改善) 幅小 □ 効率化	
評価		説明			
	=	次評価日	令和4年6月22日	Copyright ©2021 Yoshikawa City office. All Rights Reserved	_
				the state of the s	

No.	4011	23

	3	車系	事務事業名	地域型介護予防事業					所	所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係					
		T 1.	7 平 木 11	地类至月霞	נאינו	学术			事	前評価	日	令和3年	9月1日	事前語	平価責任者	山口 剛介		
基	1	事	業 期間	平成23年度	~	未設定	事業年	- 齢 10歳	根	拠法令	等	介護保険	法	•	·			
	基	L	関連付け	☑ 有			無	•	事	業区	分	□ 法定	受託事務	务	✓ ≜	治事務		
	本	の	まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	·幸せのまち	づくり(健	康福祉部門	事務	事業の)性質	☑ 毎年	度繰り返	し	〕単年度 [複数年度		
	計	関	施策	第3節 いきし	いき暮ら	せる高齢者	福祉の推	進進	直	接事業	美費	☑ 有						
本	画	徐	施策小項目	(3)介護予防	の充実				予	会計	区分	介護保険特別会計						
平	実施	施計i	画の位置付け	☑ 有			無		算	款	項	地域支援	事業費		地域支援事業費			
			5・ひと・しごと 合戦略との関連	□有☑無					— 科 目	B	細目	一般介護予防事業費			一般介護予			
			言戦略との関連 画の位置付け		高齢者	 香福祉計画				 ,行 方		一部委託 民間事業者に委託				100 7 212		
					I-IMP F				12.0	, 13 /3		HPX III	20123	T- NC ET	-210			
事	_		対 象	65歳以上の高齢	者													
	E	1	(誰を、何を)	対象年齢 6	S5 9	9 65歳以上				手具	С	・健康づくり・介護予防リーダー育成講習会の実施						
		_	意図	对 条件图 0	55 9	9 00成以工			(どのよう	な	・地域包括支援センターによる介護予防教室の委託・フレイルチェックを行うための予防サポーターの養成、						
	的	4	(対象にどの	住民が主体的に					_	業を行う	のか)		ルの作成			TE/AC		
	п,	ני		なることを防ぎ、いくことができる。		れた地域で健	隶な春らし	しを継続して										
項			のか)										_					
		類	似事業	□ 有 ☑無														
	前	j年 [度事務事業	☑有□無	業	CP戦略プランとの関連				✓ 無								
	区	分	Σ	☑ 分		令和1年度		和2年度				口3年度			令和4年度	令和5年度		
	_					決算(千円		算(千円)	予算(年(千円)	増減額(当初(千円)	計画(千円)		
	Α		① 事 業 ② 人 件			3,2		3,579		5,068		3,226		△ 353	5,285			
投	 -			- <u>貸</u> 員投入人員		0.08	19	5,605 0.74人		5,605 0.74人		4,433 0.59人		. 1,172 0.15人	4,433 0.59人	4,433 0.59人		
12	i			■12八八貝 ■人件費			19	5.605		5.605		4,433		1,172	4,433			
	5			ュハロ貝 F度任用職員人	件 費	0	13	3,003		3,003		4,433		0	4,400	4,433		
	ル			経費(加算)	1152									0				
入			_	対象外(除外)										0				
	۲			スト計(①+②+③)-(4)	3,8	85	9,183		10,673		7,659	Δ	1,524	9,718	9,718		
			⑥国 庫 ラ	支 出 金		6	53	715		1,014		645		△ 70	1,057	1,057		
次	争 B			助 率		1/5		1/5		1/5		1/5			1/5	1/5		
資	=	3	⑦県 支出	出 金		4	08	447		634		403		△ 44	661	661		
	特			助 率		1/8		1/8		1/8		1/8			1/8	1/8		
	定則	1	8 市										0					
源	源	5	9 そ の	そ の 他 受益者負担額(使用料・手数料等)		1,7	96	1,968		2,786		1,774		△ 194	2,907	2,907		
														0				
	_	$\overline{}$		各負担率(⑪÷億		1.0	00	0.050		0.000		4.007		1.010	F 000	5,000		
	C	_		負担経費(A-E	3)	1,0	_	6,053	部補助	6,239		4,837 事業の上		1,216	5,093	5,093 川市単独		
	L	_		单独区分			刊列			<i>F</i> #								
	区	分-	指	· 標		名 (上段) 		単 位	令和1 目標(見			112年度 (見込)値	令和3: 目標(見		令和4年度	令和5年度		
目			計	算 式 ・ 訪	į P	月 (下段)			実績			€績値	実績		計画(見込)値	計画(見込)値		
	対	1	65歳以上の	高齢者数				人		17,090		17,509		18,125	17,701	17,837		
標	象指	\odot	65歳以上の	高齢者数(各年	度末)					17,173		17,432		17,566	17,701	17,007		
775	指	(
	標	(2)																
設			健康づくり・・	 介護予防リーダ・	一育成		 可数			2		2		2				
	活	(1)		,				<u> </u>		2				1	2	2		
定	動						# FET ###					<u> </u>		20				
		(2)		援センターによる						38		38		38	15	20		
	指		地域包括支援セ	ンターが実施した介護	手	医の開催回数(3月	31日現在)	1		32		13		19				
	標	(3)]										
		•																
実	_ ا	(1)	地域型介護	予防事業実施自	治会数	<u>——</u> 数		□ <i> </i> +		40		40		45	40			
	成 果	\bigcirc	地域型介護予					- 団体		43		43		46	49	52		
績	績 指		地域包括支	援センターによる	る介護-	予防教室参加者数			750		750		750					
	標	(2)		防教室の参加者数(3月31日現在)						635		150		244	260	276		
SUSTAIN	ABLE		-1 HZ 1 M17X	3 学べての人に 3 学べての人に	-,,,,,,,			1			<u> </u>	100	<u> </u>			17 パートナーシップで 日保を達成しよう		
GOA	MENT			3 無線と描述を												17 Butturica		

					_
- m			予防リーダー養成講習会実	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Ī
評		講習会開催回 1回			
価		□ 参加自治会数			
	•	8自治会			
年		修了者数 11人			
度	2 フレ	レイルチェック	実施実績		
		チェック回数			
の		5回 参加者数			
主	-	62人			
+~					
な					
取					
組					
-,-					
	2	☑ 分	評価結果	判断理由(特記事項)	
				本事業は、国の地域支援事業の実施要綱に基づき実施されるため、対象、手段、意図とも妥当である。	
	妥	対象·手段	☑ 妥当 □ 要検討		
	•				
_	当	意 図	☑ 妥当 □要検討		
事	_			本事業は、国の地域支援事業の実施要綱に基づき実施されるため、役割分担は妥当である。	_
	性	役割分担		本事来は、国の地域又接事来の美胞安神に基づさ美胞されるにの、 (文制が担は安当でのる。	
	'-	(行政関与)	☑ 妥当 □ 要検討		
		種別	令和3年度		_
			50.00%,	① 健康づくり・介護予防リーダー育成講習会 100.00%, 50.00%, 150%	
業	+	│	***	¹ 実施回数	
	有	建 ^{指標} 成 _{よ田}	<u>達成度がやや低い</u> 102.22%	(増加目標指標) 達成された 達成度がや低い 107.50% 107.50%	
		由 风呆	★★★★	① 地域型介護予防事業実施自治会数 ★★★★★ ★★★★★ ●	
	効	指標	達成された	(増加目標指標) 達成された 達成された 100% ▲	,
		成果向上の	☑あり □ なし	介護予防により高齢者の自立した生活につながることから上位施策への貢献度は高い。	
評	性	余地		75%	
		上位施策へ		50%	h.
		の貢献度	☑あり □ なし	H31 R2 R3	3
		₩ 1÷ ₩ + 11	令和3年度	単位当たりコスト換算指標 令和1年度 令和2年度 変動率	
		単位当たり コスト	77.97%	地域型介護予防事業実施自治会数 236.37% 150% 150%	
価	効	変動率	減少している 166,509.02 円	成果指標を単位として換算 単位:円/団体 90,354.21 円 213,567.79 円 125% 12	
1,	率	コスト改善		介護予防の啓発を図ることが目的であり、受益者負担の適正化の余地はない。	
	•	の余地	□ あり □ なし		
	性	受益者負担		75%	
		適正化	□あり ☑なし	50% — H31 R2 R3	3
		の余地			,
	_	4+50	令和2年度より、フレイル予	防のきっかけづくりのため、フレイルチェックを開始した。	
改		れまでの 5・改善内容			
革	車撃を	いい光ノ理芸		スク(マイナス要素) 機会(プラス要素) 業は、自治会等の理解と協力が必要である 本事業を実施することにより、参加者が自主的に介護予防に取り組む	
		で取り巻く環境 一ズの変化	が、事業の目的や重要性に	こついて理解を得ることが難しい。 意欲を向上させることができる。	
改			コロナ禍により集う機会が深	咸少している。	
عبد ا		政改革大綱	局齢者の心身を健やかに	呆つために、地域型介護予防教室に加えフレイル予防にも注力していく必要がある。 	
善		との関連 〔検・確認〕			
	\ <i>m</i>	3.1失"11年11心/			
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止・休止 □ 終了・完了	
事へ		のうえで継続」	<u> </u>		
業一の次		合の展開方針	上拡大	□ 手段を改善(実施主体・手段の改善) 縮 小 □ 効率化	
方評		後の方針」			
向価 性〜		の説明 画内容等)			
iŦ O		次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者 山口剛介	_
		久計画口			
	今	後の方針	□ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止·休止 □ 終了·完了 □	
=		のうえで継続」	拉大	□ 手段を改善(実施主体・手段の改善) 縮 小 □ 効率化	
次	の場合	合の展開方針		□ 手段を改善(実施主体・手段の改善) □ 縮 小 □ 効率化	
評価		説明			
価					
	=	次評価日	令和4年6月22日	Convright ©2021 Yoshikawa City office All Rights Reserved	_

No.	4011 24	4

	1	事務事業名	・ 介護ボランテ	ィア活動支援事	所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係							
		7- 123 - 1- 20 E	71 BZ-11-72-7	17/11/31/12/12			事	前評値	西日	令和3年	₹9月1日	事前記	评価責任者	山口 剛介	
基	=	事業期間	平成23年度 ~	・ 未設定 事	業年	齢 10歳	植	₹拠法 ²	令等	吉川市が	个護福祉	総合条例	1		
	基	関連付け	☑ 有		無		事	業	₹分	□法□	它受託事	務	✓ 自	治事務	
	本(の まちづくり目標	第2章 元気・健	やか・幸せのまちづく	り(健)	東福祉部 門	事 (1)	8事業の	の性質	☑ 毎年度繰り返し □ 単年度 □ 複数年度					
	計	関施 策	第3節 いきいき	き暮らせる高齢者福	祉の推	進	直	接事	業費	☑ 有			□ 無		
本	画	施策小項目	(2)高齢者の日	常生活の支援						介護保険特別会計					
Τ`	実旅	計画の位置付け	☑ 有		無		算 科	款	項	地域支援事業費			地域支援事業費		
		iまち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無				目	目	細目	一般介護予防事業費			一般介護予	防事業	
		計画の位置付け	☑有□無高	高齢者福祉計画			封	・行 た	法	一部委託	£ 社会	☆福祉協議会へ委託			
事		-1. 45	介護状態でない高								L				
7	目	対象(誰を、何を)						手具	设	 市が認めた介護保険施設や事業等において、ボランティア活					
		意 図	対象年齢 65	99 65歳以上				(どのよ	うな				▷事業等において 応じたポイントを・		
項	的	(対象にどの	介護ボランティア活で、介護予防につな	動を通じて地域貢献や ながる。	や社会	参加するこ		業を行う	(ימנט)						
		類似事業	□有☑無				主な	業務プ	゚ロセス	. ☑ 有	□無 3	0313001	介護支援ボランテ	ィア制度実施事業	
	前	年度事務事業	☑ 有 □無 40	01124 介護ボランテ	ィア活	動支援事	業 CP戦	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上の関連	□有	☑ 無	l.			
				令和1年度	슦≴	口2年度	度		令和				令和4年度	令和5年度	
	区:	分 [2	⊠ 分	決算(千円)		年(千円)	予算(千円)		算(千円)	増減額	〔千円〕	当初(千円)	計画(千円)	
	Α	① 事 業		665		735		752	2	752		17	615		
±π.		② 人		77		76		76		75	-	Δ1	75	75	
投			員投入人員	0.01人		0.01人		0.01人		0.01人		0	0.01人	0.01人	
	タ		正職員人件費 77 76 会計年度任用職員人件費			76		75		Δ 1 0	75	75			
	ルー		平及世州戦員入行 経 費(加算)	- 負								0			
入	コス		対象外(除外)									0			
	۲		スト計(①+②+③-	-(4)) 742		811		828	3	827	,	16	690	690	
		⑥国庫 5		133		147		150)	150		3	123	123	
次		国補	前 助 率	1/5		1/5		1/5		1/5			1/5	1/5	
資	В	⑦県 支 と		83		92		94	ļ	94	ł .	2	77	77	
	特		助 率	1/8		1/8		1/8		1/8			1/8	1/8	
	定財										0				
源	源			365		404		414	+	U				338	
		受益有貝:	担額(使用料·手数料 者負担率(⑩÷⑤)	l 寸 /								0			
	С		自負担任費(A-B)	161		168		170		583	583 41		152	152	
	D		单独区分	□ 全額補助]		部補助				上乗せ・横出しあり			川市単独	
		持	標	名 (上段)			令和	1年度	令	和2年度	令和:	3年度	令和4年度	令和5年度	
	区:	分				単位	目標(5	見込)値	目標	原(見込)値	目標(5	見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値	
目		新 65歳以上の	算式 • 説	明(下段)			天和	<u>責値</u> 17,090		実績値 17,509		責値			
	対	(1)		 -\		人						18,125	17,701	17,837	
標	象指	03歳以上の	高齢者数(各年度	· 木)				17,173	5	17,432		17,566			
	標	2													
設		∧=#+ = !*		en.					_	*-					
	活	(1)	ランティア対象施記			箇所		40	-	40	1	48	48	50	
定		介護支援ボ	ランティア制度の登	登録施設数(3月31日	現在)			43	3	45	i	46			
~	動	2													
	指														
_	標	3													
	1275														
実		介護支援ボ	ランティア手帳交付	寸数				70)	70)	134			
	成里	介護支援ボ	ランティア登録者数			人		75	5	109)	60	100	100	
績	果指														
	標	2													
SUSTAIN	ABLE		3 すべての人に 健康と福祉を						1						
GOA	LS		— W												

評	交付到	実績													
価		項目	H29	H30	R1	R2	R3]							
年		付金額	139,000F			185,000円	126,000F								
•	×	5.000円	46人 14人			54人 17人	42년 12년								
度		4,000円	٨٤	5.	人 5人	13人	5人	<u>.</u>							
の	内訳		<u>ر</u> و			10人	ر8								
主		1,000円	10人 10人			4人 10人	5人 12人	_							
な		1,000 1	107		7 197	1000	127	<u> </u>							
取															
組															
	[2	区 分	評価	西結果				里由(特記事項							
	妥	対象・手	段 ②妥当		この事業で行っている ついて妥当である。	るポイント制度につい	いては、高齢	者の社会参加等	ទの動機づけに繋	がっており対象・手段、意図に					
事	当	意	図 ☑妥当	□要検討		齢者の社会参加の促進と担い手の育成は、今後、2025年に団塊世代が後期高齢									
	性	役割分排 (行政関 ⁴			高齢者の社会参加の 険の保険者として制成			たとなる状況を踏まえ、介護保							
		種		13年度	評価指	ໄ標 (指標性質)		令和1年度 107.50%,	令和2年度 112.50%,	▲活動 ●成果					
業		目活標指	虭	.03%, ★★	① 介護支援ボラン	ティア対象施設		****	****	150%					
	有	選	概ね達	成された .78%,			目標指標)	<u>達成された</u> 107.14%,	<u>達成された</u> 155.71%,	125%					
		由 八	【 一	∀★	① 介護支援ボラン		•	****	****	100%					
評	効	成果向上余地	建 队员	□ なし	社会参加者や役割を 増加が見込める。またながり、上位施策への	求める意欲的な高 た、ボランティア活動				75%					
вΤ	性	上位施策 の貢献!		□なし	5.0 7 L L 1/15 X					50% — R3 R3					
価	効	単位当た コスト 変動率	り ほぼ変動	していない	介護支援ボランティ				令和2年度 104.36% 若干増加している	変動率 150% ————————————————————————————————————					
픨	率性	コスト改造の余地	善 □あり	☑ なし :	活動指標 を単位と この事務事業は、ボラ 負担を求めるものでし ではなくコスト改善の	ランティアの実績に はない。また、ポイン	応じてポイント			100%					
	IΞ	受益者負 適正化 の余地	□あり	☑なし						75% — 50% — H31 R2 R3					
		•	活動範囲を	広げるため、令和	112年度より地域型介	・護予防教室の中心	を担う健康づ	にり・介護予防!	ノーダーの活動を	ボランティアの対象とした。					
改		- れまでの 車・改善内容	3												
革改		を取り巻く環 ニーズの変化			くク(マイナス要素) る場所が介護事業所	等に制限されている				:素) 参加や地域貢献を促すことが 繋げることができる。					
善	(†政改革大統 との関連 点検・確認)		定して継続する <i>†</i> 隽がより必要と <i>た</i>		アとして活動する高	齢者や受けノ	くれる事業所へ	の周知が重要でる	あり、委託事業者や市、受入事					
	今	後の方針	☑ 現	犬のまま継続	□ 改善のうえ	で継続 □ 他	の事業に統	·合	廃止∙休止	□ 終了·完了					
事へ業一の次	「改善	のうえで継ん	 売」	拉太	↓	を改善(実施主体	・手段の改割	善)	★ 縮 小	□ 効率化					
方評 向価 性)		後の方針 ₋ の説明 か回内容等)													
		·次評価日	令和4	年5月31日	一次評価	責任者	山口剛	介							
	今	後の方針	☑ 現	犬のまま継続	□ 改善のうえ	で継続 □ 他	の事業に統	合 □ 月	廃止∙休止	□ 終了·完了					
二次		のうえで継ん 合の展開方		拡大	↓	を改善(実施主体	・手段の改善	善)	★ 縮 小	□ 効率化					
評価		説明													
	Ξ	次評価日	令和4	 年6月22日	Copyright ©2021 Yoshikawa City office. All Rights Reserved										

No.	4011	25

	事務事業名			ふれあいデイサービス事業						事前評価日						接課 局節偏似係			
基	_	<u></u>	** #0 88	亚世10左连		+ 凯ウ 古:	坐 / L #	Δ 01 1						年9月1	口	前評価責任者	山口 剛介		
卒	-	肀	業期間	平成12年度	~		業年的	冷 21		根拠注事 業							1公古改		
	基		関連付け		17th 1.bL.			토소프 사기 소요요	_					定受託			治事務 		
	本計	0,	まちづくり目標			・幸せのまちづくり				務事				年度繰 -	り返し	単年度			
	画		施策			らせる高齢者福祉 ・	の推	進		直接			□ 有 □ 無 □ 無 □ 無 □ かび						
本			施策小項目	(3)介護予防	の允美				子	<u> </u>		区分					- viiv -++-		
			·画の位置付け ち·ひと·しごと	□ 有		√ #			科	‡ ⁷	款	項		地域支援事業費地域支援事業費					
	創生	生総	合戦略との関連			標2『市民の幸福	実感を	追及する。			<u>目</u>	細目	一般介護予防事業費 一般介護予防事業						
	個別	引計	画の位置付け	☑有□無	高齢者	皆福祉計画			1	執行	方	法	一部委託 社会福祉協議会へ委託						
事	E		対 (誰を、何を)	②65歳以上の高	齢者が	5し又は高齢者のみ 日中ひとり暮らしと 9 65歳以上		世帯		手 段 (どのような			平沼地区高齢者ふれあい広場(月・火・金)及び美南地区高						
項	Ĥ	ሳ			したり、	活動や軽運動など 高齢者が生きがい				事業を行			齢者ふれあい広場(水・木)において、デイサービスを行う。 				ナービスを行う。		
		類	似事業	□有☑無					主	な業務	テプロ	コセス	【 ☑ 有 □無 30210901 ふれあいデイサー			サービス事業			
	前	有	度事務事業	☑有□無	40112	5 ふれあいデイサ	ナービ	ス事業	CP戦略プランとの関連			□有	☑ 無						
	□ □	Δ	5	7 /		令和1年度	令和	12年度				令和	口3年度			令和4年度	令和5年度		
	Ľ	分		区 分		決算(千円)	決算	〔千円〕	予算	〔千円		決算	拿(千円)		額(千円		計画(千円)		
	A	١.	① 事 業			7,749		7,973		17,2			16,20		8,22		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
投	L		②人 件			12,995		6,286			286		1,72	_	△ 4,55		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
18		ĺ		員投入人員 員人件費		1.68人 12,995		0.83人 6,286		0.83	286		0.23ノ 1,72		△ 0.60, △ 4,55				
		タル会計		_{見へい見} 年度任用職員人	件 書	12,993		0,200		0,200		1,72	0		0	1,720			
				経費(加算)		468		681		(635		7	9	Δ 60		0		
入	7	ζ		対象外(除外)												0			
		,)	スト計(①+②+③)-(4)	21,211		14,940		24 ,1	142		18,00	9	3,06	14,93	14,935		
		⑥国庫				1,535		1,571			929		3,24	0	1,66		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
資	E	3		助 率		1/5		1/5		1/5			1/5	_		1/5	1/5		
	4-	+	⑦県支出			959 1/8		982 1/8		1,2	205		2,02 1/8	5	1,04	1,65	1,651		
	特		県補助率 8市 債			1/0		1/0		170		1/0			0	1/0			
2000	貝	オ	③ ポ⑨ その			4,022		5,303			5,56	4	1,54	<u> </u>	4,614				
源	源	泉			(料等)	345		168			600		31		14		<u> </u>		
				者負担率(⑩÷億		1.63%		1.12%			49%		1.72			2.019	+		
	(0	吉川市年間	負担経費(A-E	3)	14,149		8,197		15,1			6,87		Δ 1,32				
)	補 助・ 単	单独 区 分		□ 全額補助		✓ <u> </u>	部補助			補助	事業の上	乗せ・	横出しあ	り <u></u>	川市単独		
		,	指	重 標	:	名 (上段)		224 /T		11年度			口2年度		和3年度	令和4年度	令和5年度		
目	스	分	:::::::::::::::::::::::::::::::::::::	· 算 式 · 説	į E			単 位		(見込) 積値	1但		(見込)値 <積値		(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値		
				及び高齢者のみ							035		7,17	_	7,40	9			
	対象	(1)	独居高齢者及	び高齢者のみで	構成され		現在)	世帯		6,9	924		7,16	6	7,16	7,66	7,889		
標	象 指																		
	標	2																	
設			サービス利力	田老粉							80		8	n	g	30			
	活	1						人									53		
定	動		サービス利用	刊 有 釵							67		5	/	4	18			
		2																	
	指																		
	標	(3)	3																
+																			
実	成	1	サービス延ん	べ利用回数				日		3,6	680		3,68	0	3,68	2,00	2,000		
	果	•	サービス延ん	ベ利用回数			_]	I		2,0	080		1,22	4	1,95		2,000		
績	果指煙	上 日																	
	標②														7				
SUSTAIN DEVELOP GOA	LS			3 #ATOAK 4 #の高い - 外令 - 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1			l							1		•	•		

								,	心以又抜争未 負	/ 地以又抜争	未复 / 一般 1	`護予防爭耒貸				
評	新型2	和3年度	ァイルス の実績	感染症の影	響により、令和	2年度に引き続き各曜	日12名定員で	で開催。令和4年1	月より、定員を16	名に戻しての開催	<u>ーーーー</u> 生となった。					
価	-		区公民		金)、美南地区公	·民館(水·木)										
年		開催回 利用者		^{ミ)} 220回 ^ミ) 1,956名												
度の																
主																
ーな																
取																
組																
	Σ	₹ ,	分	[]	価結果			半川米	f理由(特記事項	i)						
	妥	対象		□妥当	☑要検討	本事業は、ひとり暮らため対象・意図は妥当便なチェックリストによ	当であるが、Ⴏ ニり、該当した	□日中ひとり暮らし □成29年から介護	しの高齢者の閉じ 養予防・日常生活	こもり防止、生きた 支援総合事業が如	台まり、介護認知	定と比較して簡				
事	当	意	図	☑妥当	□要検討	ついては検討余地はある。										
	性		分担 関与)	☑妥当	□要検討	高齢者の実態を把握	した上でサー	ビスの提供が必	要となるため、市	の関与は必要でも	ある 。					
		目	種別		和3年度 0.00%		標(指標性質	質)	令和1年度 83.75%.	令和2年度 71.25%.	▲活動	●成果				
業	有	標達	活動 指標	4	r★★ がやや低い	① サービス利用者		増加目標指標)	***	★★★ 達成度がやや低い						
	効	成度	成果 指標	5	3.15%, r★★ がやや低い	① サービス延べ利	用回数		56.52%, ★★★ 達成度がやや低い	33.26%,	100%					
	,,,		う上の	図あり	<u> </u>	さらなる制度周知によ在宅高齢者の介護予	り成果向上の	の余地は十分にあ	る。高齢者福祉	を推進する上で、	75%					
評	性		地													
			も策へ 献度	☑あり	□なし				50% H31	R2 R3						
		—-	当たり		和3年度 5.43%		:りコスト換算:	指標	令和1年度 147.01%	令和2年度 119.69%	変 150%	動率				
価	効		スト 助率		している 06.91 円	サービス延べ利用回 成果指標を単位とし		単位:円/日	増加している 10,197.81 円	増加している 12.206.11 円	125%	•				
	率		改善		□なし	介護保険制度の類似				,	100%					
	性		k地 皆負担								75%					
		適I		☑あり	口なし				=m leb 4- +b = 1		50% H31	R2 R3				
改		れまで ・改善				F児童館から美南地区 月者の生活リズムを整					るため、平成2/	'年度に1コース				
革	事業を	・取り券	く環境	対象となる		スク(マイナス要素) 計者の増加が見込まれ	<u>る。</u>	本事等	差を行うことで、対	機会(プラス要象者の閉じこもり		いをもって日常				
改		ーズの		7,7,7,000					送ることができる		C.,,,					
善善	اح	政改革 との関連 〔検・確	Ī	今後本事業	美を安定して継続	するためには、コスト(の改善など事	業内容を適切に	見直す必要があ	ర .						
	今	後の方	針	□現	状のまま継続	☑ 改善のうえ	で継続] 他の事業に	統合 □ 月	廃止・休止	□ 終	了·完了				
事へので	の場合	のうえて	見方針 (率化				
方評 向価 性〉	(計	後の方 の説明 画内容	等)	果たす役割	りについて検討	する必要がある。				2 X 17 0 C C 13 F J	HECA J CO TO	7.00、平事来18				
		次評価	日		4年5月31日	一次評価		山口「		表 .L . <i>l</i> .L		フ. 中フ				
		後の方			状のまま継続 	☑ 改善のうえ— ■ ■] 他の事業に		廃止∙休止 ── 」		了·完了				
次		合の展別			□ 拡 大 □ 手段を改善(実施主体・手段の改善) □ 縮 小 □ 効率化											
評価		説明				35355										
	Ξ	次評価	日	令和4年6月22日 Convright ©2021 Yoshikawa City office All F								served				

No.	4011	26

	Ę	事務事業名	地域包括支援セ	事前評価日			使 成 表 新									
₩	_	 	T-105		- -	-					□ 〒和3年9月1日 季前計画員任名 田口 画刀 介護保険法、介護保険法施行令					
基	=	事業期間	平成19年度 ~		業年的	計 14 前		根拠法*						.,		
	基。	と 関連付け	☑ 有		無			事業区			受託			治事務		
	本(務事業(- 1-70							
	計画	系			业の推	進 ———		直接事		☑ 有						
本		施策小項目	(2)高齢者の日常生	活の支援			子		区分	介護保険特別会計						
		計画の位置付け	☑ 有		無		科		項	地域支援事業費						
		iまち・ひと・しごと :総合戦略との関連	☑ 有 □無 基本目	目標2『市民の幸福	実感を	追及する。	E		細目							
	個別	計画の位置付け	☑有□無高齢	者福祉計画			i	執行を	法	一部委託	社	会福祉法	人、医療法人に	委託		
事	目	対 象 (誰を、何を) 意 図		99 65歳以上		していような				社会福祉法人と医療法人への業務委託により市内3か所の 地域包括支援センターを設置し、総合相談業務等を行う。						
項	的	(対象にどの ような状態に なってほしい のか)	・高齢者が要介護状態			生活を営む	, _									
		類似事業	□有☑無					な業務プ			□ 無 □ <i>·</i>	30210101	地域包括支援	2ンター事業		
	前	年度事務事業	☑ 有 □無 40112	26 地域包括支援	きセンタ	一事業 ————	CP	戦略プランと			≝					
	区	分 [▼ 分	令和1年度		12年度	M	(7 C)		和3年度	124.5-15	¢5/ → ΓΓΙ	令和4年度	令和5年度		
		① 事 第		決算(千円) 59,494	决昇	I(千円) 61,647	予	〔千円〕 63,390		算(千円) 63,165		額(千円)	当初(千円) 66,452	計画(千円) 66,452		
	Α	②人 作		4,177		4,847		4,847		4,433		Δ 414	4,433	4,433		
投	۲		' 員投入人員	0.54人		0.64人		0.64人	_	0.59人		 △ 0.05人	0.59人	0.59人		
		正職	員人件費	4,177		4,847		4,847		4,433		△ 414	4,433	4,433		
	タル		年度任用職員人件費								4,433 23 414					
-	⊐	③ 間 接	経費(加算)									0				
入	スト	9 - 7 - 7	対象外(除外)									0				
		(5) トータルコ	スト計(①+②+③-④)	63,671		66,494		68,237	_	67,598		1,104	70,885	70,885		
		⑥国庫 3		22,905		23,734		35,360	_	24,318 38.5/100		584	25,584	25,584		
資	В	⑦県支出	制 率 + 全	38.5/100 11,452	,	38.5/100 11,867		38.5/100 12,202		12.159		292	38.5/100 12,792	38.5/100 12,792		
	特		」 	19.25/100	19	9.25/100	1	9.25/100		19.25/100		232	19.25/100	19.25/100		
	定	8市		10.20, 100								0	10.20, 100	10.20, 100		
源	財	@ 7 0	他	13,683		14,179		14,580)	14,528		349	15,284	15,284		
小尔	源	⑪ 受益者負	負担額(使用料·手数料等)					J			0					
			者負担率(⑩÷⑤)													
	С		負担経費(A-B)	15,631		16,714		6,095			16,593 \triangle 121		17,225	17,225		
	D		単独区分	□ 全額補助]	✓ <u> </u>				事業の上				川市単独		
	区		i 標	名 (上段)		単 位]1年度 (見込)値		和2年度票(見込)値		03年度 (見込)値	令和4年度	令和5年度		
目	Δ,		- 算 式 ・ 説	明(下段)		平 四		. 元 <u>. 元. 元.</u> . 績値		実績値		(元 <u>之)恒</u> [績値	計画(見込)値	計画(見込)値		
		65歳以上の	高齢者			•		17,090)	17,509		18,125		4-00-		
+==	対 象	05歳以上の	高齢者数(各年度末)			人		17,173	3	17,432		17,566	17,701	17,837		
標	象指	_														
	標((2)														
設		地域包括支	援センター実態把握数	d				1,800)	1,800		1,800				
	活	(1)	コ現在の高齢者の実態			件		1,135	-	1,203		1,242	1,301	1,362		
定	動	毎午3万3日	コ現在の同即名の天地	3161注ITX				1,100	1	1,203		1,242				
	(2														
	指															
	標(# 3														
実																
	成	地域包括支	援センター相談件数			件		2,200	ו	2,200		3,075	3,188	3,309		
	果	毎年3月31日	日現在の高齢者からの	相談受付件数				2,101	1	2,960		2,936	0,100	0,000		
績	指															
	1示(票 ②														
SUSTAIN DEVELOP GOA	ALS								<u>I</u>		1		1			

					地域支援事業費 / 地域支援事業費 / 包括的支援事業・任意事業費			
評価年度の主な取	(1) (2) (3) (4) (4) (2) (1) (2) (3) (4) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (5) (4) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	合性実地自治球を ・相居態域の会護後 ・相居態域の会護後 ・相居態域の会護後 ・ででである。 ・ででである。 ・では、 ・では	づ源実 の等の防ァアの強事を 高 表題 援置行うが アア勉強性業 を関する。 での対して、 での対して、 での対して、 を がアア勉強性業 ので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、	常者の身体の状を把握して、地を把握して、地での把握を行う地を行う。 を行う。 を行う。 とい業務 開催し、介護支	地域支援事業費 / 地域支援事業費 / 包括的支援事業・任意事業費 心身の状況の把握並びに生活実態の把握を行う。 況等に応じたサービス、機関、制度につながるよう相談・支援を行う。 域のネットワークづくりを行う。 地域ケア会議を開催する。 援専門員に対する支援を行う。			
組	Þ	☑ 分	証		判断理由(特記事項)			
	妥	対象・手段	☑妥当	□要検討	地域包括支援センターは高齢者(家族)の相談拠点である。業務委託により地域包括支援センターを設置することについては介護保険法で認められており、対象と手段は妥当である。 地域包括支援センターの目的は、心身の健康の保持、生活の安定のための支援を行うことであり、意図は妥当であ			
	金。 金							

	妥	対象	·手段	☑妥当	□要検討	地域包括支援センターは高齢者 ついては介護保険法で認められ 地域包括支援センターの目的に	れており、対象と手段	设は妥当である。					
事	当	意	図	☑妥当	□要検討	న .							
	性	役割 (行政		☑妥当	□要検討	介護保険法において市が地域	包括支援センターを	設置することとされ	れており、妥当でる	ある。			
			種別	令和	口3年度	評価指標 (指標	性質)	令和1年度	令和2年度	A	活動 ●成果		
業	有	目標達	活動 指標	★ 達成度7	9.00%, ★★ がやや低い	① 地域包括支援センター実	① 地域包括支援センター実態把握数 63.06%, ★★★ (増加目標指標) 達成度がやや低い 達成度がやや低い (3.05%) (3.06%, ★★★ (増加目標指標) (増加目標指標) (3.06%, ★★★ (増加目標指標) (増加目標指標) (3.06%, ★★★ (増加目標指標) (4.05%) (
	効	成 度	成果 指標	*1	5.48%, ★★★ ≣成された	① 地域包括支援センター相	100%		\				
評	性	成果向上の 対あり 口 なし			□なし	実態把握を計画的に実施する。 がるため、成果向上の余地はは地域包括支援センターによる実常生活を続けることができるた。	ある。 ≷態把握、相談支援る	を行うことで、高齢		75%		_	
		上位施策へ の貢献度 ☑あり □ なし							A 100 to 10	50% H31	R2	R3	
		単位	当たり		口3年度 12.40%	単位当たりコスト換	9.算指標	令和1年度 96.25%	令和2年度 74.13%	150%	変動率		
価	効		単位ョ/29 コスト 変動率 若干増加している 23,023.93 円			地域包括支援センター相談 成果指標を単位として換算	件数 単位:円/件	30.25% 若干減少している 30,305.05 円		125%			
				□あり	☑ なし	【コスト改善の余地】高齢化率の 増加していくと考えられるため、 【受益者負担の適正化余地】受	100%	\	•				
	世 受益者負担 適正化 の余地			□あり	☑なし					50% ———	R2		
		の会	於地							ПОТ	T\Z	R3	
改		れまで・改善	の								IVE	R3	
改革	改革	れまで・改善	の内容			スク(マイナス要素)			機会(プラス要	更素)			
	事業を	れまで・改善	の内容			者の増加が見込まれる。		業を実施することで D家族が安心して	で対象者が気軽に	 要素) 相談できる	るようになり、対象		
革	事業をやニーク財	れまで ・改善 ・取り巻	の内容・「環境・大綱・大綱・	対象者が抱	65歳以上の高齢 える課題が複雑	者の増加が見込まれる。	やその	D家族が安心して	で対象者が気軽に 自立した生活を営	 要素) 相談できる	るようになり、対象		
革改善善	事業を行り	れまで善を取りるの関連を必要した。	の内容 「環化 大連認)	対象者が抱事業を必要	65歳以上の高齢 える課題が複雑	者の増加が見込まれる。 誰となっている。	やその	かていく必要があ	で対象者が気軽に 自立した生活を営	要素) - 相談できる ぎむことがて	るようになり、対象		
革 改善 事業	改革事業を行った。	れまできを取りるの。	の内容 「	対象者が抱事業を必要	55歳以上の高齢 える課題が複雑 とする高齢者を	者の増加が見込まれる。 誰となっている。 早期発見するため、庁内や関係 □ 改善のうえで継続	やその	の家族が安心して 対ていく必要があ がない かてい がまま がまま かまま かまま かまま かまま かまま かまま かまま かまま	受対象者が気軽に 自立した生活を営 る。	要素) - 相談できる ぎむことがて	るようになり、対象 きる。		
革 改善	改革事業に 行り (点 今 善場) 「今 計	れまで善りが、 といれば 後の合後の画で善りが、 ひめい でき でま の の説内 でま でま 方明容	の内容 「大連認」 「計解方針」 等)	対象者が抱事業を必要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	55歳以上の高齢はえる課題が複雑とする高齢者を とする高齢者を 状のまま継続	者の増加が見込まれる。 性となっている。 早期発見するため、庁内や関係	やその 機関との連携を進む 他の事業に に施主体・手段のご	の家族が安心して 対ていく必要があ がない かてい がまま がまま かまま かまま かまま かまま かまま かまま かまま かまま	受対象者が気軽に 自立した生活を営 る。 泰止・休止	要素) - 相談できる ぎむことがて	るようになり、対象 きる。 終了・完了		
革 改善事業の方向	改革事業に 行り (点 今 善場) 「今 計	れません でき 巻の 英別確 後 の合 後の説明 本別で みりが でき でき から でき でき から でき でき から でき から でき から でき から でき から でき から でき から でき から でき から でき から でき から でき から から から から から から から から から から から から から	の内容 「大連認」 「計解方針」 等)	対象者が抱事業を必要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5歳以上の高齢 える課題が複雑 とする高齢者を 状のまま継続	者の増加が見込まれる。 誰となっている。 早期発見するため、庁内や関係 □ 改善のうえで継続	やその 機関との連携を進む 他の事業に に施主体・手段のご	かていく必要があった。	受対象者が気軽に 自立した生活を営 る。 泰止・休止	要素) - 相談できる ぎむことがて	るようになり、対象 きる。 終了・完了		
革 改善事業の方向	改革事や 行く点 今 善場 「今 計一 今	れまでき 巻の 単型体 後の合後の画次 後の 単関体 方で 表別の の説内 評の でまり でき かって でき かって かって かって かって かって かって かって かって かって かって	の内容 「大連認」 「針 (対象者が抱事業を必要 ② 現 令和	55歳以上の高齢はえる課題が複雑とする高齢者を とする高齢者を 状のまま継続	者の増加が見込まれる。 性となっている。 早期発見するため、庁内や関係	やその 機関との連携を進む 他の事業に に施主体・手段のご	の家族が安心して対でいく必要があった。 統合 □ 「対	受対象者が気軽に 自立した生活を営 る。 泰止・休止	要素) - 相談できる ぎむことがて	るようになり、対象 きる。 終了・完了		
革 改善 事業の方向性 ニ	改革 事や 行(今 善場 今 計 一 今 善	れまで善りが、 という はの画 次との ない という ない という かい これ のの の の の の の の の の の の の の の の の の の	の内容 「大車認」 「針 総方針」 等 日 「針 続」	対象者が抱事業を必要 ② 現 令和	55歳以上の高齢 はえる課題が複雑 とする高齢者を 状のまま継続 拡 大 4年5月31日	者の増加が見込まれる。 性となっている。 早期発見するため、庁内や関係 □ 改善のうえで継続 □ サーチ目を改善(月) □ 大評価責任者 □ 改善のうえで継続	やその 機関との連携を進む 一他の事業に 実施主体・手段のご	D家族が安心して めていく必要があ 統合	受対象者が気軽に 自立した生活を営 る。 発止・休止 増 縮 小	要素) - 相談できる ぎむことがて	るようになり、対象できる。 終了・完了 効率化		
革 改善事業の方向	改革 事や 行(今 善場 今 計 一 今 善場 での場 での での での での での での での での での での での での での	れ・ ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	の内 マ で 大車 認 が 新 針 等 日 で 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新	対象者が抱事業を必要 ② 現 令和	15歳以上の高齢はえる課題が複雑とする高齢者を とする高齢者を 状のまま 拡 大 4年5月31日 状のまま継続	者の増加が見込まれる。 性となっている。 早期発見するため、庁内や関係 □ 改善のうえで継続 □ サーチ目を改善(月) □ 大評価責任者 □ 改善のうえで継続	をその で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	D家族が安心して めていく必要があ 統合	受対象者が気軽に 自立した生活を営る。 廃止・休止 縮 小	要素) - 相談できる ぎむことがて	あようになり、対象できる。 終了・完了 効率化		
革 改善 「一次評価 」 二次評	改 業 行 (れ・ 取一 政の検 後 の合 後の画 次 後 の合 ま改 リズ 改の時 の うの の説内 評 の うの で善 巻の 革災確 方 て展 方明容 価 方 て展	の内 マ で 大車認 計 (新力 針 等) 日 (新方 針 続針) 日 (新方 針 統) 計 (新力) 日 (新方	対象者が抱事業を必要 ② 現 令和 ② 現	15歳以上の高齢はえる課題が複雑とする高齢者を とする高齢者を 状のまま 拡 大 4年5月31日 状のまま継続	者の増加が見込まれる。 性となっている。 早期発見するため、庁内や関係 □ 改善のうえで継続 □ サーチ目を改善(月) □ 大評価責任者 □ 改善のうえで継続	やその 機関との連携を進ん 他の事業に 他の事業に 他の事業に 他の事業に 他の事業に 他の事業に	D家族が安心して めていく必要があ 統合	受対象者が気軽に 自立した生活を営る。 廃止・休止 ・・休止 ・・休止 ・・休止 ・・休止 ・・休止	要素) 二相談できる	終了・完了 効率化		

No.	4011	27

	喜	事務事業名 「	在宅医療と介護連携推進事業				月	「管部	署名	健康	長寿部县	奏支援	課 高齢福祉係			
								•	前評		15 116 5	年9月1日	事前	評価責任者	山口 剛介	
基	틕	業期間	平成27年度	~	未設定	事業年	齢 6歳		艮拠法		介護保					
	基。	関連付け	☑ 有			無			業 [定受託事			治事務	
	本(***		・幸せのまちづ	くり(健	康福祉部門	.,	务事業			年度繰り	返し] 複数年度	
	訂	施策	第7節 地域						接事		✓ 4			無		
本		施策小項目	(3)在宅医療(の推進				予算		計区分		険特別会				
		計画の位置付けまち・ひと・しごと				無		科	示人		地域支援事業費			地域支援事		
	創生	総合戦略との関連			標2『市民の幸	福実感で かいこう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	を追及する		目	細目				費包括的支援		
	個別	計画の位置付け	☑有□無	高齢	皆福祉計画			载	丸 行 フ	方 法	一部委託	託 サオ	パートセン	ター業務を医館	である である である。 である。 である。 である。 である。 である。 であ	
事	目	対 象 (誰を、何を)	65歳以上の高齢 対象年齢 6		の家族 9 65歳以上				手	段		・吉川松伏多職種連携の会による研修会・講演会の実施				
		意図	对 家平图 0	5 9	9 00旅以工				(どのよ	うな	•医療介	療サポー 護情報提	トセンター 供システ.	·の設置 ムによるサービス	事業所情報の	
項	的	(対象にどの) マルカ四リクス 畑トナリ			地域で自分らしし	暮らし				<i>J</i> 0 <i>J1</i> 3·)	提供	提供				
	-	類似事業	□有☑無					主な	業務	プロセス	ス 🗌 有	☑ 無				
	前	年度事務事業	☑有□無	40112	7 在宅医療と介	ì護連捷	隽推進事業	CP 剿	は略プラン	との関	連 口 有	✓ 無				
	区分	4 5	☑ 分		令和1年度		和2年度				和3年度			令和4年度	令和5年度	
					決算(千円)		第(千円)	予算((千円)	_	第(千円)		〔千円〕	当初(千円)	計画(千円)	
	Α	① 事 業 ② 人 件			9,290 2,321		9,612 454		10,55 45		10,143		531 447	11,300 902	11,300 902	
投	 				0.30人		0.06人		0.06	_	0.12人		0.06人	0.12人	0.12人	
	ļ		員人件費		2,321	-	454		45	_	902		447	902	902	
	タル	会計组	年度任用職員人	件費									0			
,	=	③ 間 接	経 費(加算)										0			
入	スト	9 1 7 1 7	④コスト対 象 外 (除外)										0			
		(5)トータルコ (6)国庫 3	スト計(①+②+③	(4)	11,611	+	10,066		11,00	_	11,04		978	12,202	12,202	
			文		3,576 38.5/100		3,700 38.5/100	3	4,107 38.5/100		3,90		205	4,351 38.5/100	4,351 38.5/100	
資	В	⑦県支出			1,788		1,850	3	2.05	_	1,95		103	2,175		
	特		 i 助 率		19.25/100	-	19.25/100	19	.25/10		19.25/100			19.25/100	19.25/100	
	定財	8 市	債										0			
源	財 源	9 6 07			2,136	6	2,210		2,45	4	2,333	3	123	2,599	2,599	
		① 受益者負担	担額(使用料・手数										0			
	<u> </u>		者負担率(⑩÷億		A 111		2 206		2,39	4	0.05	2	547	2.077	3,077	
	C		負担経費(A-B 単 独 区 分)	4,111		2,306	部補助	2,39		2,853 カ事業の上			3,077 □ ±	川市単独	
		指			名(上段)	,			1年度		和2年度		3年度	令和4年度	令和5年度	
	区分	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					単位	目標(見込)値	目;	標(見込)値	目標()	見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値	
目			· 算 式 • 説	, F	明 (下段)			実統	漬値		実績値		績値		11四(元之/旧	
	対(1 65歳以上の		<u> </u>			人		17,09	+	17,509		18,125	17,701	17,837	
標	象 指	65歳以上の	高齢者数(各年)	艾 末)					17,17	-	17,432		17,566			
	標(2)	支援)認定者数				人		2,19		2,399	9	2,608	2,731	2,909	
設		要介護(要3	支援)認定者数(:		末)				2,24	7	2,40	7	2,564		,	
	活(吉川松伏多	職種連携の会開	催数						6	(6	6	6	6	
定		吉川松伏多	職種連携の会の	開催	回数					6	(0	0	•	·	
Æ	動	2														
	指															
-		2														
	標 (3)														
実		吉川松伏多	職種連携の会研	修会・	イベント等開催	数				3	;	3	3			
	成果	1)	職種連携の会の				•			3	(0	0	2	3	
績	指				2 3.741							+				
	標 (2					1			+		1				
SUSTAIN	ABLE		3 すべての人に 効果と指針を					<u> </u>								
GOA			-W-													

				-6-72	412 1 113C 1 10 10	人派于水关, こ	加州文版中末 正志中未良						
評	吉川松伏多職種連携の会の概要 1 設置 平成22年度 2 構成 医師会、地位包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、行政など												
価				け研修会、市民への普及啓発など	四百成ハ ノコン、	奶呵 刀 改争未济	C I I II A C						
年	※本会	は、医療・介	護職が多く参加する会である	るため、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染料	定の感染拡大防止の	観点から開催を見	送っている。						
度													
の													
主													
な													
取													
組													
	Σ	3 分	評価結果	判断理由(特記事項) 高齢者が医療と介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすためには、医療職と介護職の連携は重要であり、対									
	妥	対象·手段	☑妥当 □要検討	象・手段、意図は妥当である。									
事	当 意図 ☑ ☑ 妥当 □要												
	性	役割分担 (行政関与)	☑妥当 □要検討	介護保険法に本事業の実施が規定されており、	妥当である。								
		種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	▲活動 ●成果						
業	目 70% ★ 15.5元			① 吉川松伏多職種連携の会開催数	100.00%,	0% ★	150%						
	成 成 10 単			(増加目標指) 吉川松伏多職種連携の会研修会・イベン	標) 達成された 小 100.00%,	達成度がかなり低い 0%	125%						
	c			予開催数 (増加目標指	★ 達成度がかなり低い	100%							
評	性	成果向上の 余地	☑あり □ なし	多職種連携の会において、医療と介護の連携を 療職と介護職の連携を図ることで、結果として高 体制づくりにつながるため、上位施策への貢献/		75%							
		上位施策へ の貢献度	☑あり □ なし	50% National High 150% High R2 中位当たりコスト換算指標 令和1年度 令和2年度 変動率									
		単位当たりコスト	令和3年度	単位当たりコスト換算指標 吉川松伏多職種連携の会開催数	令和2年度	変動率 150% ————————————————————————————————————							
価	効	変動率	評価不可	古列松(大夕城性建筑の云開催数	評価不可	125%							
	率	コスト改善の余地	□あり ☑ なし	本事業は松伏町と共同事業であり、協定によりることから、コスト改善の余地はない。	事業費の負担割合等	が定められてい	100%						
	性	受益者負担					75%						
		適正化 の余地	□あり ☑なし □				50% — R2 R3						
改	_	れまでの エ・ 改善内容											
革			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	スク(マイナス要素)		機会(プラス要							
改		・取り巻く環境 一ズの変化	対象となる65歳以上の高齢	ħ	、対象者が安心して	生宅での生活を営							
善善	٤	政改革大綱 との関連 (検・確認)	本事業を安定して継続する連携がより必要となる。	ためには、対象となる高齢者やその家族への周	知が重要であり、委	託事業者や市、医	療機関、介護事業所などとの						
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業	 に統合	廃止•休止	□ 終了·完了						
事へ業一の次		のうえで継続」 合の展開方針	並大		の 改善)	☆ 縮 小	□ 効率化						
方評向価性		後の方針」 の説明 画内容等)											
· <u> </u>	_	次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者 山口	口 剛介								
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業 ■	美に統合 □ 」	廃止•休止	□ 終了·完了						
二次		のうえで継続」 合の展開方針	拉 太	□ 手段を改善(実施主体・手段)	の改善)	縮小	効率化						
評価		説明											
	=:		令和4年6月22日		onvright ©2021 Yosh	: Oit	All Distance Decreed						

事 務 事 業 評 価 シ - ト

No.	4011	28

	重	務事業名	 生活支援体	-生 敕	供車業			Ē	所管部	署名	名	健康長	長寿部 -	長寿支援	課 高齢福祉係	
	7	7万平木石	工石又饭件	, thi) XE	. 佣 尹 未			-	事前評	価E	日	令和3年	F9月1E	事前	評価責任者	山口 剛介
基	事	業期間	平成29年度	~	未設定	事業年	- 齢 4歳	. 1	根拠法	令等	等	介護保険	法		•	
	基と	関連付け	☑ 有			無		Ī	事 業	区分	分	□ 法定	2受託事		▽ 自	治事務
	 本の		第2章 元気・	健やか	い幸せのまちづ	くり(健	康福祉部門	引) 事	務事業	の性	生質	☑ 毎年	F度繰り	<u>返し</u> [□単年度□] 複数年度
	計関	施策	第3節 いきし	いき暮ら		祉の推	 <u></u> 進	Ī	直接事	業	費	☑ 有			□ 無	
	画係	施策小項目	(2)高齢者の	日常生	 活の支援	-		予			介護保険		 計			
本	実施記	計画の位置付け				無		算	±/n			地域支援事業費			地域支援事	
	市ま	まち・ひと・しごと	□有☑無					科	+							
		総合戦略との関連 計画の位置付け		高齢和	 者福祉計画				· L 執 行:			一部委託			福祉協議会へ建	
	E4757				3.1m1mm			-	<i>9</i> 4 13 2	/5 /-	Д	HIZH	, H.	111111111111111111111111111111111111111	T田1年1000日本ム ラ	<u> </u>
事	П	対 象	65歳以上の高齢	渚												
	目	(誰を、何を)	対象年齢	S5 9	99 65歳以上				手	段		牛活支援	コーディ	ィネーター	を配置し、ボラン フ	ティア等の生活支
		意図	刈 外 十 图 1	15 5	9 00 成火工				(どのよ	ような	:	援担い手	の養成・)地域資源の開発	
	的	(対象にどの	地域において、高	≦齢者0	の生活支援・介証	養予防ガ	ナービスのゲ		事業を行	うのか	5 `)	ワークを行 	丁つ。			
市石	μ,	ような状態に なってほしい	制整備が整い、													
項	*:	のか)						+ 1	나 시나 진 선 •	~	1.7	- - 1		20210001	17世上四尚古:	alle
		頁似事業	□有☑無	12440		4.1 ±h ±	— <u>ли</u>		な業務に					30212901	協議体運営事業	美
	削件	F度事務事業 -	□ 有 □ 無	40112	28 生活支援体管			CP#	戦略プラン				<u> </u>			
	区分	<u> </u>	☑ 分		令和1年度		和2年度	マ. 竺	·/-т пп)			回3年度	一种污渍	-5/ -7 Π\	令和4年度	令和5年度
		① 事 業			決算(千円) 7.53		算(千円) 9,669	丁 异	〔千円〕 8,39	_		算(千円) 8,213		額(千円) △ 1,457	当初(千円) 8,926	計画(千円) 8,926
	Α	② 人 件			1.006		682		68	_		4.508		3.827	4,508	
投	۲				0.13人	_	0.09人		0.09			0.60人		0.51人	0.60人	0.60人
	I		員人件費		1,006		682		68			4,508		3,827	4,508	
	タル		年度任用職員人	.件費		+								0		
_	⊐		経 費(加算)							\perp				0		
入	スト		④コスト対象外(除外)											0		
	-		スト計(①+②+③)-(4))	8,543	_	10,351	<u> </u>	9,07	_		12,721		2,370		13,434
		⑥国庫 求			2,90		3,722	<u> </u>	3,23	_			3,162 \triangle 560		,	3,437
資	В	り 県 支 出	助率		38.5/100 1.450	_	38.5/100 1.861	<u> </u>	38.5/10 1,61			38.5/100 1,581	 	△ 280	38.5/100 1.718	
	#土		口 団 前助 率		19.25/100	_	1,861	11	۱,6۱ 9.25/10			1,581	-	Δ 200	19.25/100	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	特定	⑧市	<u> </u>		10.20/ 100	+	19.20/ 100	 '	3.20/ 10	_		9.20/ 100	 	0		10.20/ 100
शक	定財	③ け⑨ そ の	 他		1,730	3	2,223		1,93	31		1,889		△ 334		2,053
源	源		 担額(使用料•手数	(料等)		+	- 1					•		0		
			者負担率(⑩÷億			1										
	С	吉川市年間	負担経費(A-E	3)	2,459		2,545		2,29	98		6,089		3,544		
	D	補助・単	单独区分		□ 全額補助	功	✓ —	部補助]補	甫助哥	事業の上	乗せ・梼	出しあり	□ 吉	川市単独
	A	指	標	3	名 (上段)		34 /L]1年度			口2年度		13年度	令和4年度	令和5年度
l _目	区分		・ 算 式 ・ 診	÷ F	 明 (下段)		- 単位		(見込)値 積値	1		(見込)値 E績値		(見込)値 積値	計画(見込)値	計画(見込)値
		65歳以上の							17,09	90		17,509		18,125		
125	対 (1)		高齢者数(各年				人		17,17	73		17,432		17,566	17,701	17,837
標	指		PIER EXC. 2				+	 	***	+		***	 	* - 1-		
	標 ②	<u> </u>					- !			+						
設		上 /子士控力	<u> </u>	도둑나나 3	<u></u>		 -	 		10		10	 	25		-
	活 ①)	一ディネーター活				•			12		12	1	25	32	38
定		生活支援コー	ーディネーターと	:して沽	動した件数		<u> </u>	<u> </u>		8		20	<u> </u>	26		<u> </u>
	動 ②	担い手養成								1		1		1	1	1
_	指	担い手養成	講座を開催した	回数(4	各年度末)					0		0		0		
•	標 ③															
	休し)		-			1 !		-	\top					1	
実		生活支援コ		 5動件犯	 数		† †		1	12		12	<u> </u>	25		
	成 ① 果)	ーディネーターと				<u> </u>			8		20		26	32	38
績	未 指	17/1/2/1/2	711 7 2		20121130		+			╁						
	標 ②	<u> </u>					_			_					-	
SUSTAIN	ARI F									ᆚ						
SUSTAIN DEVELOPE GOA	LS		3 青水ての人に 健康と確定を													
2030年に向けて 世界が合催した 「労能可能な開発!			- ₩•													

							地域支援	事業費 / 地域3	を援事業費/包	.括的支援事	業∙任意	事業費
評	概要 高齢	3者世帯	等が増	曾加する中、7	おは、生活支援	サービスを担う多様な事業主体と連携	しながら、日常	:生活上の支援体	制の拡充・強化ス	及び高齢者の	社会参加の	の推進
価				くことを目的コーディネータ								
年	(1)		題や地	域資源の把	握							
度	(2)	業務内	容	フークづくり								
o o		第2層	協議体の	の開催、運営 の立ち上げ支	援							
主	-	地域資	源の把	の開催・運営								
な	なる		ア会議	への参加								
取												
組												
	<u> </u>	x	分	証	西結果		半川 新	理由(特記事項)			
			·手段	□妥当	□要検討	市が主体となり、生活支援コーディネー 有及び連携強化の場として、中核とな	ーターと生活支	援・介護予防サー	ービスの提供主体			
	妥	<i>N</i> 3%	- T+X	□女ョ	一 安快的	ある。	. 0-1-21 2 2	・加州では	المرابع	130 1700	ACO (0.	V - C
事	当	意	図	☑ 妥当	□要検討							
•	性		 分担 (関与)	☑妥当	□要検討	厚労省の介護予防・日常生活支援総 置し、本事業を行うこととされているこ				:活支援コーラ	^デ ィネータ-	ーを配
			種別	令和	□3年度	評価指標 (指標性質)		令和1年度	令和2年度	▲活動	●成果	1
業		目標	活動		4.00%,	① 生活支援コーディネーター活動	件数	66.67%, ★★★	166.67%,	150%	/ \	
	有	達成	指標		された 4.00%.			達成度がやや低い 66.67%.	達成された 166.67%.	125%		\leftarrow
	効	度	成果 指標	**	* ★ ★	① 生活支援コーディネーター活動		★★★ 達成度がやや低い	★★★★★ 達成された	100%		-
	793		向上の	☑あり	<u>□ なし</u>	地域包括ケアを構築することにより、こ				75%		
評	性	弁	地							75%		
			施策へ i献度	☑あり	□なし					50% ————————————————————————————————————	R2	R3
		単位	当たり		03年度 1.96%	単位当たりコスト換算指標	元	令和1年度 564.10%	令和2年度 119.37%	150%	医動率	
価	効		スト 動率	増加	1.30m している 1.18 円	65歳以上の高齢者数 対象指標を単位として換算 単化	立:円/人	増加している 497.45 円	増加している 593.80 円	125%		_
Щ	率	コス				職員の人件費と備品購入費等であり、			393.60 🗂	100%		
	性		余地	□あり	☑ なし					75%		
		適.	者負担 正化 余地	□あり	☑なし					50% ————————————————————————————————————	R2	 R3
	_											
改		れまできる										
革 リスク(マイナス要素) 機会(プラス要素) 機会(プラス要素)										7.88 1		
改	事業を取り巻く環境 地域における住民間の繋が やニーズの変化					がりが希薄化している。 協議体の組織、運用を通じて、地域住民が主体となった事業を展開することにより、ニーズに合ったサービスを提供することができる。						
	行財	政改革	5大綱	本事業を安	定して継続する	ためには、地域の団体や住民、市の通	 連携をより進め	る必要がある。				
善	d	との関う	連									
				J III	比の主主継続	□ 改善のうえで継続 □	他の事業に終	#수 D 명	薬止•休止	□ 紋	て・完了	

改	これまでの 改革・改善内容									
革		リスク	ク(マイナス要素)				機会(プラス	要素)		
	事業を取り巻く環境 やニーズの変化	地域における住民間の繋がり	が希薄化している。		劦議体の組織、 ることにより、=				sった事業を展開 ことができる。	す
善	行財政改革大綱 との関連 (点検・確認)	本事業を安定して継続するため	かには、地域の団体や住民、テ	市の連携をより	り進める必要か	゙ ある。				
_	今後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続	□他の事	業に統合	□ 廃	止·休止		終了·完了	
事へ業一の次	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	╽拡大	□ 手段を改善(実	施主体・手段	设の改善)		☆ 縮 小	*	効率化	
方評 向価 性)	「今後の方針」 の説明 (計画内容等)									
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	Ц	口 剛介					
	今後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 ■	□ 他の事	業に統合	□ 廃	止·休止		終了·完了	
二次	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	拉 大	▼ 手段を改善(実	施主体·手段	设の改善)		☆ 縮 小	<u></u>	効率化	
(評価	説明									
	二次評価日	令和4年6月22日			Convright ©20	21 Yoshik	awa City office	- All Rights	Reserved	

事務事業評価シート

No.	4011	29

************************************		事務事業名			認知症総合支援事業					署名	健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係				
横型			<i>+ 10 + A</i> 11	100人117年小5日人	及于 木			事	前評個	百日					山口 剛介
大きの	基	-	事業期間		未設定	事業年	齢 15歳				吉川市介	護福祉	総合条	列	
#		基	と 関連付け	☑ 有		無		事	業区	分	□ 法定	受託事	務	√ ≜	治事務
		本	のまちづくり目標					事務	事業の	D性質		度繰り	返し [
			係 一			祉の推	進		1					無	
####################################	本		施策小項目		生活の支援								計		
中央					Ш	無		— 科							
## 日		創生	上総合戦略との関連					- 1						事業	
日本		個为	川計画の位置付け 	│ ☑ 有 □無 高額	常者福祉計 画			棘	行万	法	一部委託	市内	医療機	関へ委託	
	事	E		全市民											
## 2			*	対象年齢 00	99 全年齢										
項			(対象にどの	①認知症への市民理	解が深まり、市民の	の認知症	E対応力が	ab :							⁻ る。
対		B	みりながぶに		早期発見と早期診	:春につ7	ながる。								
新年度事務素 2 月 1 401129 認知症給含支援事業 20機動方がとの開業 1 1 1 1 1 1 1 1 1	項		のか)		170100000 170100			+ +:	要 扱 プ	ロナフ			0210202	認知症###	
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本					120 認知庁総合:	古怪車	*					_ ///	0210302	心が近ッパース	受以時圧の所住
接換		יוּוּ	十尺字切字木					01 +3	may //			<u>`</u> #		△和4左曲	人和广东中
投		区	分	≤ 分				予算(千円)			増減額	(千円)		
大		_													
日本	4 n.		② 人		,										· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
大 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	投											Δ			
大 日本			스타			j i	3,333		3,333		2,855			2,855	2,855
大		-													
1	入	7	(4)コストダ										0		
下		ŀ	(5) トーダルコ			3	3,889		4,647		3,493		△ 397	4,339	4,185
資業 万県支出金 133 107 253 123 16 286 256 規模 規格助率 1925/100 100 100 100													31		
特定	資	Е						38					10		
下		H=						19					10		
源 (1) 受益者負担額(使用料・手数料等)		17 元			10.20/ 100	<u> </u>	0.207 100	10.	19.25/100		0.20/ 100		0	10.20/ 100	10.20/ 100
10 受益者負担率(⑩+⑤) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	洰	則	9そ の	他	159)	128		302		147		19	341	306
C 吉川市年間負担経費(A—B) 4,930 3,440 3,586 2,978 △ 463 3,141 3,111 D 補助・単独区分 全額補助 一部補助 補助事業の上乗せ・横出しあり 吉川市単独 E 分 指標名(上段) 単位 新月算式・説明(下段) 単位 新月算式・説明(見込)値目標見込)値 実績値実績値実績値実績値実績値実裁値 今和3年度計画(見込)値報度 今和3年度計画(見込)値報度 十回(見込)値報度 十回(見込)値報度 74,484 74,771 73,514 73,756 74,372 73,014 73,217 73,043 73,756 74,372 73,372 73,043 73,756 74,372 73,043 73,043 73,756 74,372 73,043 73,043 73,756 74,372 73,043 73,043 73,756 74,372 73,043 73,043 73,756 74,372 73,043 73,043 73,756 74,372 73,043 73,043 73,756 74,372 73,043 73,043 73,756 74,372 73,043 73,756 74,372 73,043 73,756 74,372 73,043 73,756 74,372 73,043 73,756 74,372 73,043 73,756 74,372	<i>"</i>	II.	(10) 受益者負		;) <u> </u>						0				
日 補助・単独区分 全額補助 ②一部補助 補助事業の上乗せ・横出しあり 吉川市単独 日					4.000		0.440		0.500		0.070		A 400	0.444	0.111
指 標 名 (上段)					-			並以 才 計							<u> </u>
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		_				וע									
全市民		区	分				単 位	目標(見	込)値	目標	(見込)値	目標(5	見込)値		
横			全市民	77 ~V D/U	77 (14%/			入心				一			
#			(1)	 1日現在)			人						•	73,756	74,372
記数 記知症サポータ養成講座実施回数 回 10 10 15 15 15 15 15 15		多 指		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					,		,		,		
記知症サポータ養成講座実施回数 10 10 15 15 15 15 15 15		標	2												
Table Ta	設		認知症サポ						10		10		15		
定 動 指 指 で ② 認知症初期集中支援業務終結ケース数 年度内に終結したケース数 認知症簡易チェックサイトの周知 認知症をサポーター人数 認知症サポーター人数 認知症サポーター人数 認知症サポーター養成講座受講者数(3月31日現在) 件 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		活	1			:)								15	15
実積 ではます。 ではます。 作用を使用に終結したケース数 作用を使用に終結したケース数 作用を使用に終結したケース数 作用を使用に終結したケース数 作用を使用に終結したケース数 作用を使用に終結したケース数 のののではます。 ののではます。 ののではます。 <t< th=""><th>定</th><th>動</th><th></th><th></th><th></th><th>-/</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<>	定	動				-/									
実 認知症簡易チェックサイトの周知 回 3 3 3 1 1 機 認知症チェックサイトの情報を広報等で周知した回数(3月31日現在) 日 1 1 1 1 機 認知症サポーター人数 認知症サポーター養成講座受講者数(3月31日現在) 人 400 400 400 400 400 認知症簡易チェックサイトの閲覧件数 認知症簡易チェックサイトを閲覧した人数(3月31日現在) 月,000 9,000 9,000 9,000 9,000 認知症簡易チェックサイトを閲覧した人数(3月31日現在) 人 3,806 3,996 3,339			(2)		/ / 双		件							1	1
実 標 3 認知症チェックサイトの情報を広報等で周知した回数(3月31日現在) 回 1 1 1 1 成果 認知症サポーター人数 人 400 400 400 認知症サポーター養成講座受講者数(3月31日現在) 人 364 255 307 指標 認知症簡易チェックサイトの閲覧件数 9,000 9,000 9,000 認知症簡易チェックサイトを閲覧した人数(3月31日現在) 人 3,806 3,996 3,339			初车中的		1										
実成します。 認知症サポーター人数 400 400 400 減額 認知症サポーター養成講座受講者数(3月31日現在) 人 364 255 307 指標② 認知症簡易チェックサイトの閲覧件数 9,000 9,000 9,000 認知症簡易チェックサイトを閲覧した人数(3月31日現在) 人 3,806 3,996 3,339		標	3			コロケン			3				3	1	1
積 ではます。 はます。 はまます。 はままする。 はまます。 はまます。 <th>実</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>可加しに凹数(3月31)</th> <th>1死性)</th> <th></th> <th></th> <th>400</th> <th></th> <th>•</th> <th></th> <th>400</th> <th></th> <th></th>	実				可加しに凹数(3月31)	1死性)			400		•		400		
積指 標認知症簡易チェックサイトの閲覧件数 認知症簡易チェックサイトを閲覧した人数(3月31日現在)9,000 3,8069,000 3,8069,000 3,9969,000 3,339		成	1		主光 粉 (o 口 o d 口 TE	1+-1	人			1				400	400
標② 認知症簡易チェックサイトを閲覧した人数(3月31日現在) 人 3,806 3,996 3,339 3,700	繕	果毕	認知症サポーター養成講座受講者			(仕)) /								
	小只	標 ②					人			ļ	,		•	3,700	3,700
	CHCTAIN	APLE	認知症簡易		した人数(3月31日	現在)			3,806 3,996 3,339						

SUSTAINABLE DEVELOPMENT
GOALS

2000*CRITC
BEFORL

INTERNATIONAL CT

評	1 認知症サポーター養成講座 (1)実施回数								
価	(2)	19回 受講者数							
年	(3)	307人 対象者 白治会 営持	:、市民向け講座、見守り声	쇠나粪症 士竝문사년					
度	2 認	ロル云、子や 知症イベント 実施回数	:、中民国の調産、兄守り戸1	野 / 講座、川					
の		大旭回数 1回 参加者数							
主		シ加音数 26人(定員30 対象者	人)						
な		全市民							
取									
組									
	Þ	☑ 分	評価結果	判断理由(特記事項)					
	妥	対象·手段	☑妥当 □要検討	認知症に関する知識の普及・啓発や軽度認知症の人の早期発見と早期治療につなげることにより、認知症になっても住み慣れた地域での生活を続けていくことにつながるため、対象・手段、意図は妥当である。					
事	当	意 図	☑妥当 □要検討	認知症の総合的支援を行うために、実施主体が市であることは妥当である。					
	性 役割分担 (行政関与		☑妥当 □要検討	応加速の応占的又接で1] ガこのに、天肥工体が用でめることは女当でめる。					
		種別	126 67%	評価指標(指標性質)					
業				□ 認知症サポータ養成講座実施回数 ★★★★ ★★★★ ★★★★★ (増加日標指揮) 郷わ遠ばされた 遠ばされた					
	.,	成成果	76.75%,	(福加日標日標) (株はほぼさん) (上げた) (125%					
	効	指標	達成度がやや低い	(増加目標指標) 概ね達成された 達成度がやや低い 100% 認知症への理解を進めることにより、認知症本人やその家族が住みやすいまちづくり					
評	性	成果向上の 余地	☑あり □ なし	総知证への理解を進めることにより、総知证本人やでの家族が任みやすいまち Jくり ができることから、上位施策への貢献度は高い。					
		上位施策へ の貢献度	☑あり □ なし	50%					
価	効	単位当たり コスト 変動率	66.17% 減少している 183,824.21円	記知症サポータ養成講座実施回数 150% 150% 150% 150% 150% 150% 150% 150% 150% 150% 150% 150% 125% 150% 125% 1					
	率性	コスト改善の余地	□あり ☑ なし	認知症キャラバンメイトの報償費、認知症初期集中支援業務委託料については、人件費が主なものでコスト改善の余地はない。また、受益者負担を求めるものではないため、適正化の余地はない。					
		受益者負担 適正化 の余地	□あり ☑なし	50% — — — — — — — — — — — — — — — — — — —					
改		れまでの ・ 改善内容							
革改		を取り巻く環境 一ズの変化		Jスク(マイナス要素) 機会(プラス要素) 見込まれる。 市民が認知症への理解を深めることで、地域において認知症を患う方やその家族への支援が期待され、安心して生活を営むことができる。					
善善		政改革大綱 との関連 (検・確認)	本事業を安定して継続するなる。	るためには、対象となる高齢者やその家族への周知が重要であり、委託事業者や市、関係機関との連携がより必要と					
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止・休止 □ 終了・完了					
事への次	の場合	のうえで継続」合の展開方針	拉太	: □ 手段を改善(実施主体・手段の改善) □ 縮 小 □ 効率化					
方評 向価 性〉	(計	後の方針」 の説明 画内容等)	A forter House						
		次評価日	令和4年5月31日 ☑ 現状のまま継続	一次評価責任者 山口剛介 改善のうえで継続 他の事業に統合 廃止・休止 終了・完了					
<u>-</u>	「改善	後の方針 のうえで継続」 合の展開方針							
次評価		説 明							
	Ξ	次評価日	令和4年6月22日	Copyright ©2021 Yoshikawa City office. All Rights Reserved					

No.	4011	30
140.	7011	UU

	Ī	事務事業名	企業 担談員	護相談員活動事業					所管	亨部署	星名	健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係					
		初节木石	月酸怕談員	/13/7	·未 				事前	前評 征	五日	令和3年	F9月1	日 事前	評価責任者	山口 剛介	
基	喜	事業 期間	平成12年度	~ 末	卡設定	事業年	- 齢 21歳	莡	根抄	処法令	冷等	吉川市介	護相	談員設置	要綱		
	基と	関連付け	☑ 有			無			事業	業区	. 分	□ 法定	E受託	事務	√ ≜	治事務	
	本の	の まちづくり目標	第2章 元気・個	健やか・幸	幸せのまちづ	くり(健	康福祉部門	၅) 事	事務事	事業σ	の性質	☑ 毎年	F度繰	<u> </u>	□単年度□]複数年度	
	計員	期 施 策	第3節 いきい	き暮らせ	る高齢者福	祉の推	推進		直接	妾事業	走費	☑ 有	-		無		
本	画係	施策小項目	(1)高齢者の社	社会参加·	の促進			3	予	会計	区分	介護保険	美特別:	会計			
平	実施	計画の位置付け	□有		V	無			算 科	款	項	地域支援	姜事業	 費	地域支援事	 ·業費	
		まち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無						件	目	細目	包括的支	援事業	 ·任意事業	美費 任意事業		
		計画の位置付け		高齢者福	 畠祉計画					 行 方	1	直営					
			(直接の対象)特別	」 別養護老人	人ホーム、介	護老人作	保健施設、										
事	目	対象(業を何な)	ループホーム、介	*護付き有: 終的な対象	ī料老人ホー⊿ 象)介護保険ネ	ュ、ショー 被保険 ^ま	<i>−</i> トステイ 考										
		(誰を、何を)	対象年齢 60		60歳以上	X Mary -	<u> </u>		手						設に介護相談員	が毎週1回訪問	
		意図								のよう を行う(うな			一ムは月1田談員連絡	1回)。 各会を開催する。		
	的		介護相談員が施設で不満を聞き、施					07	サハ、	Z 13 2 -	1715 /	E 1471.1	의기호		江本で内田とりもの		
項		なってほしい			MC INC STATE	C/ 11/1 -	3 ** 14	'									
***	-	類似事業	┃					+	- ナ: 業	を必ず	ロセス	河右		30210301	介護相談員活動	 新車業	
		年度事務事業		401130 <		<u></u> 活動重	<u>**</u>		主な業務プロセス ☑ 有 □ 無 3021030 CP戦略プランとの関連 □ 有 ☑ 無			0021000.	月夜1000只/13	沙			
	נימ	十戌尹仂尹不	<u>``</u>		介護伯談員/ 令和1年度				干入中山	, ,,,			<u> </u>		人们人生中	人和广东	
	区分	分 区	⊠ 分		和2年度 算(千円)	子介	算(千	四)		和3年度 算(千円)	増減	額(千円)	令和4年度 当初(千円)	令和5年度 計画(千円)			
	_	① 事 業	 集 費	-	決算(千円) 1,997		377	1 7		2,186		昇(十口) 252		△ 125			
	Α	② 人 件			4,950		833	\vdash		833		827		△ 7		827	
投	Ļ				0.64人	_	0.11人		0	.11人	-	0.11人		0		0.11人	
		下職員			4,950	o	833			833	;	827		Δ 7	827	827	
	タル	会計名	年度任用職員人	件費		1_							<u> </u>	0			
,	□	③ 間 接							_	_				0	<u> </u>		
入	スト	9 - 1 / 1 /				\mathbb{I}_{-}								0			
		U		- (4))	6,948		1,210	<u> </u>	:	3,019	+	1,079			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u>'</u>	
		⑥国庫支			768		145	ļ		841	4	97		△ 48			
資	В		員投入人員 員人件費 年度任用職員人件費 経 費 (加算) 対象外 (除外) コスト計(①+②+③-④) 支 出 金 甫 助 率 出 金 甫 助 率 債		38.5/100		38.5/100		38.5	5/100		38.5/100		4 00	38.5/100		
		⑦ 県 支 出			38 ² 19.25/100		72 19.25/100		10 OF	421 5/100		49 19.25/100		△ 23	419 19.25/100		
	特定				19.20/ 100	 	19.25/ 100		19.20	<u> </u>	 	19.25/ 100	-	0		19.20/ 100	
	定財	^{8 m} 9 そ の			461	1	86			503	,	58	`			501	
源	源			料等)		+					+	*		0	+	-	
						1							 				
	С		負担経費(A-B		5,335	5	907		-	1,254	,	875		△ 32	1,247	1,247	
	D	補助・単	単独 区分		□ 全額補助	助	✓ –	部補助	力		補助	事業の上	乗せ・柞	黄出しあり	□ 吉	川市単独	
			着 標	名	(上段)				和1年			和2年度		和3年度	令和4年度	令和5年度	
	区分	分	- - 算 式 • 説		(下段)		単位	目標	票(見辽	진)値	目標	票(見込)値 実績値	目標	(見込)値 に績値	計画(見込)値	計画(見込)値	
目	\Box	 _ 65歳以上の		L/J	(下权)			ラ	実績値	<u></u> 7,090		美積値 17,509		€積値 18,125			
	対(1)	高齢者数(各年)				人	 			-	17,309		17,566	17,701	17,837	
標	象_ 指	00 成 以 工 切	高即 伯奴(省十)	<u> </u>			<u> </u> !			7,173	┼	17,402	├─	17,000	 	 	
	標(2					-	<u> </u>			↓		<u> </u>		_		
設							<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>		<u> </u>				
100	活(介護相談員	の人数				人			14		14		14	14	. 14	
_	冶	介護相談員	の人数(3月31日	 現在)] ^ '		_	14		13		11			
定	動	介護相談員	訪問施設数				ヶ所		-	7		8		8			
	指	介護相談員	日談員が同心試数 日談員が訪問する施設数(3月31日現在)							7	,	7		6	8	8	
•					+	\vdash	—		+-		-						
	標(3			- '	 			\vdash		1		-				
実	\vdash	^ =#±□=k 므	□沙吕 〒 田 坂							22.00		100.00	├─	100.00	 	1	
	成((1)	護相談員訪問率					<u> </u>		00.00	1	100.00		100.00	100.00	100.00	
	果	介護相談員の	護相談員の訪問する施設(特養、GH)の割合(3月31日現在)					<u> </u>		85.70	,	0		0			
績	指標(<u> </u>					'										
	1示(2)					1 '								1		
SUSTAINA			3 すべての人に 健康と揺在を										1				
GOA			-W•														

						于水县 / 心 % 。	ヘルテベス/ に	加州又汲于木 正心于木具						
評価年度の	 ※令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、施設への派遣を見合わせている。 1 訪問頻度 (1)特別養護老人ホーム5カ所:月2回 (2)介護老人保健施設1カ所:月2回 (3)グループホーム2カ所:月1回 2 相談員数 (1)令和3年度:11名 3 報償 (1)1日2,000円 													
主														
+>														
な														
取														
組														
	Þ	☑ 分	評価結果	大声巻は佐部におは7人藩共 じ		理由(特記事項		早が佐訊1記名の担談担手						
	妥	対象·手段	☑妥当 □要検討	本事業は施設における介護サービとなり入所者の悩みや不満の解消										
事	当	意 図	☑妥当 □要検討	民間事業所の運営する施設入居者を対象とした事業であり、公平性の観点から市の役割分担は妥当である。										
	性	役割分担 (行政関与)	□ ☑ 妥当 □ 要検討	氏间事業別の建善する心故八店省で対象とした事業ものが、公平はの転点がり間の反割力担は女当ものる。										
		種別	令和3年度	評価指標(指標性質	質)	令和1年度	令和2年度	▲活動 ●成果						
業		目活動	75.00%, ★★★	② 介護相談員訪問施設数		100.00%,	87.50%, ★★★★	150%						
木	有	標指標	★★★ 達成度がやや低い	(1)	増加目標指標)	★★★★★ 達成された	概ね達成された	405%						
		成成果指標	0% ★	① 介護相談員訪問率		85.70%, ★★★★	0% ★	125%						
	効	10.1%	達成度がかなり低い	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	増加目標指標)	概ね達成された	達成度がかなり低い	100%						
評	性	成果向上の 余地	☑あり □ なし	前向他放を増やすことで、成条例。 	上か兄込まれる。			75%						
		上位施策へ の貢献度	☑あり □ なし					50% R2 R3						
		単位当たり	令和3年度 104.02%	単位当たりコスト換算	指標	令和1年度 99.78%	令和2年度 17.42%	変動率						
		コスト 変動率	若干増加している	介護相談員訪問施設数		89.70% ほぼ変動していない								
価	効		179,830.17 円	活動指標 を単位として換算 事業費の主なものは介護相談員の	単位:円/ヶ所 D報償に係るもの	992,514.43 円 であり、コスト改割		100%						
	率	コスト改善の余地	□あり ☑ なし	また、受益者負担を求める性質の	ものではない。									
	性	受益者負担						75%						
		適正化の余地	□あり ☑なし					50% H31 R2 R3						
改		れまでの i・改善内容												
革			IJ	スク(マイナス要素)			機会(プラス要	(素)						
·		取り巻く環境 一ズの変化	介護相談員の確保が難しく	なっている。		を実施することに 一ビスの質が向		情神的負担を軽くできるとともに						
改	(人の支に												
善	d	政改革大綱 ≤の関連 〔検・確認〕	感染症対策により活動が制 	限されるため、そのような状況下で	きも活動できる方気	を検討する必要	҈がある 。							
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	統合 🗌 🛭	廃止·休止	□ 終了·完了						
事へ業一の次	「改善	のうえで継続」 合の展開方針	╽拡大	★ 縮 小	□ 効率化									
方評 向価 性)		後の方針」 の説明 画内容等)												
	_	次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	山口	訓介								
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	·····································	廃止·休止	□ 終了·完了						
二次		のうえで継続」 合の展開方針	拉太	□ 手段を改善(実施	★ 縮 小	□ 効率化								
?評価		説明												
	=	次評価日	令和4年6月22日	Copyright ©2021 Yoshikawa City office. All Rights Reserved										

事 務 事 業 評 価 シ - ト

No.	4011 31

	重	≨務事業名 ■	成在終目人	成年後見人利用支援事業				所管部署名			星名	健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係					
	7	物甲木 石	八十夜元八	• Т Ч/ТЗ	义 阪 中 不				事	前評価	五日	令和3年	年9月1日	日 事前	評価責任者	山口 剛介	
基	事	業期間	平成15年度	~	未設定	事業年	= 齢 18歳	麦	根护	拠法令	冷等	吉川市が	个護福	祉総合条件	列		
	基と	関連付け	☑ 有			無			事	業区	. 分	□法□	定受託	事務	√ ≜	治事務	
	本 σ.	すちづくり目標	第2章 元気・	健やか	い幸せのまちて	うくり(健	康福祉部門	吗) [事務	事業σ)性質	☑ 毎年	年度繰り	/返し [□単年度□□	〕複数年度	
	計関		第3節 いきし	ハき暮ら	らせる高齢者補	富祉の抄	佳進		直	接事業		☑ 有			□ 無		
本	画係	施策小項目	(2)高齢者の	日常生	活の支援				予	会計	区分	介護保障	食特別 :	会計			
ΑΤ .		計画の位置付け	□有		√	無			算科	款	項	地域支持	爰事業?	 費	地域支援事	業費	
		まち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無						目	目	細目	包括的支	援事業	•任意事業	業費 任意事業		
		計画の位置付け	☑有□無	高齢ネ	者福祉計画				執	行 方	i 法	直営					
			・65歳以上で知的障点・介護福祉を利用又に			者											
事	目	対象(誰を、何を)	・配偶者及び4親等以・市が審判請求した者	以内に親族		をの見込み	ょがない者										
		(部性で、1PJで/			99 65歳以上						没				こ対し審判の請求		
		意図				-				どのよう きを行うの		│が決定し │する。	た後、被	貨後見人か	「後見人に支払う	服酬を市が助成	
	的	(対象にどのような状態に	市が裁判所に審					<u> </u>				, ••					
項		なってほしいのか)	により、身寄りの	ない高	節百の惟利か!	推護され	<i>,</i> る。										
	孝	領似事業	□有☑無	T				=	主なま	 業務プ	゚ロセス	↓ ☑ 有		30212201	成年後見制度	 利用支援事業	
		年度事務事業	☑有□無	11 成年後見人	利用支	摇事業		CP戦略プランとの関連 □ 有 ☑ 無			7W 1 10000000	19702					
	13.5	FIX T 30 3 313					和2年度	=	1 1/2			和3年度			令和4年度	△和□左在	
	区分	}	⊠ 分	令和1年度 決算(千円)		和2年度 算(千円)	予	算(千	-円)		和3年及 <u></u> 算(千円)	増減	額(千円)	」 予和4年度 当初(千円)	令和5年度 計画(千円)		
	Α	① 事 業	· 費		1,03	_	750			1,874		1,097		347			
	^	② 人 件	費		92	_	985	-		985	+	1,202	+	218			
投	1		員投入人員		0.12		0.13人		(0.13人		0.16人	-	0.03人	0.16人	0.16人	
			員人件費		92	18	985			985	,	1,202	2	218		1,202	
	ル		年度任用職員人]	!				<u> </u>		<u> </u>	0			
入	コス		経費(加算)			\bot	!	<u> </u>			<u> </u>			0			
~	ト		対象外(除外) 75計(①±②±②		1.01		1 725	<u> </u>		2.050	 	2 200		564		2 412	
		(5)トータルコス ⑥国庫 3	スト計(①+②+③)—(4))	1,95		1,735	1		2,859 721		2,299		564 134	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	
			支出金 前助率		39 38.5/10	_	288 38.5/100	1	38	721 .5/100		422 38.5/100		134	851 38.5/100		
資	В	②県支出			38.5/10	_	38.5/100	-	30.	.5/100 361		38.5/100		67			
	特		<u></u> 助 率		19.25/10		19.25/100	1	19.2	.5/100		19.25/100			19.25/100		
	定	⑧市	<u> </u>		•	+	10.21			<i>5,</i> .	+	TO.L.C.	+	0			
源	財源	9 そ の	他		23	18	172			431		252	252		508	508	
/////	小小	① 受益者負担	担額(使用料・手数	H		士			_					0			
			者負担率(⑪÷億														
	С		負担経費(A-B	3)	1,12		1,131			1,346		1,414		283			
	D		単独 区分		□ 全額補	助	✓ —:	部補具				事業の上				川市単独	
	区分	指	標	2	名 (上段)		単 位		3和1年 標(見)			和2年度票(見込)値		和3年度 (見込)値	令和4年度	令和5年度	
目	区/。		算式 : 説	ź F	明(下段)		·		標(見) 実績(実績値		(兄込)他 	計画(見込)値	計画(見込)値	
	1.1	65歳以上の	高齢者数				,			17,090		17,509	,	18,125		17.007	
	対 (1 象	65歳以上の	高齢者数(各年)	 ·度末)			一人		1	17,173	3	17,432	2	17,566	17,701	17,837	
標	指		<u></u>				+				†		+				
	標 ②	2)					- '				+		+-		1		
設		_ 成年後見人	<u></u> 判审利用 老				+	├─		5		5	_	5	_		
	活①	1)					人								5	5	
定		成年後見入	制度において報	側を文	払った者		<u> </u> '	<u> </u>		4	1	3	-	4			
	動 2	2)					_				<u> </u>		<u> </u>				
_	指		審判請求を行った件数														
	標(3							_			Γ] _				
	你	3)															
実		審判請求を								3	<u> </u>	3	3	3			
	成日	1)									_		+	2	3	3	
績	果_ 指	111/17八下区。	市が成年後見の審判請求を行った件数					 			+		+			 	
1,50	標 ②	2)———									 		—		-		
			<u></u>					<u></u>			<u> </u>		<u> </u>				
SUSTAINA DEVELOPA GOA	MENT		3 すべての人に 健康と福祉を														
2030年に向けて 世界が合理した 「労務可能な開発日			-w*														

	概要															
評	福祉					ロ症高齢者や知的障碍者、精神	章害者を対象として	、成年後見人等を	と付すため、市が	審判の請求?	を実施し、被後見					
価	人等か 1 対象		:見人等	等に支払う報	設酬を助成するが	起策 。										
ІЩ	次の	すべて	の要件	を満たす者												
年				有する者 新知的障碍	者又は精神障害	巨 老										
度	ゥ	介護福	祉を利	川用し、又は	利用しようとする	者										
						れらの者による保護の見込みが 判の請求が必要と認められる者										
の					又は巾による翟 酬の支払いが[
主	2 補		0.000	n / / / 179	15											
+~		当/こり33	6,000F	円/年(上限	()											
な																
取																
組																
447																
	D	<u> </u>	1	評价	価結果			f理由(特記事項								
		44	H P	<u>।</u> स		本事業は権利擁護の点から申し行うものであり、対象・手段、意		がいない高齢者に	二対し、成年後見続	制度利用の国	助成や申し立てを					
	妥	対象・	于段	☑妥当	□要検討	付づものであり、対象・十段、息!	凶は女ヨである。									
事	当	意	図	☑妥当	□要検討											
#						対象者の成年後見人の申立てた	など必要な手続きは	、市が行うもので	あるため、役割分)担は妥当で	 である。					
	性	役割分		☑妥当	□要検討	対象者の成年後見人の申立てなど必要な手続きは、市が行うものであるため、役割分担は妥当である。										
		(行政	関与)													
			種別	令和	和3年度	評価指標(指標	生質)	令和1年度	令和2年度	▲活	動●成果					
ы		目	活動	80	0.00%,	① 成年後見人制度利用者		80.00%,	60.00%,	150%						
業	有		指標		★★★ É成された	♥	(増加目標指標)	★★★★	★★★ 達成度がやや低い							
	"	ᆄ	1		<u>ERCされいこ</u> 6.67%,		(培加日保田保)	33.33%,	33.33%,	125%						
		由	成果 指標	*	**	① 審判請求を行った件数		**	**	100%						
	効		10 10	達成度	がやや低い	この事務事業を実施することで	<u>(増加目標指標)</u> ^{真齢者の梅利擁護!}		達成度が低い F位施等への意	100%						
		成果向		□あり	☑ なし	献度は高い。	司団『日 リノ作作リ]発成し	C 2/4/1/0/2005.	工位旭泉、〇貫	75%						
評	性	赤山	판													
		上位施		☑あり	□なし					50%	R2 R3					
		の貢献	献度	E 657	_ <i>*</i> C					H31	R2 R3					
		単位当	4たり		13年度	単位当たりコスト換	算指標	令和1年度	令和2年度	150%	変動率					
		コス	۲,		9.40% 動していない	成年後見人制度利用者		39.72% 減少している	118.05% 増加している	150%						
価	効	変動]平		64.50 円	活動指標 を単位として換算	単位:円/人	489,791.50 円	578,213.00 円	125%	~					
	率	コスト	改善	_ + II	□ <i>t</i> si	成年後見制度の後見人報酬額い。また、このサービスは受益者	等は裁判所で決定を	されており、コスト	削減の余地は無	100%						
	性	の余	地	□あり	☑ なし	い。よた、このグーと人は文画を	1 見担で水のでは良	OF TOP CIARGO.		75%	/					
	'	受益者														
		適正の余		□あり	☑なし					50% H31	R2 R3					
		077]														
改		れまでの														
以	改革	₫•改善内	内容													
革					IJ	スク(マイナス要素)			機会(プラス要	(素)						
_				対象となるの	35歳以上の高齢	者の増加が見込まれる。	本事第	美により、成年後5	見人申立てに係る	対象者の金	銭的・精神的な負					
改	やニ	ーズの変	发1亿				担をも	くすことか ぐざ、!	必要な権利を擁護	19 ることかり	じさる。					
	%∓8 ±	政改革:	- 4Ø	事業を必要	とする高齢者を	早期発見するため、庁内や関係	機関との連携を進め	りていく必要があ.	る。							
善	٤	上の関連														
	(点	検・確認	忍)													
	_	※ の士	ΔI		状のまま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	統合 □ □	・ 発止・休止		終了·完了					
事へ		後の方			p (1 0 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1	<u> </u>										
業一		のうえで			並太	□ 手段を改善(実	施主体・手段の改	(善)	☆ 縮 小	<u>*</u> 3	効率化					
の次 方評		後の方														
向価		の説明														
性~		画内容		△ 1=	4/E E E O 4 E	_ == \(\tau \) = \(\tau \) = \(\tau \)		7711 A								
		次評価	Н		4年5月31日	一次評価責任者										
	今	後の方	針	☑ 現	状のまま継続	□ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	統合 □ 5	桑止•休止		終了·完了					
_		のうえで			<u> </u>	*	14-2-11	L#\		<u>*</u>	±1 → 11.					
次	の場合	合の展開	方針		立 拡 大	単 手段を改善(実	他王体・手段の改	以香)	篇 缩 小	<u> </u>	効率化					
評		説明														
価		ᇌᇄ														
	=	次評価	日	令和	4年6月22日		Conv	right ©2021 Voch	ikawa City office	All Rights I	Reserved					

No.	4011	32

	3	事務事業名	 位置情報提供+	ナービス利田	支 [[車業	所管部署名		健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係					
		F 切 于 木 ′u	区值情報促伏:		义1及*	**	-	事前評値	西日	令和3年	E9月1E	事前	評価責任者	山口 剛介
基	=	事業 期間	平成3年度 ~	未設定	業年	鈴 30歳	₹	根拠法4	令等	介護福祉	L総合象	€例、介護	護福祉総合条例	施行規則
	甘	関連付け	☑ 有		無	•	=	事業 🗵	☑分	□ 法定	受託事	務	▽ 自	治事務
			第2章 元気・健や	か・幸せのまちづく	くり(健康	康福祉部 門	事:	務事業の	の性質	☑ 毎年	度繰り	返し	□単年度□	複数年度
			第3節 いきいき暮	らせる高齢者福	祉の推	進	Ī	直接事業	業費	☑ 有			□ 無	
基	系 施策小項目	(2)高齢者の日常な	生活の支援			予	会計	区分	介護保険	特別会	<u></u>			
	 計画の位置付け	□有	V	無		算		項	地域支援	事業書	<u> </u>	地域支援事	業費	
	7	まち・ひと・しごと	□有☑無	_			科 目	·	細目				費 任意事業	
		総合戦略との関連 計画の位置付け		 :者福祉計画				<u>' ''</u> 孰 行 方		一部委託		ヒコムに		
	四刀	加固の区區1717					1	P/ 11 /2	ГД	विस्त्रवा	L (IA)	E-1-41C3	X 11	
事	_	対象	徘徊等がある要支援者	皆及びその家族										
	日	(誰を、何を)	→ 毎 左 ★ 0.5	00 0545131.1				手具	没	位置焓索	機哭(€	DC端丰)	を貸与し、利用者	・が徘徊に上げた
		意図	対象年齢 65	99 65歳以上				(どのよう	5な	方不明に	なった場		ターネットを利用し	
		(対象にどの	一人暮らしなどの高齢	者が徘徊により所	在不明	になった場	百	業を行う	のか)	置を検索	する。			
	H':		に、家族が高齢者を発 環境の向上と家族の7	見できるようにして K安解消につかが	、本人 、	の在宅生活	舌							
項		のか)	東先の 引工に永元の		.						1		1	
		類似事業	□有☑無				主な	は業務プ	ロセス	. ☑ 有	無	30211501	位置情報提供サー	-ビス利用支援事業
	前	年度事務事業	☑ 有 □無 40113	32 位置情報提供サ	ービス	利用支援事	業 CP	戦略プランと	≤の関連	□有Ⅰ	✓ 無			
	ı∡,		ヹ 分	令和1年度		口2年度				和3年度			令和4年度	令和5年度
	<u>~</u>			決算(千円)		(千円)	予算	(千円)		算(千円)	増減額	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
	Α	① 事 業		656		716		761		878		161	975	
坎		② 人 件		77		227		227	-	301		73	301	301
1X	lί		員投入人員 員人件費	0.01人		0.03人 227		0.03人 227		0.04人 301		0.01人 73	0.04人	0.04人
		스타	_{員へ行复} 年度任用職員人件費			221		221		301		0	301	301
			<u> </u>									0		
入			対象外(除外)									0		
	۲		スト計(①+②+③-④)	733		944		988	3	1,178		235	1,276	1,276
		⑥国庫 5	支 出 金	252		275		289)	338		63	375	375
次	_	国補	崩 率	38.5/100		38.5/100	(38.5/100)	38.5/100			38.5/100	38.5/100
貝		⑦県 支 と	i 助 率 出 金	126		137		145	5	169		32	188	188
			財 率	19.25/100	1	9.25/100	19	9.25/100)	19.25/100			19.25/100	19.25/100
	定时	⑧ 市	債									0		
源	源	3 6 07		152		164		173	+	202		38	224	
			担額(使用料・手数料等)			13		1.01%		30		17		
	_		者負担率(⑩÷⑤) 負担経費(A-B)	0.82%		1.38%		1.01%		2.55%		85	2.59% 2.59 5 456 45	
			单独区分	□ 全額補助			部補助	3/I		事業の上				456 川市単独
		指		名(上段)	J.]]1年度		和2年度		13年度	令和4年度	令和5年度
	区:		日	石 (工权)		単位		<u>II 平及</u> 見込)値		[[見込]値 		見込)値		
目			・算式・説	明 (下段)			実	績値	5	実績値	実	績値	計画(見込)値	計画(見込)値
	44	65歳以上の	高齢者数			人		17,090)	17,509		18,125	17,701	17,837
煙	象	65歳以上の	高齢者数(各年度末))				17,173	3	17,432		17,566	17,751	17,007
IN	指揮													
	示	۷												
		機器貸与者	 :数					12	<u>.</u>	12		14		
	活	(1)	コ現在の機器の貸与	 者数		人		13	2	13		19	19	19
定	動	A 1 0/1011		<u> </u>										
		2												
	指_													
	標	3												
美		位置情報提	供システム利用件数			/tL		900)	900		900	000	000
	以 果	① 毎年3月31日現在の位置情報提供システムを利用する家族の位置検索件数				件		989		964		690	900	900
績	指								1					
	標	2							1					
SUSTAIN	ABLE		3 すべての人に 健康と程とを					-	1		<u> </u>	-	<u> </u>	<u> </u>
GOA	LS		→ 人											
2030年に向けて 世界が合理した 「外級可能な関係日			- ₩•											

		年度の	利用状	況												
評		与端末	- 10													
/717		継続 1														
価		新規 9 [.] 中止 3 [.]														
年		甲正 3 用件数	1+													
+			ネット	こよる位置核	全素 690件											
度				}せ 0件												
12	(3)	現場急	行 0件													
の																
主																
+>																
な																
取																
4^																
組																
	D	ζ .	分	評価	価結果		判断	f理由(特記事項	5)							
		Ī		н	IM (I I I I I	本事業は徘徊のある高齢者に対				事故の未然防止につながるた						
		対象・	手段	□妥当	②要検討	め、対象・意図は妥当であるが、										
	妥		•													
	当	意	図	☑妥当	□要検討											
事	=															
						IT機器の発達により、民間事業者による類似サービスがあるため、役割分担についても検討の余地がある。										
	性	役割		□妥当	☑ 要検討											
		(行政	関与)													
			4# Dil	A 4	- 10年 1	5.7. (TT +15.1 TT - / 15.1 TT - 1.1	· 后 \		△ 1500 F #	A PER PER						
		目	種別		回3年度 5.71%.	評価指標(指標性	.貝)	令和1年度 108.33%.	令和2年度 108.33%,	▲活動 ●成果						
業		1 ===	活動		3./1%, ★★★	① 機器貸与者数		108.33%, ★★★★★	108.33%,	150%						
*	有	達	指標		はされた		(増加目標指標)	達成された	達成された							
		成			6.67%,	'	(石川日保田保)	109.89%,	107.11%,	125%						
		度	成果		5.07%, ★★	① 位置情報提供システム利用]件数	****	****							
	効	/2	指標		がやや低い		(増加目標指標)		達成された	100%						
	""	_6 = 4		2		サービス内容の周知を図ることで			12.700 1510							
		成果向 余		☑あり	□ なし					75%						
評	性	赤	地		_											
		⊢ / ÷ ₩	t.华.			50% ————										
		上位が の貢		☑あり	□ なし	50% ————————————————————————————————————										
		の兵	州八文													
		単位	当ナーい		口3年度	単位当たりコスト換算	「指標	令和1年度	令和2年度	変動率						
		ーコス			5.44%	機器貸与者数		88.29%	128.72%	150%						
1==	効	変重			している		₩/± m/1	減少している	増加している	125%						
価	XXJ			62,0	12.95 円	活動指標を単位として換算	単位:円/人	56,384.62 円	72,577.08 円							
	率	コスト	·改善	回あり	□なし	事業費は主に機器レンタル料となる初期費用のみとなっており、経常			い。利用有負担は	100%						
	性	の剣	於地	V 009	□ & C	別別受用のためっての 八配品	受/100 英严严正 1			75%						
	I I I	受益者	5 色 扫							75%						
			E化	☑あり	□なし					50%						
		のá	è地		_					H31 R2 R3						
	_	れまで	の													
改		· 改善														
革						スク(マイナス要素)		_	機会(プラス要							
				対象となるの	65歳以上の高齢	合者の増加が見込まれる。	本事業	のサービスを提供	することで、対象者	やその家族が安心して日常生活 高めることができる。 通信技術の						
改	やニ	ーズの	変化				を含む 進化に	ここか じさるとどむ	こ、身体の安全性を 幾器の提供ができる	、同めることかできる。選信技術の ようになる。						
以				古典ナツ西	レナフラやセナ	日田公日ナフォル ごって中に										
	行財	政改革	大綱	争耒を必要	⊂9 る局節者を	早期発見するため、庁内や関係機	8)対との連携を進め	ひていく必要かあ	ර ං							
善		上の関連														
	(点	検・確	認)													
					11 0 + + Abb A+	ロルギのここーがか	□ ルの古典:	/ ±∧ □	支上							
	今	後の方	i針	□規	状のまま継続	☑ 改善のうえで継続	□他の事業に	統合 □ □	廃止•休止	□ 終了·完了						
事へ	「改美	のうえで	継続」			 			+							
業一		合の展開			□拡大	☑ 手段を改善(実施)	拖主体・手段の改	(善)	☆ 縮 小	→ 効率化						
の次方評		後の方		スマートフォ	ンの普及により	J、個人が簡単に安価でGPS機能を	E活用できるため、	利便性や費用対	効果について検討	正する必要が生じている。						
カ語		の説明			•											
性~		画内容														
		次評価	iВ	△和	4年5月31日	一次評価責任者	山口	訓介								
		八叶仙	H													
	슼	後の方	金	□現	状のまま継続	☑ 改善のうえで継続	□ 他の事業に	統合	廃止∙休止	□ 終了·完了						
						<u>l</u>										
=		のうえで 合の展開			並拡大	▼ 手段を改善(実施)	布主体・手段のみ	7善)	☆ 縮 小	★ 効率化						
次	の場で	ロの展開	カノ東			□ 14%€以音(天/	5-FT 1 4X 07 6)	\ \	□ will (1).							
評		=X 00														
価		説明														
		_== !-	_		· = = = =											
	_	次評価	1H	令和	4年6月22日		Conv	right @2021 Vack	ikawa City office	All Rights Reserved						

No.	4011 33
140.	1011 00

***		3) 介護支援用	日本	支給事業				所管部署名		i 1	健康長寿部 長寿支援課 高齢福祉係						
			产加予木 石	7 65又1及/1	m ×	.和予未			٩	事前評	価日	1 令	和3年	9月1	事前	評価責任者	山口 剛介		
本の	基	3	事業期間	平成13年度	~	未設定	事業年	三齢 20点	支	艮拠法	令等	吉」	川市介	護福神	业総合条	列			
# 20 本のでいます。		並	関連付け	☑ 有			無	•	Ę	事業	区 分		法定	受託	事務	√ É	治事務		
本		本	の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	・幸せのまち	づくり(優	康福祉部門	事) 事	務事業	の性	質	毎年	度繰り	J返し [□ 単年度 □]複数年度		
				第3節 いきし	き暮ら	5せる高齢者	福祉の	推進	Ī	直接事	業費	V	有			□ 無			
####################################	基本計画 実情側 所別 区 A トータルコスト B 程定財派 C C 区 対象指標 活動指標 成果指	施策小項目	(2)高齢者の	日常生	活の支援			予	会	計区分	分一	般会計							
数数を記録と記録 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	Τ`	本		□有		√	無				(Ij	項 民	生費			社会福祉費	è		
### Para				□有☑無							細	田 高麗	齢者福	祉費		高齢者日常	高齢者日常生活支援事業		
日 日 日本 日本 日本 日本 日本 日本				☑有□無	高齢者				#	丸 行:	方 法	<u> </u>	邹委託	用	品の支給				
20	事	E			齢者の									A	I TO DO				
おいけい			÷ -	対象年齢 6	5 9	9 65歳以上の	の高齢者	†											
前年度等務事業 2 有	項	的	(対象にどの ような状態に なってほしい				ることに。	より、利用者											
図分 日本 中央			類似事業	□有☑無					主な	業務	プロセ	2ス 🔽] 有[□無	30312001	介護支援用品支給事業			
接分 送分 決算(千円) 決算(千円) 大変(千円) 大変(千円) 地域(千円) 計画(千円) 計画(土面) 計画(千円) 計画(千円) 計画(千円) 計画(十円) 計画(土面)		前	年度事務事業	☑有□無	40113	3 介護支援用	月品支給	事業	CP	线略プラン	との関	関連 🗌	有[三無					
A		EZ.	Д	7 /		令和1年度	令	和2年度			-	令和3年				令和4年度	令和5年度		
投		<u> </u>				決算(千円)	算(千円)	予算	(千円)	ì	決算(千	円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)		
下版員投入人員		Д																	
上版	垃	L																	
全計年度任用職員人件費	12	Ï										- 0							
大 1		-	스타		件費	3	07	373			7.5		731				751		
1.584 1.672 2.034 4.60 2.564 2.5		-													0				
1.309	入	_		対象外(除外)											0				
下で		_	(5) トーダルコ)-(4)	1,3	69	1,584		1,672			2,034		450	2,564	2,564		
								464							△ 464				
特定	資	Е		職員投入人員 職員人件費 計年度任用職員人件費 接 経 費 (加算) ト対象外 (除外) ルコスト計(①+②+③-④) 車 支 出 金 計補 助 率 支 出 金 計補 助 率 債 の 他 計算担額(使用料・手数料等) を計算担額(使用料・手数料等) を計算します。		-													
下できる		44					232							△ 232					
源 値 受益者負担額 使用料・手数料等)		行				19.20/1	00								0		+		
## ② *** ** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** ** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	NEE.	則	9 そ の			2	27	277						_			-		
C 吉川市年間負担経費(A−B) 575 611 1.672 2.034 1.423 2.564 2.564 D 補助・単独区分 全額補助 図一部補助 補助事業の上乗せ・横出しあり 吉川市単独 B	源	湯		担額(使用料・手数	(料等)									+		-			
D 補助・単独区分			受益:	者負担率(⑩÷億	5))														
指標 名 (上段)		С	吉川市年間	負担経費(A-E	3)					1,67					•				
E			補助・	単独区分		□ 全額補	助	✓ <u> </u>	部補助		」補	助事業	の上乗	きせ・村	黄出しあり		川市単独		
計算式・説明(下段) 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 対象		<u>.</u>		「標	:	名 (上段)		ж 14								令和4年度	令和5年度		
要介護度4及び5の者の数				- 算 式 • 説	į F	 明 (下段)		中 江			2 ⊨					計画(見込)値	計画(見込)値		
接			要介護度42	及び5の者の数						53	30		478		488				
標 ② サービス利用者数	+===		要介護度4次	 及び5の者の数(4	4月1日	現在)				46	69		485		499	514	, 530		
記して	徐	指																	
大		標	2													-			
活 ① サービスを利用している者の数(3月31日現在)	設		サービス利	 用者数				1		1	15		15		15				
大		活	(1)		つ 迷か (?			人								20	20		
指 ②	定	動	9 6721								10		14				+		
探 探			2																
実 成果 指標② 1,089,000 1,188,000 1,293,000 1,813,000 1,8		指																	
実 成果 指標② 1,089,000 1,188,000 1,293,000 1,813,000 1,8		標	3													-			
横 横 横 横 横 横 横 横 横 横											\perp						<u> </u>		
果 結付を受けた述へ総金額(3月31日現在) 919,426 1,139,618 1,282,988 1 標 ②		퍖	(1)					Щ	1	,089,00	00	1,18	8,000		1,293,000		1 813 000		
標② SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 3 MYCOALT	,,	果	給付を受けた延べ総金額(3月31日現在)						919,42	26	1,13	9,618		1,282,988	1,510,000	1,510,000			
SUSTAINABLE DEVELOPMENT STATE OF THE PROPERTY	績	指煙	<u> </u>																
GOALS		示																	
	DEVELOP	MENT		3 すべての人に 健康と権とを							•		l			•	-		
				- √ √ •															

								_						
評	概要 1 対													
	(1)	· 要介護4·5の認	恩定を受けた者											
価		在宅であること 市民税非課税	: 世帯であること											
年	2 支統	給方法		***********										
度	3 支統	給限度額		つや手袋等の用品と交換できる支給券を配布										
	月額	6,000円(税別)											
の														
主														
な														
取														
組														
	Σ	☑ 分	評価結果	判断	理由(特記事項)		Ξ						
				この事業は、要介護4、5の低所得者に対して必要な			担軽減を図るものであり、対	_						
	妥	対象·手段	☑ 妥当 □ 要検討	象・手段や意図は妥当である。										
事	当	意図	☑ 妥当 □ 要検討											
				社会福祉協議会で実施している紙おむつ支給事業の	と支給する用品と	対象者が一部重	複することから、事業の実施	Ì						
	性	役割分担 (行政関与)	□妥当 ☑ 要検討	体について今後検討を行う必要がある。										
		(1) 政策分/												
		種別 目 元和	令和3年度 113.33%,	評価指標 (指標性質)	令和1年度 106.67%,	令和2年度 93.33%,	▲活動 ●成果							
業		│ ╆ │活勁	↑↑3.33%, ★★★★★	① サービス利用者数	★★★★★	93.33%, ★★★★	150%							
	有	達 指標	達成された	(増加目標指標)	達成された	概ね達成された	125%							
		成度成果	99.23%,	① 給付総額	84.43%, ★★★★	95.93%,		il.						
	効	指標	概ね達成された	(増加目標指標)	概ね達成された	概ね達成された	100%)						
		成果向上の	□あり □ なし	カタログから選ぶことにより、個々の状況に合わせた ており、成果向上の余地はない。	と介護支援用品の	支給が行われ	75%							
評	性	余地												
		上位施策へ	☑あり □ なし				50%	12						
		の貢献度												
		単位当たり	令和3年度 105.75%	単位当たりコスト換算指標	令和1年度 89.07%	令和2年度 132,22%	変動率							
	4.1	コスト 変動率	若干増加している	サービス利用者数	減少している	増加している	125%							
価	効	2231	119,669.88 円	活動指標 を単位として換算 単位:円/人 要介護4、5の低所得者及び家族の経済的負担の軽	85,591.00 円	113,165.57 円								
	率	コスト改善の余地	□あり ☑ なし	の適正化は難しい。		の、又重日貝担	100%	•						
	性	受益者負担					75%							
		適正化	□あり ☑なし				50%	2						
		の余地					H31 R2 R3	3						
	-	れまでの												
改		•改善内容												
革			I J	スク(マイナス要素)		機会(プラス要	[素)							
#			介護保険地域支援事業の	任意事業としての要件を満たさなくなったた 要介護	4・5の認定を受け	トた低所得者に対	して、必要な介護用品を支給	ì						
改	やニ	ーズの変化	め、令和2年度をもって介記	護保険特別会計での予算計上を終了した。 するこの	とで、本人及び家	族の負担を軽減で	することができる。							
	行財		事業を必要とする高齢者を	早期発見するため、庁内や関係機関との連携を進め	っていく必要がある	5.								
善	ا	上の関連												
	(点	(検・確認)												
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に	統合 🗌 房	₹止・休止	□ 終了·完了	_						
事へ		のうえで継続」	▼	<u> </u>		+								
業一の次		合の展開方針	垃圾大	□ 手段を改善(実施主体・手段の改	(善)	縮小	□ 効率化							
方評向価		後の方針」 の説明												
性一		画内容等)												
	_	次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者 山口	副介									
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に	統合 🗌 房	₹止·休止	□ 終了·完了							
_		のうえで継続」		<u> </u>	<u></u>	<u> </u>	*							
次		合の展開方針	拉大	□ 手段を改善(実施主体・手段の改	(善)	縮小	□ 効率化							
評		説明												
価		,,, o . / j												
	=	次評価日	令和4年6月22日	Conve	right ©2021 Vochi	kawa City office	All Dights Doconyod							

No.	4012 01
140.	1012 01

	車	務事業名	企業 保险¥	介護保険給付事業					所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 介護給付係						
	#	初ず木石	刀設体疾机	ווין 🖚	· 木				事	前評価	五日	令和3年	₹9月1	日 事前	評価責任者	山口 剛介		
基	事	業期間	平成12年度	~	未設定	事業年	三齢 21 歳	表	根扣	拠法令	冷等	介護保障	美法、介	卜護福祉 総	8合条例			
	基と	関連付け	☑ 有			無			事	業区	. 分	□法□	已受託	事務	√ ≜	治事務		
	本の	まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	^・幸せのまちづ	くり(健	康福祉部門	門)	事務	事業σ)性質	☑ 毎年	F度繰り	- リ <u>返し</u> [□ 単年度 □	複数年度		
	計関		第3節 いきし	ハき暮ら	らせる高齢者福	継の推	進進		直扫	接事業	美費	☑ 有						
本	画係	施策小項目	(4)介護保険	事業の	充実				予	会計	区分	介護保険特別会計						
**		計画の位置付け	□ 有		4	無			算 科	款	項	保険給付	寸費		保険給付費			
		まち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無						目	目	細目	保険給付	寸費		介護保険給	;付事業		
		計画の位置付け	☑有□無	介護的	保険事業計画				執	行 方	法	一部委託	毛介?	護給付費の	審査支払業務を国	国保連合会に委託		
事	目	対 象 (誰を、何を)	要介護認定者(4)対象年齢 4		上の特定疾病者	を含む))			手 段					から請求された介	ト護給付費を点		
項	的	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	ようになる。	·適正な	介護サービスを	利用する	ることができ		事業	を行うの	のか)	検・審査し			1 <u></u>			
		頁似事業	□ 有 ☑無			*					ロセス			30220101	福祉用具の購入	入費の支給		
	前年	F度事務事業	☑有□無	40120	01 介護保険給	付事業	<u> </u>	(CP戦略	子プランと	≤の関連	፱ □ 有	☑ 無	<u></u>	<u> </u>			
	区分	, E	区 分		令和1年度		和2年度		/-			和3年度	111.2-6		令和4年度	令和5年度		
	<u></u>				決算(千円) 2.170.469	_	算(千円) 3.343.320	_	予算(千 2.65			算(千円)		額(千円)	当初(千円)	計画(千円)		
	Α	① 事 業 ② 人 件			3,179,468 13,840		14,315	1		56,546 14,315		3,621,462 15,178		278,142 863		1 1		
投	۲		<u>「₽</u> 員投入人員		1.79人	_	1.89人	+		1.89人		2.02人	-	0.13人	2.02人	2.02人		
			員人件費		13,840		14,315	1		14,315		15,178		863				
	タル		年度任用職員人			1								0				
2	⊐		経 費(加算)		1,84	7	1,770			1,707		1,669		Δ 101	1,825	1,825		
入	スト		対象外(除外)		0.105.10	_		<u> </u>	2.0:		<u> </u>		0			1 124 225		
		(5)トータルコン (6)国庫 3	スト計(①+②+③)—(4))	3,195,160		3,359,405	+		72,568	+	3,638,309		278,904				
			文 出 金 輔 助 率		566,202	-	600,619	-		98,240	-	640,960	+	40,341	696,497	746,104		
資	В	⑦県支出			467,53	7	489,379	_	56	68,920	,—	528,270	+	38,891	570,787	611,440		
	特	県補			· ·	+	,			,,,,,,	†		†		,	,		
	定財	⑧ 市	債			1							1	0				
源	財源	⑨ そ の			1,747,979	9	1,837,192		2,13	35,797		1,975,319		138,127		2,297,385		
	,		担額(使用料・手数					<u> </u>			<u> </u>		 	0				
	С		者負担率(⑩÷億]負担経費(A-E		413,442	2	432,215		2(69,611	 	493,760 61,545			594.837	539,136		
	D	_	」 東担性質(A一E 単独区分	3)	□ 全額補		•	' <u> </u> ·部補				事業の上			,	339,130 川市単独		
		指			名(上段)	93			令和1 ^左	<u> </u>		和2年度		和3年度	令和4年度	令和5年度		
目	区分	計	算 式 ・ 訪		明 (下段)		単位		標(見) 実績(込)値 値	目標	票(見込)値 実績値	目標	(見込)値 	計画(見込)値	計画(見込)値		
	対 ①	要介護認定					人	<u> </u>		2,199	-	2,359	1	2,647	2,911	3,202		
標	象 指	要介護(要3	支援)認定者数(各年度	<u>〔</u> 末〕 ————		'	↓_		2,247	↓	2,407	<u> </u>	2,564	<u> </u>			
設	標②						'	<u> </u>			<u> </u>		 					
以	·- (1	介護保険給	付費の通知件数	友			14			3,064	,	3,144		3,584		4.004		
	活①	介護保険給	付費の通知件数	数			件			3,144		3,357		3,494	3,826	4,084		
定	動	ケアプランチ	チェックの実施件	·数			1			52	:	15	;	15				
	指 ②	ケアプランチ	チェックの実施件	<u></u>	件			52	1	15	1	15	- 15	15				
-					-		+	 			<u> </u>	-	†					
	標 ③)			'				<u> </u>		+		1					
実		介護保険給	 :付費		+	+	3,11	13,459	,—	3,553,771	+	3,599,941						
	成①)	間の介護保険給付費							79,468	1	3,343,320	-	3,621,462	3,899,336	4,177,062		
績	果 指	不適切なせ	平向の介護体険品で員 不適切なサービス利用件数					+	0,1.	79,400	-	0,343,320	<u> </u>	0,021,402				
	標 ②	2)	へ適切なサービス利用件数 不適切なサービス利用件数					_					1	0	0	0		
SUSTAIN	ARLE	个週別なり		•				<u></u>		0	Ш_	0	1	U	<u> </u>			
DEVELOPI GOA	LS		3 報味と確定を															

評	チェッ	クすることによ	:りサービスの質の向上を図	領やサービス内容を通知することによ 狙った。また、介護保険制度の根幹ではに、また、介護保険制度の根幹で								
価	予防支援事業所に在籍するケアマネジャー向けに研修会を3回開催した。 											
年												
度												
o												
主												
上な												
取												
組												
	[2	区 分	評価結果	- 人鎌児除さの担守に甘べき 人屋		理由(特記事項	••	コナルス				
	妥	対象·手段	☑ 妥当 □ 要検討	・介護保険法の規定に基づき、全国・利用者が介護保険サービスを利用			于校で用いて美心	いている。				
事	当	意 図	☑妥当 □要検討									
	性	役割分担 (行政関与)	☑妥当 □要検討	介護保険法第3条の規定により、市	「町村が行う事務の	とされている。						
		種別 目 元報	令和3年度 97.49%.	評価指標(指標性質	()	令和1年度 102.61%.	令和2年度 106.77%.	▲活動 ●成果	1			
業	<u>+</u>	標構物	***	① 介護保険給付費の通知件数		****	****	150%				
	有	展	概ね達成された 99.40%,		曽加目標指標)	<u>達成された</u> 97.88%,	達成された 105.92%,	125%				
	効	度相標	★★★★ 概ね達成された	① 介護保険給付費 (デンタイプ) (デンタイプ) (デ	或少目標指標) 		★★★★★ 達成された	100%	—			
評	性	成果向上の 余地	加傾向にあるだ さめられている。 を送ることができ	75%								
		上位施策へ の貢献度	☑あり □ なし		50% — R2	R3						
		単位当たり	令和3年度 104.06%	単位当たりコスト換算技	指標	令和1年度 100,74%	令和2年度 98.47%	変動率 150% ———				
価	効	コスト 変動率	若干増加している 1,041,301.93 円	介護保険給付費の通知件数 活動指標 を単位として換算 道			若干減少している 1,000,716.42 円	125%				
Щ	率	コスト改善		介護保険制度の理解を深めること		71 F 4 W 11 7 -	1 18 - 1 - 1 11	100%	_			
	性	の余地	▽あり □ なし	スト改善の余地はある。 				75%				
		受益者負担 適正化	 □あり ▽ なし					50%				
		の余地			I=			H31 R2	R3			
改		れまでの む・ 改善内容	げ、平成30年8月からはさ	利用者の食費・居住費を原則自己負 らに一定以上の所得者の自己負担害 隻予防事業の実施により介護給付費(削合を3割に引き」	Ŀげられた。また.						
革		- Un () 44 / - m (+		リスク(マイナス要素)	ンプレフ 人=#マ	叶。《产动》	機会(プラス要		7			
⊐ L		・取り巻く環境 一ズの変化		りにより、介護保険料額の上昇が続い 険制度の運営について懸念が生じて		関への思識の 局	より こより、健康	寿命の延伸が期待され	්ට ං			
改	/= D.I		 高齢者人口が増加を続け	る中で制度の持続性を高めるため、	 利用者の自立支持	援・重度化防止や	○地域資源の有効	活用等の観点から真に	こ必要な			
善		政改革大綱 との関連 原検・確認)	サービスが適切に位置付	けられているか等の視点でケアプラン 見なる質の向上を目指し、ケアマネジ・	ノ点検を実施し、 1	介護給付の適正値	比をさらに推進して	ていく。また、介護保険制	制度の			
	今	後の方針	□ 現状のまま継続	ಔ □ 改善のうえで継続 [」他の事業に終	· 统合	·休止	□ 終了·完了				
事へ業一の次	「改善	のうえで継続」 合の展開方針	拉大	□ 手段を改善(実施	主体・手段の改	善)	▲ 縮 小	□ 効率化				
方価性)		後の方針」 の説明 画内容等)										
	_	次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	山口 岡	削介						
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	ā □ 改善のうえで継続 [-	」他の事業に終	統合 🗌 🧗	廃止·休止	□ 終了·完了				
二次		のうえで継続」 合の展開方針	ॼ॑॑॑॑॑॑॑॑॑॑॑॑ऽ	□ 手段を改善(実施	主体・手段の改	善善善	★ 縮 小	→ 効率化				
評価		説明										
	=	次評価日	令和4年6月22日		Consti	ight @2021 Vach	ikawa City office	All Rights Reserved				

No.	4012	02

	3	事務事業名	介護保険賦課徴収事業						Ē	所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 介護給付係						
		- W - X L	JI BE IN PEXAM	IIA 199	W				1	事前	评価	日	令和3	年9月1	日 事前	介評 (西責任者	山口 剛介	
基	4	事業期間	平成12年度	~	未設定	事業	年齢	21歳		根拠》			介護保	険法、が	Ì護福祉	総合	条例		
	基	関連付け	☑ 有		[無			1	事業	区	分	□法	定受託	事務		v 📋	治事務	
	本	の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	い幸せのまた	うづくり(1	健康福	祉部門	事:	務事	業の	性質	☑ 毎	年度繰	り返し		単年度 🗌	複数年度	
	計 画	期 施 策	第3節 いきし	き暮ら	らせる高齢者	音福祉の	推進		Ī	直接	事業	集費		Ī			□ 無		
本	刯	施策小項目	(4)介護保険	事業の)充実				予		計	区分	介護保	険特別:	会計				
		i計画の位置付け	□有			三 無					款	項	総務費				徴収費		
		īまち・ひと・しごと 三総合戦略との関連	□有☑無						E		目	細目	賦課徴	収費			介護保険賦	課徴収事業	
	個別	引計画の位置付け	☑有□無	介護	保険事業計i	画			\$	执 行	方	法	一部委	託電	算処理を	委	托		
事	E	意図	65歳以上の被保 対象年齢 6		第1号被保険					手 (どの 事業を行		な	普通徴エンスス	収:納付 トア等で	書を送付き支払う徴	し、 !収方	法	法 融機関、コンビニ こで納付相談に	
項	的	なってほしい のか)	介護保険制度の切な介護サービス	財源でスを受け	ある介護保限けることができ	食料を納(きる。	付するこ	ことで、	適				つなげ、	納付者	こ寄り添っ	った徴	牧収を行う 。		
		類似事業	□有☑無						_			コセス		無	3022020	9 仮	算定•本算定	賦課計算処理	
	前	年度事務事業	☑有□無	40120	02 介護保険	賦課徴	収事業		CP	戦略フ [゚]	ランと	の関連	□有						
	区	分	☑ 分		令和1年		和2年			/			口3年度	13/ 5 5	фт/ <i>—</i> —		令和4年度	令和5年度	
		① 事 業			決算(千F	482 482	中)算	·円) 6.358	予算	(千円	1) 546	决算	拿(千円) 6.22		額(千円 △ 13		<u>当初(千円)</u> 7.049	計画(千円) 7,049	
	Α	②人 件				989		2,649		12,0			12,09		△ 55	-	12,098	12,098	
投	١					5人		.67人		1.6			1.61	_	△ 0.06		1.61人	1.61人	
		下職員	員人件費		11,	989	13	2,649		12,6	649		12,09	8	△ 55	1	12,098	12,098	
	タ	, 会計4	年度任用職員人	件費												0			
入			経 費 (加算)		1,	846		1,769		1,	706		1,67	0	Δ 9	+-	1,826	1,826	
	ス	9 1 7 1 7	対象外(除外)	<u> </u>		0.1-							40.00			0			
		(5)トータルコ (6)国庫 3	スト計(①+②+③	(4))	20,	317 660	20	0,775		20,9	901		19,99	1	△ 78	4 0	20,973	20,973	
			<u> </u>		000										U				
資	В	⑦県支出													0				
	特	県 補 助 率																	
	定則	8市	債													0			
源	り渡り															0			
	"	① 受益者負	担額(使用料・手数												0				
	_		者負担率(⑩÷億		10	657	0.	0 775		20.0	201		10.00	1	△ 78	704 00.07		20.973	
	C		負担経費(A-B 単 独 区 分	')	□ 全額		- Z	0,775	部補助	20,9		補助3	19,99 事業の上			_	20,973		
		指			名(上段)	1111-93		_]1年度			口2年度		和3年度		一 <u> </u>	令和5年度	
	区	分				***************************************	単	位	目標(見込)		目標	(見込)値	目標	(見込)値		十画(見込)値	計画(見込)値	
目			· 算 式 • 説		明(下段)				実	績値		身	ミ績値		ミ績値		四(元之/但	可凹(无处/恒	
	対	\bigcirc	被保険者数				_ ,	人		17,			17,29		17,60		17,880	18,164	
標	象指	年度末の65	歳以上の被保険	者数						17,0	055		17,32	6	17,48	1			
	招標!	2																	
設																			
	活	催告書及び	制度概要等の発	送回	数						23		2	3	2	1	21	21	
定	巾	催告書及び	書及び制度概要等の発送回数								25		2	1	2	3	21	21	
上	動	①																	
	指	2			Ī														
-																			
	標	3)						ŀ											
実		現年度保険料収納率					_			9	9.2		99.	1	99.	3			
	成	(1)		額(計	<u></u> 記定額)(3日	末時占)	\dashv	%			9.2		99.		99.		99.3	99.3	
績	果指	保険料収納額÷保険料賦課額(調定額)(3月末時 満納繰越分収納率									9.4		38.		36.	_			
	標	②						%			8.2		34.	-	42.		38.2	38.2	
SUSTAIN	ABLE	/市州深巡讯								3	0.2		34.	1	42.	_			
GOA	LS		3 #ATのAに																

埀	・介護保険料の収納率向上のため、口座振替の推奨や督促状、催告書の発送等を行うとともに、介護保険制度の理解から納付意欲の向上につなげるため、制度概要の周知に努めた。また、収納課職員による研修会の開催により、分割納付や窓口対応のノウハウを学ぶことができた。												
	2007	3741-33-37-20	Over polyphysyst - o	3.001121	A ON THE POST OF THE POST OF THE		2 7 13 - 2 10 - 2 2	0					
価													
年													
度													
の													
主													
な													
取													
組													
	Σ	☑ 分	評価結果			判進	新理由(特記事項	()					
		상승 조대			ト護保険財政の安定的な運営の	Dため、法律で定	められた対象者に	、法律で定められ	た手法を用いて保険料	を徴収			
	妥	対象·手段	□ ☑ 妥当 □ □ 要核	央討 し	ている。								
		意 図	 ☑ 妥当 □ □ 要核	金計									
事	当	į I			S#UNANAMATAL UV		184-71 0-17						
	性	役割分担 (行政関与)	☑妥当 □要植		ト護保険料の徴収事務は、保 修	である古川市	か行うものである。						
		種別	令和3年度		評価指標 (指標性	:哲)	令和1年度	令和2年度	▲活動 ●成界				
Alle		目浜動	109.52%,	1	催告書及び制度概要等の		108.70%,	91.30%,	150%				
業	有	標 指標	★★★★★ 達成された			(増加目標指標)	★★★★★ 達成された	★★★★ 概ね達成された					
		成出	100.00%,	(1)	現年度保険料収納率		100.00%,	100.20%,	125%				
	効	度指標	★★★★★ 達成された			(増加目標指標)	★★★★★達成された	★★★★★達成された	100%	~			
評	性	成果向上の 余地	☑あり □ なし	_	普通徴収の対象者に対する収約 ↑護保険財政の安定的な運営を 。	75%							
п.	ΙΞ	上位施策へ							50%				
		の貢献度	☑あり □ なし 		H31 R2	R3							
		単位当たり	令和3年度 87.86%		単位当たりコスト換算		令和1年度 66.49%	令和2年度 121.73%	変動率				
-	±1	コスト 変動率	減少している	-	告書及び制度概要等の発送		減少している	増加している	125%				
価	効		869,166.83 円		請動指標 を単位として換算 ↑護保険制度の理解が深まるこ	単位 : 円/回 ことによって、収納	812,685.36 円 率の向上にもつな	989,298.05 円 がることから、コ	100%				
	率性	コスト改善 の余地	☑あり □なし	ノ	ト改善の余地はある。 R険料は、サービスの利用見込					-			
	往	受益者負担		正	なものとなっている。		, СД 5, Д	33 3/2///2	75%				
		適正化 の余地	□あり ☑なし 	•					50% H31 R2	R3			
			平成18年10月以降、	障害年金	や遺族年金からの天引きによ	る保険料徴収がぬ	台まり、より確実な	収納が可能となっ	た。また、平成23年度が	からコン			
改		れまでの ・ 改善内容	可能となった。	似納を可	能とし、納付機会の拡大を図っ	が。さらに、平成	28年度からは収納	はほど連携しに倒り	(体制により、効率的な	徴収か			
革				リスク	フ(マイナス要素)			機会(プラス要	(表)				
平			コロナウイルス感染症	定の影響!	こよる所得減少により、収納に			が上昇している中	・ボノ ロ、当市においては前期	別計画期			
改	13_	一ズの変化	談が多くなっている。				司額の保険料とした	C o					
٠.		政改革大綱	介護保険財政の安定 り納付者に寄り添った		さや公平性の観点から、滞納額 テう。	が増加していく前	で計画的に早期の	の納付催告を行っ	ていくとともに、納付相	談によ			
善		±の関連 〔検・確認〕	741717 <u>H</u> 1 = H 7 7411 = 13										
		46 - I AI	<u>│</u>	纵結	 □ 改善のうえで継続	□ 他の事業に							
事へ		後の方針				□ 他の事業に	-106 🗀 13						
業一の次		のうえで継続」 合の展開方針	上 払	広 大	□ 手段を改善(実施	徳主体・手段のこ	改善)	☆ 縮 小	□ 効率化				
方価性)		後の方針」 の説明 画内容等)											
IE O		<u> </u>	令和4年5月31	1日	一次評価責任者	山口	剛介						
		後の方針	☑ 現状のまま		□ 改善のうえで継続	□他の事業に			□ 終了·完了				
_		及の刀並 のうえで継続」			<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>				
次		今の展開方針	<u></u>	広大	□ 手段を改善(実施	を主体・手段のこ	<u>改善)</u>	縮小	□ 効率化				
評価		説明											
1144	_	カ 部 本 ロ	会和4年6日00	2 🗆									
	_	次評価日	令和4年6月22	4 II	I	Can	right @2021 Voch	ikawa City office	All Rights Reserved				

No.	4012 03
INO.	4012 00

	3	事務事業名	 介護保険利	出品主	力成事業				所管部署名		健康長寿部 長寿支援課 介護給付係						
		F 37 F X 11			网络手术				事	前評値	五日	令和3年			評価責任者	山口 剛介	
基	4	第 期 間	平成12年度	~	未設定	事業年	全1 点	裁	根	拠法令	令等	吉川市福	祉施策	の負担金	に関する経過措	置に関する規則	
	基	関連付け	☑ 有			無			事	業区	3 分	□ 法定	受託	移	√ ≜	治事務	
	本(の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	い幸せのまち	づくり(健	康福祉部	門)	事務	事業の	D性質	☑ 毎年	度繰り	返し [□ 単年度 □] 複数年度	
	計画		第3節 いきし	き暮られ	らせる高齢者	福祉の推	推進		直	接事第	業費	☑ 有			□ 無		
本		施策小項目	(4)介護保険	事業σ)充実				予	会計	区分	一般会計	t				
.,.		計画の位置付け	□有		√	無			算 科	款	項	民生費			社会福祉費		
		まち・ひと・しごと 総合戦略との関連	□有☑無						目	目	細目	高齢者福	祉費		低所得利用	低所得利用者負担対策事業	
	個別	計画の位置付け	☑有□無	介護	呆険事業計画				執	行方	法	一部委託	E 電	算処理を	委託		
事	目	対象(誰を、何を)	介護保険料段階 員が市民税非課 万円以下)の方。	税で課													
			対象年齢	S5 9	9 65歳以上					手 見 どのよう						険利用者負担額	
項	的	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	介護サービス利 経済的負担が軽			ることによ	らり、利用者	fの		を行うの		のうち、7 種	割または	は5割を助り	或する 。		
		類似事業	□有☑無						主な訓	業務プ	ロセス	☑有Ⅰ	無	30220301	介護保険給付サービ	ス利用者負担金補助	
	前	年度事務事業	☑有□無	40120	3 介護保険和	川用料助	成事業		CP戦	格プランと	の関連	□有☑無					
					令和1年度	- 令:	和2年度				令和	和3年度			令和4年度	令和5年度	
	区:	立	⊠ 分		決算(千円		算(千円)	Ť	予算(=	千円)		第(千円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
	Α	① 事 業			14,7		15,278	3		16,354		15,986		709	15,778		
±π.	١.	② 人 件				77	76	1		76	1	75		Δ 1	75		
投			員投入人員		0.01		0.01人	-		0.01人		0.01人		0		0.01人	
	タ	스타	員人件費 年度任用職員人	か 弗		77	76			76		75		Δ1	75	75	
	ルコ		中反 L D 職員 A 経費(加算)								0						
入	コ		対象外(除外)											0			
	۲		スト計(①+②+③	9-4)	14,8	69	15,354	15,354 16,430)	16,062		708	15,853	15,853	
		⑥国庫 5	支 出 金											0			
資	В		国補助率														
貝		[7] 県 支 と												0			
	特		助 率														
	定財	⑧市	債											0			
源	源	3 (0)		F-1/1 4/4 \										0			
			担額(使用料·手数 者負担率(⑩÷億											0			
			負担経費(A-E		14,8	69	15,354			16,430)	16,062		708	15,853	15,853	
	D		单独区分	-,	□ 全額補			·部補				事業の上				川市単独	
		扑	· 標		名 (上段)			<u> </u>	介和1 :	年度	令	和2年度	令和	13年度	令和4年度	令和5年度	
	区:	·					単 位		標(見	込)値	目標	(見込)値	目標	(見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値	
目			算式 : 訪	_	明(下段)				実績			ミ績値		積値 	#1 14 (3 5 / L)	11200212	
		1)	段階第1段階の				人			2,236		2,364		2,462	2,554	2,650	
標	象 指	介護保険料	段階第1段階の	<u>ل</u>						2,287		2,373		2,354			
	標	2					-								-		
設		THE TABLE	ᄉᅷᇝᇒᄼᅕᄬ					-						077			
	活	1)	金補助認定者数				件			224	-	239		277	290	304	
定	<u></u>	利用者負担	金補助認定者数	Į						233		264		275			
	動	2															
_	指																
•	標	3															
	INC																
実		年度負担補助総額								14,549		14,928	İ	15,409			
	成里	年度負担補助総額					千円			14,792		15,278		15,986	15,915	16,437	
績	果指											,		,			
	標	2					+										
SUSTAIN	ABLE		2 TATOLE					1			<u> </u>		I				
DEVELOPI GOA	LS		3 がべての人に														

											_
評	電話で	ごの相談時や バあったが、ゴ	窓口での対応時な。	ど、あらゆる 1回とし、申請	機会を捉えて対象者への周知を 青者の負担軽減とともに職員の§	₹積極的に行ってし 事務処理の効率化	いる。(この制度を :を図っている。)	利用するに当たっ	っては、利用者	は毎月申請す	⁻ る
価											
年											
度											
စ											
主											
な											
取											
組											
											_
	Σ	区 分	評価結り		54.4.4.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1		行理由(特記事項 に採の制まからは	••			
		対象·手段	☑妥当 □	要検討 ・	対象者は保険料段階第1段階の 低所得者に対し、介護保険サー	ビス利用料の本人			理由で介護保	険サービスの)受
	妥			紿	を控えることのないよ う にするた	こめ妥当である。					
	当	意 図	☑妥当 □	要検討							
事	=				この事業は、低所得者の介護保	除サービス利田料	の助成制度であ	い 宝体主体仕ま	である		_
	性	役割分担	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	要検討	-の事未は、心が行行のが設体	戻り―こへ利用を	4の別以前及での	ツ、天心工体は1.	1 Cのる。		
		(行政関与)		女侠副							
		種別	∫ 令和3年月		評価指標(指標性	質)	令和1年度	令和2年度	▲活動	●成果	
業		目活動標準		())利用者負担金補助認定者数	数	104.02%,	110.46%,	150%		
_	有	達 ^{扫 信}	概ね達成さ		((増加目標指標)	達成された	達成された	125%		
		成成果		1. (1	年度負担補助総額		101.67%,	102.34%,	120%		
	効	指標	達成され	た		(増加目標指標)	達成された	達成された	100%	•	•
		成果向上の	, 		施設入所者等の増加により限度 のと予測している。	額支給も増加して	[おり、今後も増加	傾向で推移する	75%		
評	性	余地			低所得者に対する支援の観点が	いら、上位施策に貢	貢献している。		75%		
		上位施策へ	l □□あり □	なし					50% ————————————————————————————————————	R2 F	- R3
		の貢献度									10
		単位当たり	令和3年原 100.43%	4	単位当たりコスト換算	上指標	令和1年度 95.46%	令和2年度 91.13%		動率	
/	₩	コスト 変動率	ほぼ変動して	いない	川用者負担金補助認定者数		若干減少している	若干減少している	125%		
価	効		58,405.71		舌動指標 を単位として換算 低所得者の負担軽減のための国	_単位:円/件 ■業であり、コストō	63,815.08 円 <u> </u> 改善は難しい。	58,157.58 円	•		
	率	コスト改善 の余地	□あり ▽:		この事業は受益者負担を求める			はない。	100%		
	性	受益者負担	1						75%		
		適正化 の余地	□あり ▽:	なし					50% ————————————————————————————————————	R2 F	R3
		07汞地	┃	う由語につい	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-スニレで職員の事	[黎加理の効率化	を図るととŧ.に ま	旧考の由語3	E続きの負担:	<u>۔</u>
改		れまでの	軽減することがで		で、「級20平7778 5平1回こう		1376/20701-10	E MOCCOIC, 1	1771 E V 7- EH 1	別と ひ見 三	-
•	改革	₫∙改善内容									
革					ク(マイナス要素)	1814-hT 1rt =r /5	3 +v -> /2 10 +2 \-4 1 -	機会(プラス要	[素)		
		E取り巻く環境 一ズの変化	ilコロナワイルス感 向になっていくと		による所得減少により、対象者だ	の増加傾は所代	骨者の負担軽減に	奇与している。			
改			○	苗ffiしてい /	と思われるが、低所得高齢者に	対する主張の知ら	いた必要が事業	表女儿 引き結羊属	8年,独立太网	っていノ心声・	hŝ
善		政改革大綱との関連	ある。		こ心1746のか、区が1年同期1日に	かり 公文1友の既示	いり必女は手木	くのう。コロッジでは	의사 'INDC C I	J CU NEW ST	r
		i検·確認)									
		% Λ+ΔΙ	□ 団 現状の	まま継続		□他の事業に	統合 □ □	————————————————————————————————————		了·完了	=
事へ		後の方針		5 TO THE 150						. ,	
業一の次	の提	のうえで継続」 合の展開方針		」拡 大	世 手段を改善(実施	も主体・手段の改	(善)	☆ 縮 小	□ 効率	率化	
方評	「今	後の方針」									
向価 性〜		の説明 画内容等)									
	_	次評価日	令和4年5月	月31日	一次評価責任者	山口	剛介				_
	스	後の方針	☑ 現状の	まま継続	□ 改善のうえで継続	□他の事業に	<u>——</u> 統合 □ Ø	廃止·休止	□ 終 ⁻	了·完了	_
_		のうえで継続」	1	7				+	—		
次		合の展開方針		拡大	□ 手段を改善(実施	も主体・手段の改	(善)	縮小	□ 効率	率化	
評		説明									
価											
	=	次評価日	令和4年6月	月22日		Copy	right ©2021 Yoshi	ikawa City office	All Rights Res	enved	

No.	4012 04

		事務事業名	事業所指定	≱ 業所指定•指導監督事業					所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 介護給付係					
		7-10 7-20 0	ナホバルス	. JA					事前	評価	日	令和34	年9月11	事前	評価責任者	山口 剛介	
基		事業期間	平成17年度	~	未設定	事業年	齢 16歳	5	根拠	法令	等	介護保障	険法等				
	基	関連付け	☑ 有			無		3	事業	€ 区	分	□法5	定受託	事務	✓ 自	治事務	
	本	の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	·幸せのまちづ	くり(健)	康福祉部門	明) 事	務事	業σ)性質	☑ 毎4	年度繰り	J返し [□ 単年度 □]複数年度	
	計画	関施策	第3節 いきし	き暮ら	せる高齢者福	祉の推	進	Ī	直接	事業	美費	☑ 有	Ī		無		
本	画	施策小項目	(4)介護保険	事業の	充実			子		会計	区分	介護保障	険特別 :	会計			
Τ`	実施	を計画の位置付け	☑ 有			無				款	項	総務費			総務管理費		
		fまち・ひと・しごと 生総合戦略との関連	□有☑無							目	細目	一般管理	理費		介護保険特別会計運営事業		
		別計画の位置付け	☑有□無	介護保	· 険事業計画			į	執行	· 方	法	直営			<u>'</u>		
事	E	対象 (誰を、何を)	市が指定した介記がおります。	護サービ					手	. 18	ŗ.	介護サー	-ビス事:	業所の新規	見指定や更新指定	きを行い、その事	
項	护	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	介護サービスの					<u> </u>	انغ)	のよう そ行う(な				必要に応じた指導		
		類似事業	□有☑無					主	な業	務プ	ロセス	☑有	□無	40120401	事業所指定•指	i導監督	
	前	 〕年度事務事業	☑有□無	401204	事業所指定・	指導監	督事業	CP	戦略ス	プランと	の関連	□有	<u>√</u> 無		I		
					令和1年度	今 和	口2年度		令和			13年度			令和4年度	令和5年度	
	区	分 [ヹ 分		決算(千円)		年(千円)	予算	[千]	円)		(千円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
	_	①事 第			4,696	6	22,097		13	,220		12,470	ס	△ 9,626	105,417	3,297	
10		②人			8,354		11,058			,058		4,358		△ 6,700	4,358	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
投	- 		員投入人員		1.08人		1.46人			46人		0.58人	-	△ 0.88人	0.58人	0.58人	
	5	7	員人件費	/4 建	8,354	1	11,058		11	,058		4,358	3	△ 6,700	4,358	4,358	
	기 -	_	年度任用職員人 経費(加算)	竹貨										0			
入	=													0			
	ŀ	9 7 7 7	N 多か (M)/17 スト計(①+②+③)-(4))	13,049	9	33,155		24	.278		16,829	9	<u>0</u> △ 16,326		7,655	
		⑥国庫		, 0,	,					,_,_		8,590		8,590	100,110	1,000	
2亿	_	国神	崩 助 率														
資	E	⑦県 支												0	100,764		
	4		助 率												1		
	万具	8 市												0			
源	源	5 10 0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	alad Artes										0			
			担額(使用料·手数 者負担率(⑩÷億											0			
			負担経費(A-E		13,049))	33,155		24	,278		8,239	9 220 ^		9,011	7,655	
			单独区分	,	□ 全額補助			<u></u> 部補助				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		△ 24,916 黄出しあり		川市単独	
	_	j (111) 253 -		ا		,,		令和		世		口2年度		口3年度	一	令和5年度	
	区	分					単位	目標((見込)値	目標	(見込)値		(見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値	
目			· 算 式 · 説	色 明	(下段)			実	績値			ミ績値		経積値		们画(无达/恒	
	対	対象事業者					事業所			74		78		83	86	89	
標	象指	市内の対象	事業者数							75		80	ס	73			
	指標	2]										
設	IXX																
	Ţ	実地指導(盟	監査)件数				14			17		11	1	9			
	活	実地指導(监査)件数				件			20		-	7	2	10	10	
定	動		旧寺(血旦/叶奴														
	指	2			-												
-																	
	標	3													-		
実		+16+ - +	5-15-15-15-15-15-15-15-15-15-15-15-15-15				-			_			_	-			
	成	市指定の事業所で発生した重大な介護事故件数 市指定の事業所で発生した重大な介護事故件数				件			0			ס	0	0	0		
4 ≢	果指				介護事故件数					0		(ס	0			
績	指標	2															
	17/5							<u> </u>									
SUSTAINADEVELOPI GOA	LS		3 #べての人に						_								

					10 - 1 1- 1811			
評				業所に対して、事業所の指定更新な ・影響を考慮し、書面指導を主として		足えて実地指導を	そ行い運営基準等	について確認を行っている。
	13.110	1 121-000	16年二人人人人心水压火	が目とり悪め、自画出寺と上こので	Z/160728			
価								
年								
•								
度								
စ								
-								
主								
な								
ш								
取								
組								
	[2	<u>▼ 分</u>	評価結果	・市が指定している事業所に対し、		理由(特記事項		
		対象·手段	□ ☑ 妥当 □ 要検討	・運営基準等を遵守することにより			いる。	
	妥							
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	┃					
事	当	意図	□ 坐女ヨ □安快副					
				・介護保険法の規定に基づき、指	定権者が行うこと	とされている。		
	性	役割分担	┃ ☑ 妥当 □ 要検討					
		(行政関与)						
		種別	令和3年度	評価指標 (指標性	質)	令和1年度	令和2年度	▲活動 ●成果
-114 -		目活動	22.22%,	① 実地指導(監査)件数		117.65%,	63.64%,	150%
業	有	標 指標	★ 達成度がかなり低い		(増加目標指標)	★★★★★ 達成された	★★★ 達成度がやや低い	
	.,	타	達成された	市指定の事業所で発生した		達成された	達成された	125%
		成 成果 指標		─ 故件数				100%
	効	111111		・市の実地指導等に対するノウハ	ジロ値目標指標) ウが萎積されるこ	レで 効率的かつ	効果的な実地指	100%
		成果向上の 余地	☑あり □ なし	導を行うことができるため、成果向	工の余地はある。	•		75%
評	性	赤地		・介護サービスの質の向上が確保 □送ることができる。	されることで、利用	用者がより自立性	を高めた生活を	
		上位施策へ	 ☑あり □ なし	込ることができる。				50%
		の貢献度						H31 R2 R3
		単位当たり	令和3年度	単位当たりコスト換算	指標	令和1年度	令和2年度	変動率
		コスト	177.65% 増加している	実地指導(監査)件数		46.26% 減少している	725.91% 増加している	150%
価	効	変動率	8,414,263.00 円	活動指標 を単位として換算	単位:円/件	652,470.85 円	4,736,367.00 円	125%
	率	コスト改善		・監査事務の効率化によりコストは				100%
	性	の余地	☑あり □なし	・事業の性質上、受益者に負担を	米のつものではな	ر، در در در در در در در در در در در در در		75%
	II	受益者負担						75%
		適正化	□あり ☑なし					50% H31 R2 R3
		の余地			ı			
	-	れまでの	事業所指導監査の効率化	このため、自主点検表の充実を図った	E.			
改		±•改善内容						
				J / J			₩ ∧ /== → ≖	· ± \
革	事業を	- 取り巻く環境		Jスク(マイナス要素) fき届かず、介護サービスの質を確保	果できない 介護事		機会(プラス要向上により、要介	
¬∟		一ズの変化	恐れがある。	, Charles of the control of the cont	a .	21077		
改			ーフしけ掛かし プロスが	増加した声楽記の入港共 じっの 原	ラナ 7本 月 ナフナ・	一件中期的小比较	きけい 亜 スキリ 生	
¥		政改革大綱	にもつながるものである。	増加した事業所の介護サービスの質	【を唯体する/こめ/バ	こは正規的は拍響	引は必安 じのり、市	及の持続可能性を高めること
善		との関連 『検・確認)						
	, ,,,	N DA HERON						
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続	□他の事業に	統合 🗌 🛭	廃止•休止	□ 終了·完了
事へ	「改善	のうえで継続」	↓	<u> </u>			+	
業一の次		合の展開方針	垃圾大	□ 手段を改善(実施	色主体・手段の改	(善)	☆ 縮 小	□ 効率化
方評		後の方針」						
向価 性〜		の説明 ·画内容等)						
1,1		次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	山口岡	副介		
		<u> </u>					太上 / - L	
	今	後の方針	□ 現状のまま継続	。 □ 改善のうえで継続 ■	□他の事業に	て 日 と	廃止•休止	□ 終了·完了
=		のうえで継続」	¥		ニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(羊)	★ 縮 小	カ 共本ル
次	の場合	合の展開方針	立拡大	▼ 手段を改善(実施	℡土14・手段の改	(台)	富 縮 小	効率化
評		説明						
価		.71						
	三	次評価日	令和4年6月22日		Conve	ight ©2021 Vach	ikawa City offico	All Rights Reserved

No. 4012 05

	3	事務事業名	 介護給付適	正化重業	所	管部署	肾名	健康長寿部 長寿支援課 介護給付係							
		并加于木 石	ノロ支が口でル	工心学术			-	事前評価日			令和3年9月1日 事前評価責任者 山口 隔				
基	-	事業期間	平成12年度	~ 未設定	事業年	丰齢 21歳	根	拠法令	令等	介護保険	法、介	護福祉総	8合条例		
	基	関連付け	☑ 有	[•	事	業区	5 分	□ 法定	2受託事	受託事務 ② 自治事務				
本	本	の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか・幸せのまち	建康福祉部門	事務	8事業の	D性質	☑ 毎年	F度繰り	返し	□ 単年度 □]複数年度		
	計		第3節 いきし	き暮らせる高齢者	福祉の	推進	直	接事業	業費	☑ 有			□ 無		
	画	施策小項目	(4)介護保険	事業の充実			予	会計	区分	介護保険	食特別会	計			
T	実が	西計画の位置付け	☑ 有		無		算 — 科	款	項	地域支援	賽事業費	Ì	地域支援事	業費	
		iまち・ひと・しごと E総合戦略との関連	□有☑無					目	細目	包括的支	援事業・	任意事業	費 任意事業		
		引計画の位置付け	☑有□無	介護保険事業計画	<u> </u>		執	. 行 方	法	一部委託	£ 適I	E化支援	システムの運用	などを委託	
事	E	対象	要介護認定者(4	0歳以上の特定疾病	3)										
		(誰を、何を)	対象年齢 6	5 99 65歳以上			手具	殳	经计字结	生かた+	+ビフも	田の中窓た占坽	オスレレナー 鈴		
項	的	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)		・			(どのよう 業を行う	iな	給付実績等からサービス利用の内容を点検するとともに、給付費通知の発送やケアプランチェック等を行う。						
		類似事業	□有☑無			主な	業務プ	ロセス	☑ 有 □無 40120501						
	前	年度事務事業	☑有□無	 	CP戦	略プランと	の関連				7712314772210				
			12	令和1年	É	和2年度			全 和	和3年度			→ 令和4年度 → 令和5年度		
	区:	分 [⊠ 分	決算(千円		等(千円)	予算(千円)		年(千円)	増減額	頂(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
	Α	① 事 業		3,	519	3,014		3,435		3,418		404	3,435	3,435	
		②人			315	909		909	-	1,052		143	1,052	<u> </u>	
投			員投入人員		7人	0.12人		0.12人	-	0.14人		0.02人	0.14人	0.14人	
	タ		員人件費 1,315		909		909		1,052			1,052	1,052		
	ルー		会計年度任用職員人件費 間接経費(加算)						0						
入	コス											0		1	
	۲		スト計(①+②+③) - (4)) 4,	4,834			4,344		4,470		547	4,487	4,487	
		⑥国庫 5	支 出 金	1,	355	1,160		1,160)	1,316		156	1,322	1,322	
資		国補	国補助率 77/200		77/200		77/200)	77/200			77/200	77/400		
貝	В	⑦県_支			677			580)	658		78	661	661	
	特		崩 斯 率	77/400		77/400		77/400)	77/400			77/400	77/400	
	定則	8市			2.125			4 000		4 000		0	4.040	1 0 10	
源	源	į <u> </u>	他 担額(使用料·手数		2,125			1,603		1,838		235	,	1,843	
			程額(使用料°于数 者負担率(⑩÷億												
	С		負担経費(A-B		677			1,001		658		78	661	661	
			单独区分	□ 全額	補助	✓ –	部補助	補助			_ 乗せ∙横	出しあり	□ 吉	川市単独	
		持	指標 標	標名(上段)				和1年度		和2年度	令和3年度		₹ 令和4年度	令和5年度	
目	区:	計	算 式 ・ 説	明 (下段)		単位	目標(見	責値	身	(見込)値 に積値	実	見込)値 績値	計画(見込)値	計画(見込)値	
	対	要介護認定						2,199	1	2,359 2,64		2,647	2,911	3,202	
標	象 指	3月31日現在	生の要介護認定	者数 ————————————————————————————————————				2,247		2,407		2,564			
	指標	2				_									
設		介護保険給	 i付費の通知件数	Į.				3,064		4 3,144		3,584			
	活	(1)	付費の通知件数			一 件		3,144		3,357	·		3,826	4,084	
定	動		チェックの実施件					52							
		(2)		┻ 数(生活援助検討₫	印た会か	件				15 15		15	15		
	指	77777	「エックの美心件	以(生活援助快計)	,		32		15		15				
	標	3			_										
実								<u> </u>					<u> </u>		
	成	介護保険給			- 千円	3,	113,459		3,553,771	3	,599,941	3,899,336	4,177,062		
	果指	年間の介護	保険給付費				3,	3,179,468		3,343,320		,621,462	5,550,000	0 4,1//,062	
績	指標	不適切なサ	一ビス利用件数			<i>II</i> +		0		0		0			
	1示	不適切なサ	一ビス利用件数			— 件		0		0		0	0	0	
SUSTAIN, DEVELOP GOA 2030年に向けて 世界的由した 「会教育集な開発」	LS		3 #ベエのAに			•			•		•				

評	・介護サービス利用者に対して介護給付費通知を発送し、サービス内容等の確認を行っている。 ・介護サービスの適正化及び質の向上の観点から、ケアプランチェックを実施している。介護給付費の減少が目的ではないため、引き続き個別具体的な身体状況等 を勘案し、丁寧に行っていく。														
価	を刨余	もし、丁寧に行	っている。												
年															
度															
の															
主															
な															
取															
組															
	区 分 評価結果 判断理由(特記事項)														
		対象・手段	☑ 妥当 □ 要検討	-	おかさ出ている。 「智を行う事業所やサービス利用者に対し、定められた手段を用いて実施										
	妥	7136 1 12		・サービスの適正利用により、制度の持続性を高	あている。										
事	当	意 図	☑ 妥当 □ 要検討												
	性	役割分担 (行政関与)													
		種別	令和3年度	評価指標 (指標性質)	令和1年度	令和2年度	▲活動 ●成果								
業	_	目 標 標 指標	97.49%, ★★★★	①介護保険給付費の通知件数	102.61%,	106.77%,	150%								
	有	成成出	概ね達成された 99.40%,	(増加目標指標) (増加目標指標) 介護保険給付費	票) 達成された 97.88%,	達成された 105.92%,	125%								
	効	度指標	★★★★ 概ね達成された	(減少目標指標	★★★★ 票)概ね達成された		100%								
評	性	成果向上の 余地	☑あり □ なし	・継続して行っていくことにより、ケアマネジャーの資質も向上していくため、成果向上の余地はある。 ・制度の健全な運営により持続性が高まるため、上位施策への貢献度は高い。											
		上位施策へ の貢献度	☑あり □ なし			50% ————————————————————————————————————									
		単位当たり	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度	変動率								
		コスト変動率	113.95% 増加している	ケアプランチェックの実施件数	27.25% 減少している	281.28% 増加している	150%								
価	効率	コスト改善	297,983.93 円	活動指標 を単位として換算 単位:円/件 専門性のある事務の一部委託であり、適切なコン		261,503.27 円	125%								
	性	の余地	□ あり □ なし				75%								
	-	受益者負担 適正化	□あり ☑なし			50%									
		の余地					H31 R2 R3								
改		れまでの 塩・ 改善内容	ケアフラン点検等を外部多ができている。	託することにより、ケアマネジャーへの助言(指導	1)内容の質を高める	ことができ、適止	なサーヒス利用につなけること								
革	± 414. 4			スク(マイナス要素)	機会(プラス要素)										
改		を取り巻く環境 一ズの変化	する必要がある。		護給付の適正化を進めることにより、要介護状態の維持・改善が期できる。										
44		政改革大綱	将来的に介護給付費が抑	制されることで、制度の持続可能性を高めることに	こつなげることができ	る。									
善		との関連 『検・確認)													
*	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 終了·完了											
事へ業一の次		のうえで継続」 合の展開方針	拉坎	☆ 効率化											
方評 向価性)		後の方針」 の説明 画内容等)													
	_	次評価日	令和4年5月31日		1 剛介										
	今	後の方針	☑ 現状のまま継続	□ 改善のうえで継続 □ 他の事業に統合 □ 廃止·休止 □ 終了·完了 ■											
二次		のうえで継続」 合の展開方針	拉太	→ □ 手段を改善(実施主体・手段0	D改善)	☆ 縮 小	効率化								
評価		説明													
	=	次評価日	令和4年6月22日	All Rights Reserved											

No.	4013	01

	3	事務事業名	介護認定審査事業							所管部署名			健康長寿部 長寿支援課 介護認定係						
		7- 133 - 1- 3A - H	71 成業のの大工程		1	事前評価日		日	令和3	年9月1	目 事前	評価責任者	山口 剛介						
基	3	事業期間	平成12年度	龄 21 歲		根拠法令等			介護保険法										
	基	関連付け	☑ 有			無		1	事業 区分			☑ 法定受託事務 □ 自治事務							
	本	の まちづくり目標	第2章 元気・	健やか	い幸せのまちつ	づくり(健	康福祉部門	明) 事	務事業	€の	性質	☑ 毎年度繰り返し □ 単年度 □ 複数年度							
	計画		第3節 いきし	き暮ら	らせる高齢者	冨祉の推	推進	Ī	直接事	業	費		Ī		無				
本		施策小項目	(4)介護保険	事業の	充実			予		計I	区分	介護保	険特別:	会計					
/T`	実が	西計画の位置付け	□有		1		算 		Ż.	項	総務費			介護認定審	査会費				
		iまち・ひと・しごと E総合戦略との関連	□有☑無				—————————————————————————————————————		1	細目	介護認知	定審査:	会費	介護認定審	查事業				
		引計画の位置付け	☑有□無		\$	执 行	方	法	直営										
事	E	対象	65歳以上(1号被 号被保険者)でか			後の特定:	疾病対象者	š (2					'						
		(誰を、何を)	対象年齢 4			手	段	:	初中由部	基本田	計明調本/	D 宝体 主公医音	目書の英領 か						
項	的	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	介護を要する者に公正な要介護認			よう、公平		- (どのような 事業を行うのか)			認定申請受理、訪問調査の実施、主治医意見書の受領、介護認定審査会で審査・判定を行う。								
		類似事業	□有☑無		主力	主な業務プロセス			. ☑ 有 □無 30230101			要介護認定							
	前	年度事務事業	☑有□無			CP戦略プランとの				√ 無		1							
					令和1年度		和2年度		(Xmar 77 = -		会≉	口3年度			令和4年度	令和5年度			
	区:	分 [Ӡ 分		決算(千円)		第(千円)	予算	(千円))		10 <u>十尺</u> (千円)	増減	額(千円)	当初(千円)	計画(千円)			
	Α	① 事	費		36,0		19,329		27,5			21,58		2,257					
	'	②人			36,2	77	47,614		53,38	84		55,51	2	7,898	56,249	56,592			
投	 		員投入人員	投入人員		人	4.22人		4.22	人		4.59人	-	0.37人	4.59人	4.59人			
	タ		人件費		36,2	77	31,962		31,9	_	34,489		2,527	34,489	34,489				
	ı	, 会計4	年度任用職員人	件費		15,652		21,422		21,02	·		21,760	22,103					
入	コス		経費(加算) 対象外(除外)		3,69	93	3,539		4,0	95	3,339		9	△ 200		3,339			
, ,	ŀ	チュハー	り 家 タト (除タト) スト計(①+②+③	70.482		85.0	3/1		80.43	9,956			86.990						
		6国庫3		70,402	70,402 00,00		J-T	00,400			9,330		00,330						
			<u>- </u>																
資	В	⑦県支出												0					
	特		前助 率																
	定則	L	債											0					
源	川川		他		91		123		123			10	8	△ 15	108	108			
		① 受益者負	担額(使用料・手数料等)											0					
			者負担率(⑪÷億		75.938		70.050		84,911			00.00	0	0.071	00 500	00.000			
	С		負担経費(A-E 単 独 区 分	5)		70,359	 部補助			おまま	80,330 事業の F		9,971 黄出しあり	<u> </u>	86,882 川市単独				
		打			I.	□ 全額補助 (上段)			令和1年度										
	区		日		名 (上段) 	単位		<u>II 平及</u> 見込)値	込)値 目標				和3年度 原見込)値	令和4年度	令和5年度				
目			算式 : 訪			績値		身	ミ績値	身	€績値	計画(見込)値	計画(見込)値						
	対	要介護認定	者数 ——————	人		2,2	64		2,35	9	2,647	2,911	3,202						
標	象指	年度末時点	要介護認定者身			2,247			2,407 2,564			5,252							
1530	指標	要介護認定	者申請者数				1	L	2,12	24		2,09	4	2,788		2,769			
=л	' <i>7</i> 1	年度末現在	における要介護	認定申	申請者数		人		2,05		054 1,7		0	2,134	2,696	2,709			
設		主治医意見	書遅延に対する	進捗等	· 穿確認連絡			İ	10	00		100	0	100					
	活	(1) 返送が遅延し		 対する道	進捗等の確認を	- %		10	00	100		0	100	100	100				
定	動	介護保険サ	 ービス利用者で			10	00		100 100										
		(2)	-ビス利用者で更			%					100 100		100	100					
	指		これでの自じ史	カバインサ	U/CD1D			100			100		100						
	標	3													-				
実		THE UP ATT !								_				3					
	成	延期通知の					%			7			3		3	3			
∠ ≠	果	延期通知者	÷要介護認定者	<u> </u>						3			1	3					
績	指標	2																	
	1275									_ [1						
SUSTAIN DEVELOP GOA	LS		3 ずべての人に 対象と指定を ///◆																

評	介護認	は定の 日の多く	甲請者('け 医	こ対して、迅 師の記入に	速に認定を行な 時間を要してい。	ようため ヘスニとも)、認定に必 が多いため	要な主治医意	見書の提出が 基絡し、迅速が	が遅れて で認定に	ている医療機関に 「努める」	:進捗状況を確認(している。	主治医意見	書の遅		
				H-100 HD0 41 -	111122000	0-0.	0 0 0 7200			- 10-7-	-5,000						
価																	
年																	
度																	
の																	
+																	
主																	
な																	
取																	
組																	
	区 分 評価結果 判断理由(特記事項)																
		<u> </u>	/)	āT	当である。												
		対象	·手段	☑妥当	□要検討	~~~	20 00 00	_ (0) 00									
	妥																
		意	図	☑妥当	□要検討												
事	当	75.															
						·吉川	市の介護部	8定審査は保険	食者に法的に	位置づ	けられており、実	施主体が吉川市で	であるのに	ま、妥当であ	る。		
	性		別分担 (関与)	☑妥当	□要検討												
		(13-2	(12) 37														
		0	種別		和3年度		評価	価指標 (指標	性質) - 7)# +b //7 T#		令和1年度	令和2年度	1	活動 ●成	果		
業		目標	活動		0.00%, ★★★	① 整	⊥冶医思兄· 〗	書遅延に対す	る進捗寺 傩	認建	100.00%,	100.00%,	150%				
>10	有	達	指標		なれた	44	•		(増加目標	指標)	達成された	達成された	125%				
		成	成果		6.67%,	① 延	・ E期通知の	 割合			153.85%,	160.00%,	123/0		-		
	効	度	指標		r ★★★ はされた				(減少目標	指煙)	★★★★★ 達成された	★★★★★達成された	100%				
		- 	└── 句上の	Æ19	NC1072	•現状	での方法で定	2例的に欠かさ			句上につながる。	Æ/XC1072					
=π			可上の 注地	☑あり	□ なし				になり、上位施	75% —							
評	性					果に見	策に貢献している。 										
			施策へ i献度	☑あり □ なし			50% ————————————————————————————————————										
		W,	田八文	^-	(no /= ri=		224 / 1	W + 11 1 + 4	. 左左 ↓比.↓邢		A104 F. F.	A100 F F		***			
			当たり		和3年度 4.12%			当たりコスト換			令和1年度 102.86%	令和2年度 92.70%	150%	変動率			
			スト 動率		している	主治	医意見書述	星延に対する:	若干減少している	1050							
価	効			804,3	877.41 円			位として換算	704,822.31 円	125%		_					
	率		改善	マあり	□なし	・当事	∄選却の送れ ≩業は、受益	対数が減少する 者負担を見込		100%	—						
	性	();	余地										75%				
			者負担 正化	□あり	☑なし								50%				
		の余地											H31	R2	R3		
				定例で継続	して行い、進捗	状況を	・把握し、必	要な場合は個	々に対応して	いく。			•				
改		れまで															
~	改革	*改善	内容														
革					IJ.	Jスク(¬	マイナス要素	<u>.</u>				機会(プラス要	(素)				
•			く環境	高齢化やコロ	コナ禍による外出。 また、コロナ禍に	の自粛	など、新規申	請者が今後増加				更新申請で有効期					
改	15—	ーズの)変化	いる傾向があ	ある。それに伴い、	、延期通	通知の件数が	「増加する可能性	生がある。		かできるようになっ ることができる。	った。それに伴い、	丌 謢惢从	- 史析中語名	リの人致		
	%=8 +	政改革										ことが求められる。	そのため	には、主治	医意見		
善	٤	との関注	車	書の督促を電話で行うことは経済的・市民視点・SDGsの視点からも適当である。													
	(点	検・確	認)														
	_	// o d	- 61		状のまま継続	. [□ 改善の	うえで継続	□ 他のӭ	事業に	統合 □ □	廃止•休止		終了·完了	7		
事へ		後のブ		☑ 現状のまま継続□ 改善のうえで継続□ 他の事業に統合□ 廃止・休止□ 上□ 拡大□ 手段を改善(実施主体・手段の改善)□ 縮 小													
業一		のうえて 合の展										*	効率化				
の次方評		後の方		150 15									<u></u> は、主治		2定調査		
向価		の説明	1			3年度に	こおいて、遅	延の主な原因	は、主治医意	見書の	遅れだったため、	主治医意見書を	期限内に	提出してもら	うことが		
性~		画内容		重要である													
	_	次評個	日	令和	4年5月31日	-	一次評	価責任者	Ĭ L	ЦП 🖟	剛介						
	今	後のカ	金針	☑ 現	状のまま継続	ē [□ 改善の	うえで継続	□ 他の事	事業に	統合	発止·休止		終了·完了	7		
_		のうえで			_							+					
次		合の展			□拡大		🕇	手段を改善(実	ミ施主体・手	段の改	(善)	□ 縮 小		効率化			
評							· · ·							· -			
価		説明	į														
	_	次評値	Ti El	令和4年6月22日 Conwickt @2021 Vashikawa City office All Bights Becomed													
		~ ~ H I IP		12.18	/					Conve	1ght (C)2(121 Vach	ikawa City office	All Right	e Recenied			